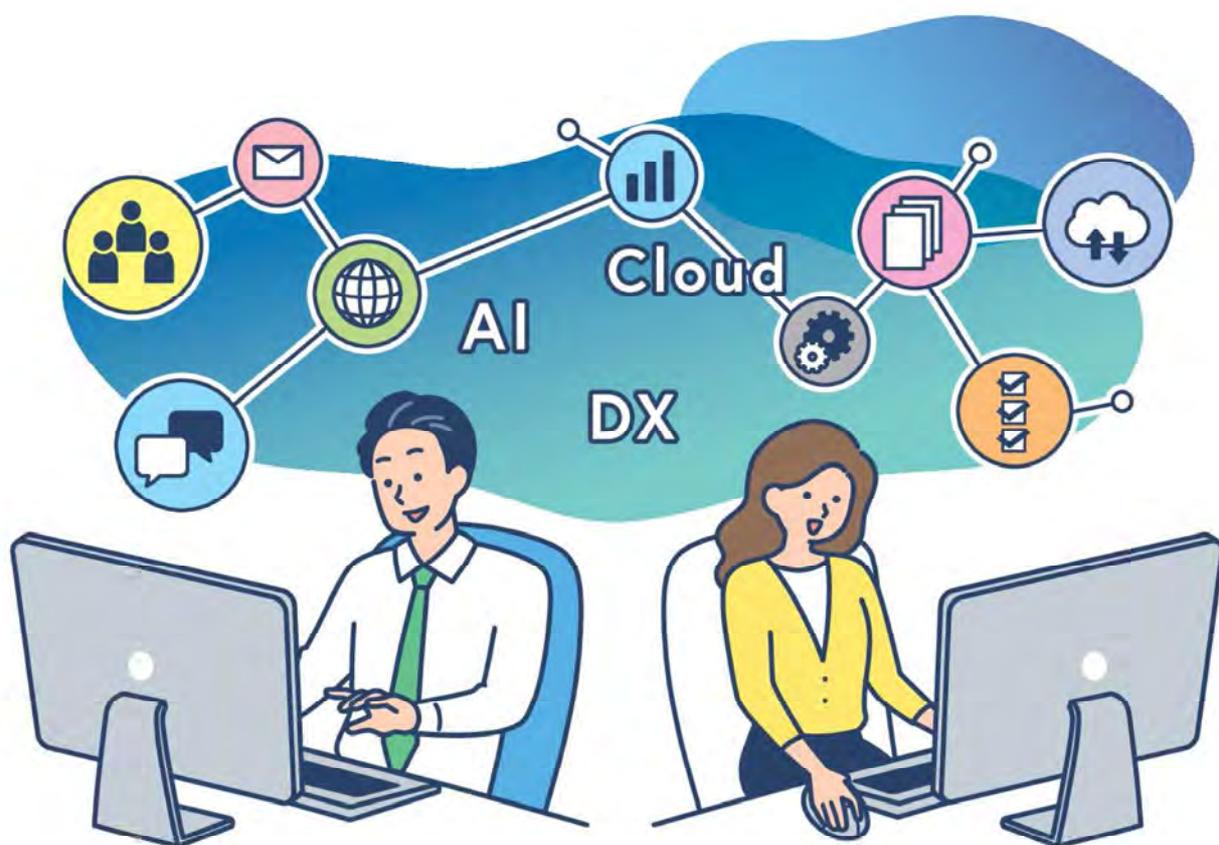


# 井原市第6次情報化計画

計画期間 令和5年度～令和9年度



令和5年3月  
岡山県井原市



## はじめに

井原市は、これまで5次にわたり「情報化計画」を策定し、高度情報化社会に対応した高速・大容量の通信網を市内全域に整備することで、市民の皆様が情報を利活用できる環境を整えてまいりました。



一方、情報通信技術は急速に進化しており、それに伴う新しいサービスが創出されるなど、社会・経済活動や市民生活が大きく変化しつつあり、地域情報化についても技術革新や情報セキュリティ確保への適確な対応が求められています。

我が国におきましては「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」により「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」が示されており、あわせて自治体が重点的に取り組むべき事項を具体化した「自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）推進計画」も示されています。

こうしたことから、本市におきましても、このたび「井原市第6次情報化計画」を策定し「デジタル化による利便性を実感できる情報化社会の実現」へと施策を進めていくとともに「笑顔があふれ輝くまち みんなにやさしい社会を実現するためのデジタル化」を進めることとします。

今後は、この計画に基づき、市民の皆様はもとより、国、岡山県及び関係機関のご理解とご協力を賜りながら、様々な情報化施策を実施し、地域情報化の推進を図ってまいります。

最後になりましたが、本計画の策定に当たり、貴重なご提言、ご審議をいただいた井原市情報化推進懇話会委員の皆様をはじめ、情報化に関するアンケート調査にご協力をいただいた市民の皆様並びに関係各位に心から厚くお礼申し上げます。

令和5年3月

井原市長 大 舌 勲



# 目 次

## 第1章 情報化計画策定の背景

1. 井原市第6次情報化計画策定の趣旨	1
2. 情報化計画の役割	2
3. 情報化計画の位置づけ	2
4. 計画の期間	4

## 第2章 情報化社会の動向

1. 生活におけるデジタル化	5
2. DX（デジタル・トランスフォーメーション）	7
3. 国・岡山県の取組	8
4. 公的分野におけるデジタル化	9

## 第3章 井原市における情報化の現状と方向性

1. 井原市における情報化の現状	11
2. 市民が求める情報化	32
3. 情報化の基本方針	39
4. 情報化推進の基本施策	42

## 第4章 基本施策の展開

施策1 情報通信基盤の強化・利活用	45
施策2 市民サービスの向上・拡充	46
施策3 地域産業分野の活性化・育成	49
施策4 情報化社会に対応した人材育成	50
施策5 電子自治体の形成	52

## 第5章 計画の推進体制

1. 施策実施の役割	55
2. 施策実施の推進体制及び留意事項	57

## 資料編

情報化に関するアンケート調査結果（郵送）	59
情報化に関するアンケート調査結果（インターネット）	78
井原市情報化推進懇話会設置要綱	91
井原市情報化推進懇話会委員名簿	92
庁内情報化推進委員会設置要領	93
計画策定の経緯	95



用語解説（本文中に※印がついている用語の解説です。）

索引	用語	解説
い	インターネット分離	市役所の職員用パソコンから直接インターネットにつながらないようにネットワーク構成を変更したこと。
お	岡山県セキュリティクラウド	県内自治体のインターネット通信を集約し、高度なセキュリティ対策を図る。また、セキュリティ専門官による有人監視を行い、ウイルス感染などのインシデント発生時に即該当自治体に通報する仕組みのこと。
	おかやま全県統合型GIS	岡山県が提供する地図情報システムのこと。
か	各種証明書のコンビニ交付	正式には「コンビニエンスストア等における証明書等の自動交付」。以下「各種証明書のコンビニ交付」という。全国のコンビニエンスストア等の店舗内にあるマルチコピー機（多機能端末機）から、住民票の写しなどの証明書を取得できるサービスのこと。
こ	子育てワンストップサービス	マイナンバーカードを利用して子育てに関する申請をオンライン上で行うことができるサービスのこと。
さ	サテライトオフィス	企業本社や団体の本庁舎・本部から離れた所に設置された通信設備を整えたオフィスのこと。
	サーバ・ネットワーク機器の仮想化	1台のサーバコンピュータをあたかも複数台のコンピュータであるかのように論理的に分割し、それぞれに別のOSやアプリケーションソフトを動作させること。
し	次世代高速無線通信	無線LAN並みの通信の速さと、携帯電話の広域性を併せ持つ2.5ギガヘルツ帯の周波数での無線通信。
	自治体クラウド	さまざまな分野で活用が進んでいるクラウドコンピューティング技術を電子自治体の基盤構築にも活用して、地方公共団体の情報システムの集約と共同利用を進めることにより、情報システムに係る経費の削減や住民サービスの向上等を図るもの。
	情報弱者	様々な理由から、パソコンやインターネットをはじめとする情報・通信技術の利用に困難を抱える人。情報技術を活用できる層と情報弱者の間に社会的・経済的格差が生じ、あるいは格差が拡大していく現象を「デジタルディバイド」という。

索引	用語	解説
し	情報リテラシー	パソコン等情報通信機器の操作、コンピュータネットワーク等で提供される情報やサービスの活用、情報に関する制度の知識など、情報化社会に対応するための基礎的な能力のこと。
す	スマートフォン決済	スマートフォン決済アプリケーションを使って納付書のバーコードを読み込むことで、事前に登録されている口座やアプリケーションにチャージされた金額から市税等を納付することができるサービスのこと。
た	第5世代移動通信システム（5G）	5th Generationとは、「高速大容量」「高信頼・低遅延通信」「多数同時接続」という3つの特徴を持つDX実現の基盤として注目されているもの。
ち	地図情報提供システム	地図等を利活用し、防災情報や子育て支援情報等の日常生活の利便性が向上する情報についてインターネットを利用して確認ができるサービスのこと。
	チャットボットサービス	チャット（会話）をロボットが代行してくれるサービスのこと。会話情報をデータベースに蓄積し、利用者からの問い合わせに自動で返答する。
て	デジタルディバイド	インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者の間に生じる格差のこと。個人間の格差の他に、情報通信基盤の整備に係る国家間、地域間の格差を指す場合もある。
	デジタル・トランスフォーメーション（DX）	Digital Transformationとは、企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。英語の接頭辞「trans-」には「across（を越えて）」という意味があり、後半の cross を「X」と略して「DX」と表記されることが多い。
	デジタルマーケティング	インターネットと携帯電話などのデジタルメディアやプラットフォームなどのデジタルテクノロジーを利用して製品やサービスを宣伝するマーケティングの手法のこと。

索引	用語	解説
て	データセンター	大量のデータを保管するための専用施設のこと。複数の通信業者による高速の回線が引き込まれており、無停電電源装置（UPS）や自家発電装置を備え、セキュリティや耐震性にも優れる。
	テレワーク	勤労形態の一種で、情報通信技術を活用し時間や場所の制約を受けずに、柔軟に働く形態のこと。
	電子申請システム	インターネットを利用して軽自動車納税証明書交付請求や自治会長変更届等の申請や届出を行うことができるサービスのこと。
ひ	被災者支援制度10業務	マイナポータルを活用し、優先して取り組む10業務として罹災証明書、応急仮設住宅の供与、応急修理の実施、障害物の除去、災害弔慰金の支給、災害障害見舞金の支給、災害救護資金の貸付、被災者生活再建支援金の支給、災害公営住宅の入居、市町村民税の減免がある。
ほ	ポータルサイト	インターネットを接続した際、最初に訪れる入口（Portal）となる、さまざまな情報が集約されたサイトのこと。
ま	マイナンバー	社会保障、税、災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関が保有する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用されるもの
め	メール配信システム	事前にメールアドレスを登録していただいた方に、井原市からのお知らせ、学校からのお知らせ、火災情報等の緊急情報を随時メールで配信するサービスのこと。
	メール無害化	メール本文および添付ファイルについて、ウイルス等の混入を防ぐためファイルの変換（無害化）を行うこと。
ゆ	ユニバーサルデザイン	文化・言語・国籍や年齢・性別・能力などの違いにかかわらず、できるだけ多くの人々が利用できることを目指した建築（設備）・製品・情報などの設計（デザイン）のことであり、またそれを実現するためのプロセス（過程）のこと。
わ	ワーケーション	workcationとは、「ワーク」と「バケーション」を組み合わせた造語。観光地やリゾート地でテレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方のこと。

索引	用語	解説
A	A I	artificial intelligenceとは、「計算機（コンピュータ）による知的な情報処理システムの設計や実現に関する研究分野」のこと。
B	B C P	Business Continuity Planとは、企業が自然災害などの緊急事態に遭遇した場合において、損害を最小限にとどめ、事業の継続や早期復旧を可能とするための方法、手段などを取り決めておく計画のこと。
	B P R	Business Process Reengineeringとは、業務の本来の目的に向かって既存の業務プロセス全体を見直し、職務や業務フロー、組織、情報システムなどを再構築するという考え方のこと。
C	C A T V	cable televisionとは、光ケーブルや同軸ケーブルを使用するテレビ放送のこと。従来のテレビのように電波をテレビ受信機が受信するものではないため、BS・CS用のパラボラアンテナやチューナーは不要。各地にケーブルテレビ局があり、地域に密着した情報を配信している。
E	E C サイト	electronic commerce siteとは、自社の商品（広義では他社の商品）やサービスを、インターネット上に置いた独自運営のウェブサイトで販売するサイトのこと。ECは、電子商取引の略。
F	F T T H 方式	Fiber To The Home とは、C A T V のセンター局から光ファイバを伝送路として一般個人宅へ直接引き込むもの。
H	H F C 方式	Hybrid Fiber Coaxial とは、ケーブルテレビの配線方式の一種。C A T V 局のセンター局から光ファイバで配線し、途中で光電気コンバーターによって各家庭には同軸ケーブルで配線するもの。
I	I C T	Information and Communication Technologyとは、情報通信技術のこと。
	I o T	Internet of Thingsとは、様々な「モノ（物）」がインターネットに接続され（単に繋がるだけではなく、モノがインターネットのように繋がる）、情報交換することにより相互に制御する仕組みである。それによるデジタル社会の実現も指す。

索引	用語	解説
L	L - A L E R T	災害情報等の住民が必要とする情報を迅速かつ正確に住民に伝えることを目的とした情報基盤であり、一般財団法人マルチメディア振興センターが運営している。
	L P W A	「Low Power : 低い消費電力」で「Wide Area : 広域」に通信することを可能とする無線通信技術のこと。センサーから小さなデータを長期に渡り通信することができ、IoT事業に適したネットワークを構築できるとされている。
R	R P A	Robotic Process Automationとは、人がパソコン上で行うキーボード操作やマウス操作（定型業務）をソフトウェアのロボットにより自動化するもの。人間の知識をコンピュータ上で再現しようとするAI（人工知能）の技術を用いたRPAもある。
S	S D G s	Sustainable Development Goalsとは、持続可能な開発目標であり、2015年9月の国連サミットにて採択されたもので、地球上の「誰一人取り残されない」ことをスローガンに、2030年までに持続可能でよりよい世界の実現を目指す国際目標のこと。17のゴールと169のターゲットから構成される。
	S N S	Social Networking Serviceとは、インターネット上で社会的ネットワークの構築を可能にするサービスのこと。例) Instagram、LINE、Twitter、Facebookなど
W	W i - F i	メーカーが異なっても相互接続できる無線LANの総称。無線LANとは、数メートルから数十メートルの範囲で高速なデータ通信を無線で行う技術のこと。





## 第 1 章 情報化計画策定の背景

---

1. 井原市第 6 次情報化計画策定の趣旨
2. 情報化計画の役割
3. 情報化計画の位置づけ
4. 計画の期間



## 第1章 情報化計画策定の背景

### 1. 井原市第6次情報化計画策定の趣旨

近年の情報化は、国による「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」に基づき、デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会、誰一人取り残さない、人にやさしいデジタル化を目指している状況です。

また、全国的な少子高齢化による人口減少及び労働力人口減少の問題、さらには新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が蔓延し、社会経済活動が制限され、今までの生活や暮らしが大きく変化しました。

こうした中、井原市においても「将来を見据えた元気なまちづくり」に向けて、急速に発展するデジタル技術を最大限活用し、従来の制度や組織の在り方をデジタル化に合わせて変革していく、社会全体のデジタル・トランスフォーメーション（DX）※の取組が求められており、本市における情報化の現状を踏まえ、基本的な方針や方向性を示す計画が必要です。

計画の策定に当たっては、デジタル人材の確保及び育成、情報システムのセキュリティ対策による安全・安心なまちづくりの推進、高齢者や障害者等の情報弱者への対応、マイナンバー※を活用した市民サービスの向上及び行政手続きのオンライン化など、デジタル技術やデータを活用したまちづくりに今まで以上に取り組む必要があります。

このような視点から内容を検討するとともに、AI※（エーアイ）やIoT※（アイオーティー）など最新の動向について注視し、有効で導入可能なものは、計画に反映していきます。

## 2. 情報化計画の役割

本市では「井原市第5次情報化計画」（令和元年度～令和4年度）に基づき『安全・安心に暮らせるまち「やさしさ」と「つながり」が実感できるデジタルコミュニティ』を基本方針として、5つの基本施策を掲げ、市民の誰もが安全・安心にICT※を利活用でき、この利便性を実感できることを目標に地域の情報化を推進してきました。

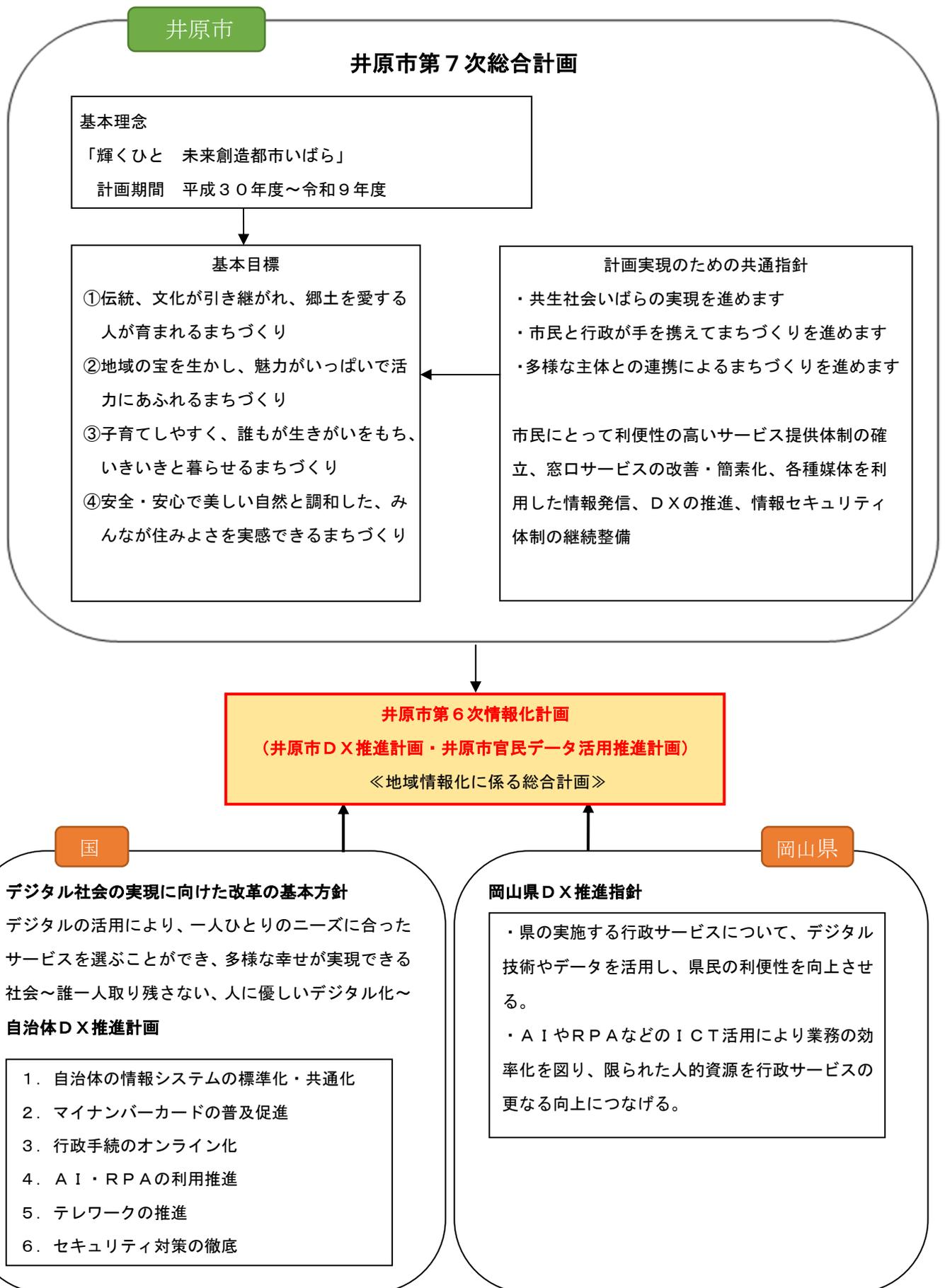
このたび策定する「井原市第6次情報化計画」は、デジタル技術やデータを活用し、市民のニーズに合ったサービスを選ぶことができ、みんなにやさしい社会の実現を目指すため、進むべき方向を明らかにします。

また、本計画は本市の各分野における今後の情報化施策の推進基準とするとともに、市民・企業・団体に取組への参画を求めるガイドラインになるものです。

## 3. 情報化計画の位置づけ

国・岡山県の情報化施策、井原市第7次総合計画等との整合性を図り、井原市第7次総合計画の基本目標の「安全・安心で、美しい自然と調和した、みんなが住みよさを実感できるまちづくり」を目標に、同計画に掲げる「市民にとって利便性の高いサービス提供体制の確立、窓口サービスの改善・簡素化、各種媒体を利用した情報発信、DX※の推進、情報セキュリティ体制の継続整備」などを計画実現のための共通指針として「井原市第6次情報化計画」を策定します。限られたコストや人的資源の中でも事務の効率化を図り、行政サービスの更なる向上につなげる計画とします。

また「井原市DX※推進計画」及び官民データ活用推進基本法（平成28年法律第103号）第9条第3項に規定する「井原市官民データ活用推進計画」としても位置づけます。



## 4. 計画の期間

本計画期間は、令和5年度（2023年度）から令和9年度（2027年度）までの5年間とします。ただし、国及び岡山県の動向や今後のICT\*分野での新たな技術革新、社会情勢の変化等を考慮し、必要に応じて計画の見直しを図るものとします。

年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9				
井原市総合計画 (上位計画)	井原市第5次総合計画(H10~H19)								井原市第6次総合計画(H20~H29)										井原市第7次総合計画(H30~R9)													
井原市情報化計画	第1次(H12~H16)																															
						第2次(H18~H22)																										
												第3次(H23~H27)																				
																		第4次(H28~H30)														
																								第5次(R元~R4)								
																								第6次(R5~R9)								



## 第2章 情報化社会の動向

---

1. 生活におけるデジタル化
2. DX（デジタル・トランスフォーメーション）
3. 国・岡山県の取組
4. 公的分野におけるデジタル化

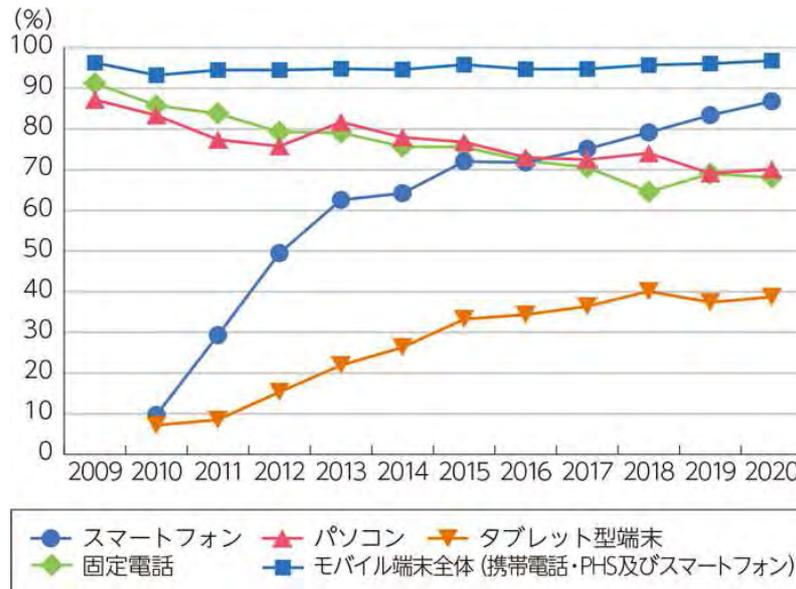


## 第2章 情報化社会の動向

### 1. 生活におけるデジタル化

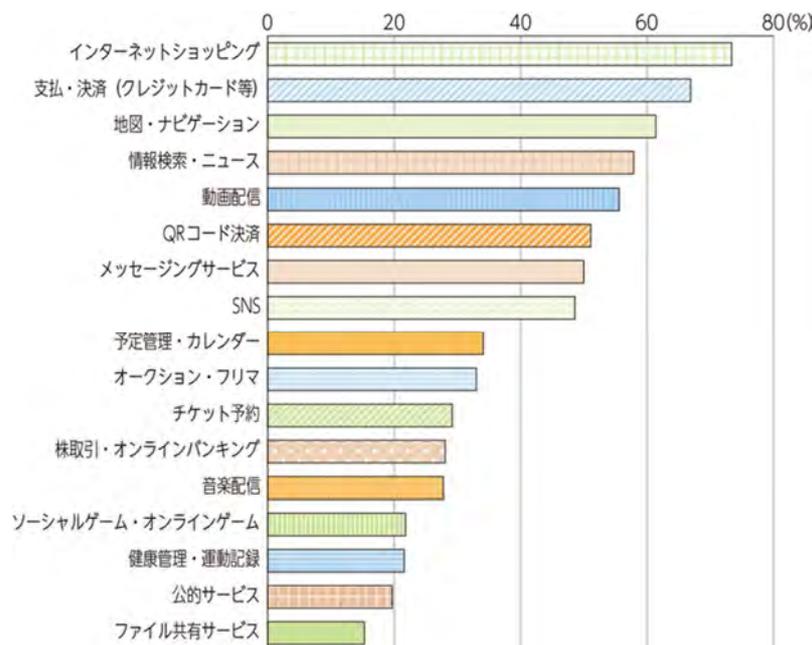
#### 1) デジタル活用の現状

令和3年版 情報通信白書によると、スマートフォンが急速に普及し、モバイル端末によるインターネット利用が拡大しています。



【情報通信機器の世帯保有率】 (出典) 総務省 (2020) 「通信利用動向調査」

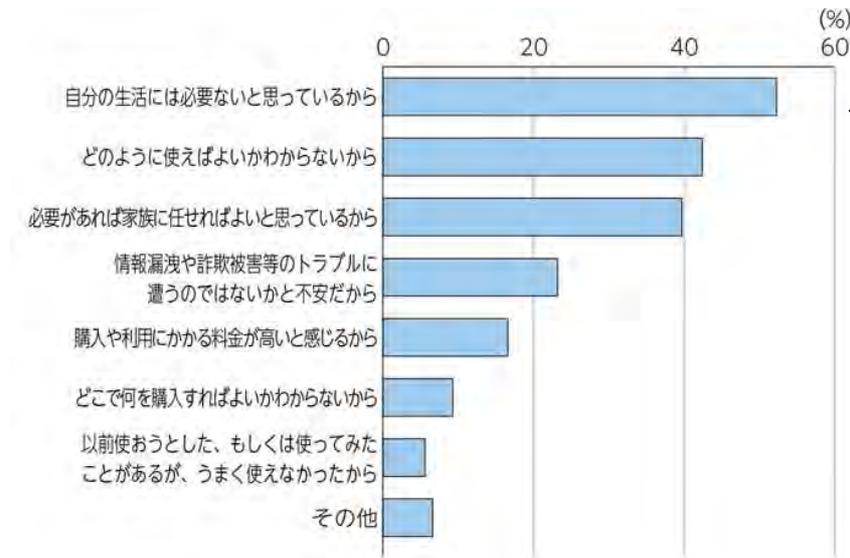
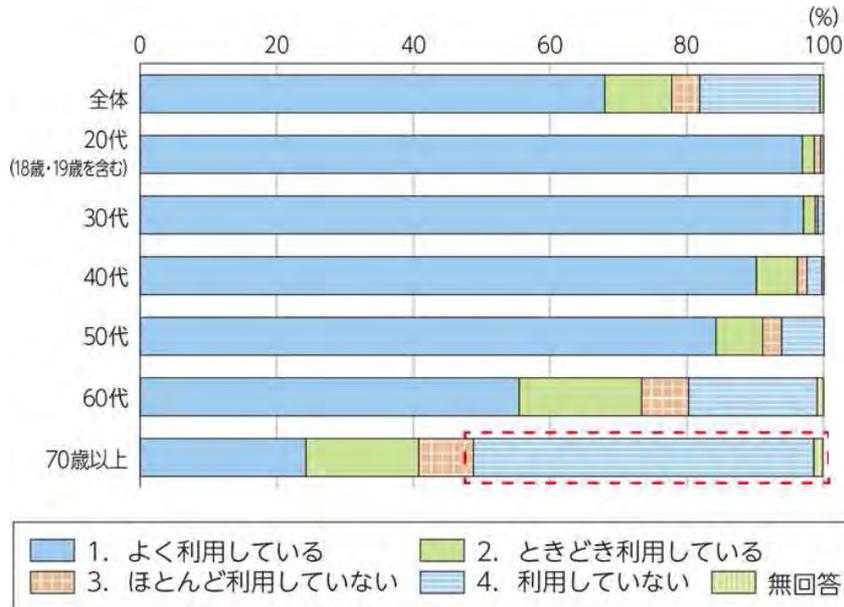
また、普段利用しているインターネットサービスは、インターネットショッピング、支払・決済、地図・ナビゲーション等、生活・エンターテインメント関係の利用が中心となっています。



【普段利用しているインターネットサービス】 (出典) 総務省調査 (2020)

2) デジタル活用の課題

情報通信機器の利用については、世代間で格差が見られ、特に70歳以上の高齢者の利用率が低くなっています。必要ない、使い方が分からない、必要なときは家族に任せるなど情報通信機器自体に無関心であることがわかります。



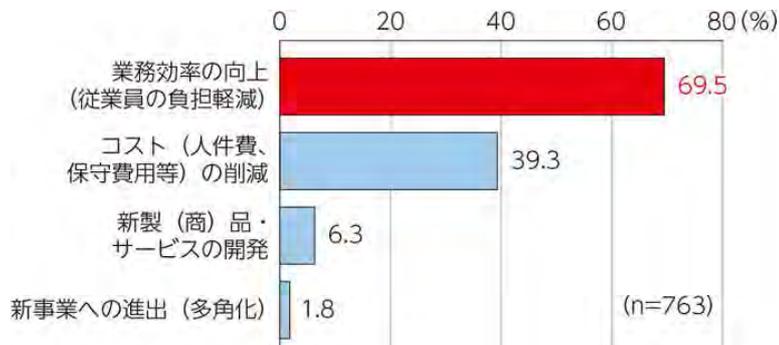
【スマートフォンやタブレットの利用状況・スマートフォンやタブレットを利用しない理由（70歳以上）】

(出典) 内閣府 (2020) 「情報通信機器の利活用に関する世論調査」を基に総務省作成

## 2. DX（デジタル・トランスフォーメーション）※

### 1) DX※の現状

日本企業のICT投資は、業務効率の向上を目的としたものが中心であり、事業拡大や新事業進出といったビジネスモデルの変革を伴うようなデジタル化は、広がっていません。

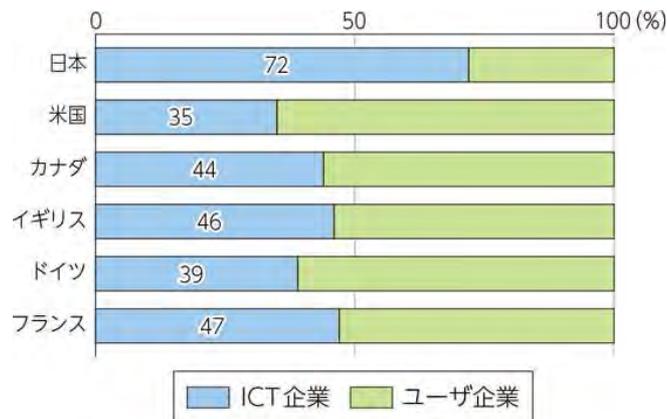


【先端技術の活用目的】

(出典) 財務省 (平成 30 年) 「財務局調査による「先端技術 (IoT、AI 等) の活用状況」について」

### 2) DX※の課題

日本のICT※人材はICT※企業に偏在しており、自治体等がDX※を進める上で人材不足が大きな課題となっています。



【主要国の ICT 人材比較】 (出典) 令和元年版情報通信白書



【DXを進める上での課題 (日本企業)】 (出典) 総務省調査 (2020)

### 3. 国・岡山県の取組

#### 1) 国の取組

国においては、令和2年12月に閣議決定された「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」により「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」が示されました。

さらに総務省でも、令和2年12月に策定した「自治体DX<sup>\*</sup>推進計画」を令和4年9月に改定し、自治体が重点的に取り組むべき事項を具体化するとともに、総務省及び関係省庁による理念や支援策等を取りまとめています。

また、令和3年9月にはデジタル庁が発足し、デジタル社会形成の司令塔として、未来志向のDX<sup>\*</sup>を大胆に推進し、デジタル時代の官民のインフラを今後5年で一気に作り上げることを目指しています。

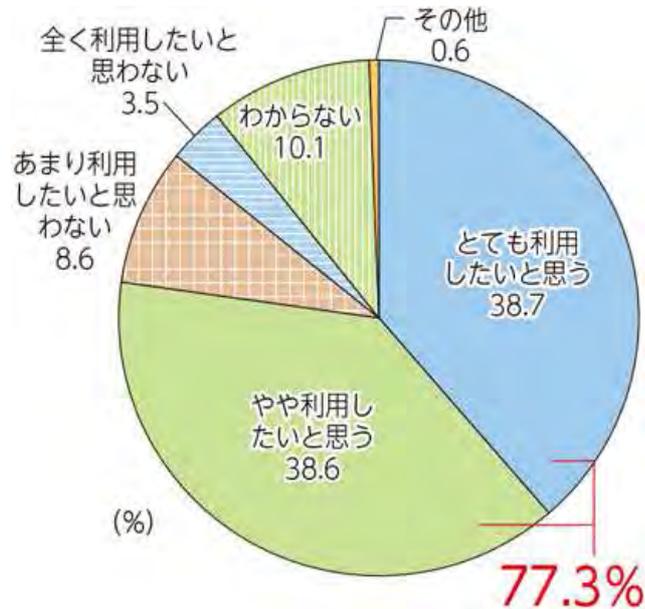
#### 2) 岡山県の取組

岡山県においては、令和3年10月に「岡山県DX<sup>\*</sup>推進指針」が策定されました。基本姿勢として、県の実施する行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用し、県民の利便性を向上させること、AI<sup>\*</sup>やRPA<sup>\*</sup>などのICT<sup>\*</sup>活用により業務の効率化を図り、限られた人的資源を行政サービスの更なる向上につなげることを掲げています。これにより、経済を活性化させ、安心して豊かさが実感できる地域の創造に向け、これまでの概念にとらわれず利用者目線で見直しを行い、新たな価値を創造することで、行政のデジタル化を推進し、“すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」の実現”を目指しています。

## 4. 公的分野におけるデジタル化

### 1) デジタル活用の現状

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、オンラインによる行政手続への住民のニーズは高まっています。

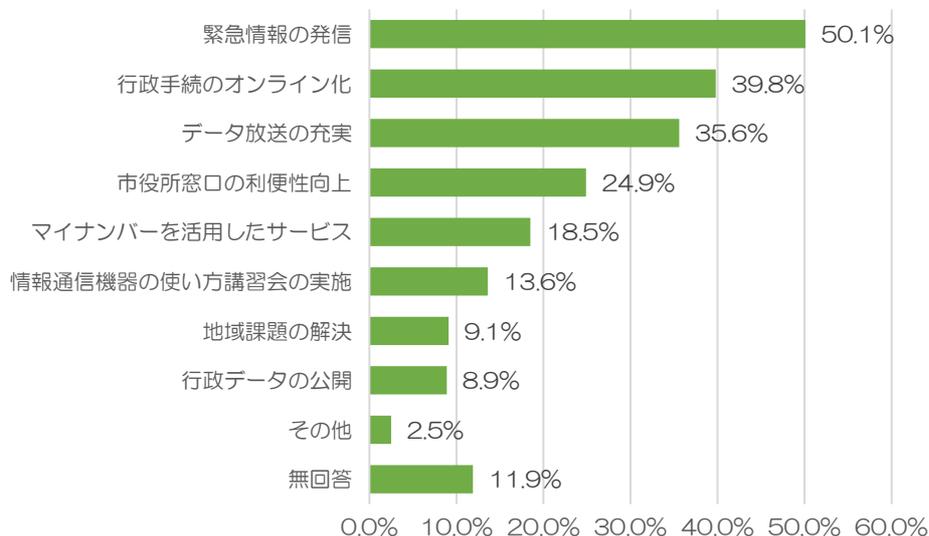


【オンライン行政手続の利用意向】

(出典) トラストバンク「行政手続のデジタル化に関するアンケート」

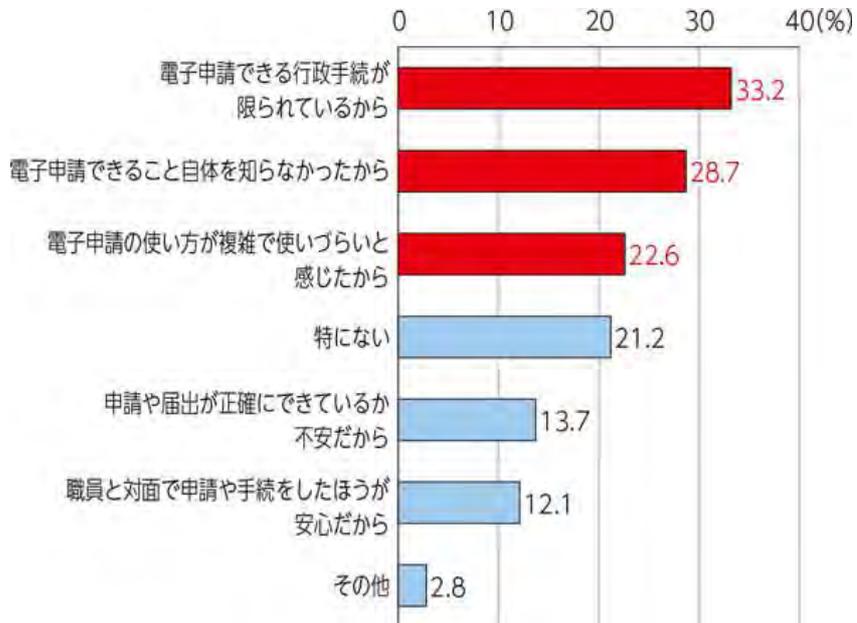
(実施期間：2020年7月31日～8月7日)

また、令和4年度に本市が行った情報化に関するアンケート調査において「井原市において、ICT\*を使って実現して欲しいサービスは、どのようなものがありますか。（複数選択あり）」の問いでも、緊急情報の発信に次いで行政手続のオンライン化が挙がっています。



2) デジタル活用の課題

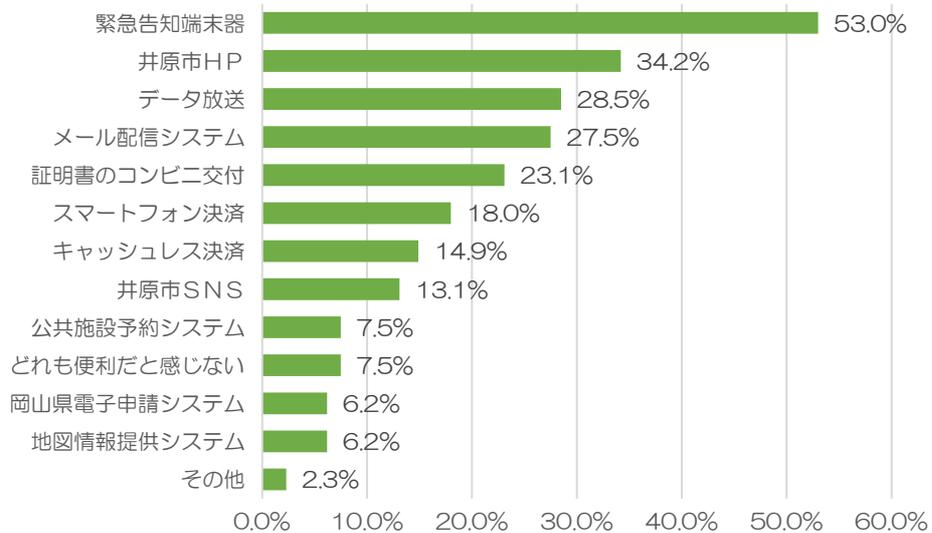
一方、電子申請できる行政手続が限られている、電子申請できることを知らない、電子申請の使い方が複雑等の理由からオンラインの利用が広まっていません。



【電子申請サービスを利用しなかった理由】

(出典) 令和3年版 情報通信白書

また、令和4年度に本市が行った情報化に関するアンケート調査において「井原市が提供・実施している電子サービス及びICT\*関連サービスで便利だと感じるサービスがありますか。」の問いでも情報配信関連が上位に来ており、行政手続関連は下位になっています。





## 第3章 井原市における情報化の現状と方向性

---

1. 井原市における情報化の現状
2. 市民が求める情報化
3. 情報化の基本方針
4. 情報化推進の基本施策



## 第3章 井原市における情報化の現状と方向性

### 1. 井原市における情報化の現状

#### 1) 井原市第5次情報化計画の進捗状況

井原市の地域情報化推進に向けた進捗状況については、これまで井原市第5次情報化計画（計画期間：令和元年度から令和4年度まで）に基づいて、各種施策を実施しました。この計画では、5つの基本施策、31の具体的な施策の実施を掲げています。これらの基本施策の進捗状況について評価すると、下記のとおり、おおむね順調に進捗しました。

井原市第5次情報化計画における施策の進捗状況

基本方針	基本施策	具体的な施策項目	評価
安全・安心に暮らせるまち「やさしさ」と「つながり」が実感できるデジタルコミュニティ	施策1 情報通信基盤の強化	1 情報通信基盤設備の更新	◎
		2 次世代高速無線通信等の推進	○
		3 公共施設のWi-Fi環境整備	◎
	施策2 市民サービスの向上・拡充	1 テレビを活用した行政情報配信サービスの充実	◎
		2 安全・安心情報の収集・配信の充実	○
		3 個人番号カードの普及促進	◎
		4 各種証明書のコンビニ交付及び市税のコンビニ収納	◎
		5 公衆無線LANの整備	◎
		6 地図情報提供システムの充実	◎
		7 LPWAネットワークを活用した各種通知システムの検討	△
		8 SNS等を活用した行政情報の配信の充実	◎
		9 電子申請の利用拡大	◎
		10 井原市ホームページの充実	◎
	施策3 地域産業の活性化・育成	1 産業用高速通信の支援	◎
		2 産業支援情報提供システムの推進	○
		3 市内事業者データベースの整備	○
		4 情報通信基盤を活用した地域産業の活性化支援	○
		5 インターネットを活用した販路開拓の支援	◎
	施策4 情報化社会に対応した人材育成	1 小中高等学校における教育・啓発	◎
		2 学校ICT環境の整備	◎
		3 市民向けの教育・講習の充実	◎
		4 地域産業分野のICT活用能力の育成	◎
		5 個人情報保護とモラルの向上	◎
	施策5 電子市役所の形成	1 情報セキュリティの強化	◎
		2 市税等納付方法の利便性向上	◎
		3 受付情報の一元化	○
		4 地図情報提供システム（統合型GIS）の拡充	◎
		5 自治体クラウドについての検討	△
		6 文書管理・電子決裁・情報公開システムの構築	△
		7 電子機器等の効率化	◎
		8 RPA等を活用した業務改善の研究・検討	◎

<評価について>

◎ 取り組んだ	22
○ 一部取り組んだ	6
△ 検討した・検討している	3
× 取り組んでいない・見送った	0

■施策1 情報通信基盤の強化

具体的な施策項目	計 画 内 容	実 施 状 況
1) 情報通信基盤設備の更新	<p>芳井及び美星地区の情報通信基盤設備は、整備から十数年が経過し、耐用年数を迎える。通信技術の進歩に伴い、高速かつ大容量のデータ送受信環境が求められている中、旧井原市内、芳井町の一部は、平成28年度に光ケーブル（FTTH方式）<sup>※</sup>での更新が完了している。</p> <p>こうしたことから、市内における地域間の情報通信速度格差を是正するためにも、大容量の通信が可能となる光ケーブルによる再構築を本計画の計画期間で実施することを目指す。</p>	<p>芳井及び美星地区の情報通信基盤設備については、平成17年の市町村合併後に、井原市が難視聴対策事業として平成18年から平成21年にかけてケーブルテレビ網（HFC方式）<sup>※</sup>を整備し、テレビ及びインターネットを利用するためのインフラ整備を行った。</p> <p>しかし、整備から十数年が経過し、平成18年に構築したエリアは、令和2年に耐用年数を迎えた。通信技術の進歩に伴い、高速かつ大容量のデータ送受信環境が求められているなか、井原放送株式会社の整備エリア（旧井原地区及び芳井地区の一部）についてはFTTH方式<sup>※</sup>での更新が完了している。</p> <p>こうしたことから市内における地域間の情報格差を是正するため、FTTH方式<sup>※</sup>による再構築を令和2年度から4か年をかけて行う予定であり、第3期工事を実施中である。</p>
2) 次世代高速無線通信 <sup>※</sup> 等の推進	<p>現在、携帯電話通信事業者のサービス提供エリアの拡大により、一部山間部を除く市全体に高速無線通信（4G）環境が整備された。</p> <p>今後も引き続き、市全域を更にきめ細かくカバーし、場所や通信設備を意識することなく、どこでもインターネット通信を行える環境を実現するための手段として、次世代高速無線通信<sup>※</sup>の動向に注視するとともに、関係電気通信事業者に働きかけを行う。</p>	<p>令和2年3月から都市部を中心に、次世代高速無線通信（第5世代移動通信システム：5G）<sup>※</sup>のサービス提供が開始された。この通信エリアは順次拡大しており、令和4年4月時点で市内中心部において5G<sup>※</sup>のサービス提供が開始されている。</p>

具体的な施策項目	計 画 内 容	実 施 状 況
<p>3) 公共施設の W i - F i ※ 環境整備</p>	<p>指定避難所への W i - F i ※環境整備を進める。</p> <p>学校無線LANを整備し、タブレット端末等を用いた授業での活用、災害時には避難者が利用できるなど、切り替えての利用も可能な仕組みづくりを考慮して導入を進める。</p> <p>図書館などの公共施設にもW i - F i ※環境の整備を検討し、観光客等も含めた利用者の利便性の向上を図る。</p>	<p>平成30年度から令和2年度までの3か年において、全小中学校の教室及び体育館にW i - F i ※環境の整備を行い、避難所開設時は公衆無線W i - F i ※を開放するとともに、平時は児童生徒1人1台のタブレット端末の利用を可能にするなど、「教育のICT※化」の加速を図った。</p> <p>また、令和2年度にはペンションコメットにおいてワーケーション※用に拡充するため整備を行った。</p> <p>さらに、令和3年度には星の郷観光案内所へ高梁川流域W i - F i ※のアクセスポイントを1か所追加し、観光客等も含めた利用者の利便性向上を図った。</p> <p>令和4年度には、幼稚園及び平櫛田中美術館（新館建設時）にて整備を行う。</p>

■施策2 市民サービスの向上・拡充

具体的な施策項目	計 画 内 容	実 施 状 況
1) テレビを活用した行政情報配信サービスの充実	<p>現在、井原放送株式会社が構築し運用しているデータ放送サービスと連携し、CATV※を活用した情報提供の更なる充実に取り組む。災害時においても効果的な運用に努める。</p>	<p>井原市からのイベントや募集情報などを配信している。</p> <p>令和3年3月からは「新型コロナ関連情報」のカテゴリを追加し、市民が求める情報をわかりやすく配信するようサービスを向上させた。</p>
2) 安全・安心情報の収集・配信の充実	<p>現在、災害時の情報配信は、それぞれのシステムに情報を入力し配信する必要があるため、一定の時間を要するため、より迅速かつ適正な情報を一括で配信できるシステムや仕組みづくりの研究及び検討を行う。被災者の支援情報を的確に収集・把握するため、被災者支援システムの導入も検討する。</p>	<p>災害時の情報配信は、岡山県総合防災情報システムとL-A L E R T※との連携により、岡山県総合防災情報システムにのみ入力することで自動配信が可能となった。</p> <p>また、井原市メール配信サービス※で配信する内容は、FacebookとTwitterに同時配信できるシステムへ拡張した。</p> <p>被災者支援システムの導入については、国（内閣府）において、自治体の被災者支援に関するシステム整備促進を目的として、「クラウド型被災者支援システム」の構築を進める方針が示されたことから独自システムの導入や検討を見送った。</p>
3) 個人番号カードの普及促進	<p>個人番号カードを活用したサービスの拡充などを行い、この普及促進に努める。</p>	<p>窓口での申請支援受付に加え、令和3年1月から、職員が市内の企業や団体等を訪問し、交付申請受付を行う「出張申請受付」や窓口においても申請者が希望し、かつ条件を満たす時は、交付時は来庁せずにカードを郵送で受け取ることができる「申請時来庁方式」による受付を実施し、個人番号カードの取得促進に取り組んだ。</p> <p>引き続き、効果的な普及促進と制度周知について検討する。</p> <p>【参考】 令和4年8月末現在 個人番号カード          交付者数：17,422人 交付率：44.9%          (全国：47.4% 県：46.5%)</p>

具体的な施策項目	計 画 内 容	実 施 状 況																
4) 各種証明書のコンビニ交付 <sup>※</sup> 及び市税のコンビニ収納	<p>個人番号カードを活用し、市民が全国のコンビニエンスストア等で、住民票や印鑑登録証明書などの交付を受けることができるサービスや住民税・固定資産税などの市税を納付できるサービスの導入を進める。</p>	<p>平成31年4月から、コンビニ収納を開始した。さらに令和2年3月から、個人番号カードを利用して、全国のコンビニエンスストアなどで住民票の写し、印鑑登録証明書、所得（課税）証明書などが取得できるコンビニ交付を実施し、市民サービスの向上に努めた。</p> <p>令和5年1月から軽自動車税の納税データを軽自動車検査協会と共有化することで、車検時に納税証明の添付が不要となる予定。</p> <p><b>【参考】各種証明書のコンビニ交付状況（単位：件）</b></p> <table border="1" data-bbox="810 734 1399 936"> <thead> <tr> <th>証明書の種類</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住民票の写し等</td> <td>7</td> <td>774</td> <td>1,390</td> </tr> <tr> <td>印鑑登録証明書</td> <td>23</td> <td>702</td> <td>1,252</td> </tr> <tr> <td>所得（課税）証明書</td> <td>13</td> <td>106</td> <td>185</td> </tr> </tbody> </table>	証明書の種類	令和元年度	令和2年度	令和3年度	住民票の写し等	7	774	1,390	印鑑登録証明書	23	702	1,252	所得（課税）証明書	13	106	185
証明書の種類	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
住民票の写し等	7	774	1,390															
印鑑登録証明書	23	702	1,252															
所得（課税）証明書	13	106	185															
5) 公衆無線LANの整備	<p>図書館などの公共施設にもWi-Fi<sup>※</sup>環境の整備を検討し、観光客等も含めた利用者の利便性の向上を図る。</p>	<p>令和3年度に星の郷観光案内所へ高梁川流域Wi-Fi<sup>※</sup>のアクセスポイントを1か所追加し、観光客等も含めた利用者の利便性向上を図った。</p> <p>令和4年度には、平櫛田中美術館（新館建設時）にて整備を行う。</p>																
6) 地図情報提供システム <sup>※</sup> の充実	<p>現在、市民向けに公開している地図情報公開システムについて、より視覚的に分かりやすい情報提供を継続して行うこととし、掲載情報についても随時追加を行う。</p>	<p>平成23年10月より県内の市町村で共同利用を行っているおかやま全県統合型GISについて、令和3年10月にリニューアルを行った。</p> <p>市民向け、内部用の両面で様々な地図情報を作成し、利用を行っている。</p> <p>市民の皆様向け地図情報掲載マップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用基本計画図</li> <li>・浸水想定区域情報</li> <li>・土砂災害警戒区域</li> <li>・山地災害危険情報</li> <li>・指定・県指定文化財</li> <li>・震度分布図</li> <li>・土砂災害防災マップ</li> <li>・防災情報</li> <li>・土砂災害危険箇所</li> <li>・特別警戒区域情報</li> <li>・ため池情報</li> <li>・埋蔵文化財（遺跡）</li> <li>・液状化危険度分布図</li> <li>・サル情報マップ</li> </ul> <p>内部用地図情報掲載マップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カーブミラー設置箇所</li> <li>・街灯設置箇所 など</li> </ul>																

具体的な施策項目	計 画 内 容	実 施 状 況
7) LPWA <sup>※</sup> ネットワークを活用した各種通知システムの検討	地域の行政課題に対応するため、低消費電力・広域通信を特徴とする通信技術「LPWA <sup>※</sup> 」を使ったネットワークの構築を検討し、通信事業者等との提携による実証実験等への参加について研究・検討を行う。	国内においては、児童の登下校お知らせサービス、水道の検針などで活用されているが、本市において検討を行なった結果、導入や構築ができる業務が無いため見送った。
8) SNS <sup>※</sup> 等を活用した行政情報の配信の充実	SNS <sup>※</sup> は、即時性の高い情報配信ツールとして有効であるため、行政情報やイベント情報等の配信を積極的に行う。また、災害情報・災害関連情報も、災害時の行政情報を取得するツールの一つとして有効であるため、配信の方法や活用するSNS <sup>※</sup> の種類などについて検討を行う。	井原市公式Facebookのほかに新たに井原市公式Instagram、LINE、Twitter、YouTube、を開設した。市政情報、イベント情報など井原市に関する様々な情報を各課より投稿している。 その他、平櫛田中美術館、美星天文台、でんちゅうくんなど個別アカウントでの情報発信も行っている。
9) 電子申請の利用拡大	引き続き各種申請、研修等の申込ツールとしての活用、子育てワンストップサービス <sup>※</sup> の申請窓口としての活用など、利用項目について精査し、利用者の拡大を図る。	電子申請の利用拡大を担当課に呼びかけた。 コロナ禍において対面によらない手続の必要性が増したこともあり、新型コロナワクチン接種券受付業務やいばらぶ学生エール便の申込などにおいて、電子申請システム <sup>※</sup> を活用し、受付を行った。

具体的な施策項目	計 画 内 容	実 施 状 況
<p>10) 井原市ホームページの充実</p>	<p>掲載情報の充実を図り、市民にとって分かりやすく、有益な行政情報の積極的な配信に努める。井原市への移住・定住促進などに向け、本市の魅力的な生活環境や取組を紹介するポータルサイト<sup>※</sup>等も、引き続き内容の充実を図る。</p> <p>また、災害時における災害情報・災害関連情報の配信を迅速かつ適正に行えるよう配信方法や配信内容について検討を行う。</p>	<p>「移住定住」、「ひとづくりのまち井原」「渋沢栄一と井原」や井原の魅力を発信するシティプロモーションページなど期間限定のものも含めポータルサイトを充実させ、魅力的なホームページとなるよう取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住・定住ポータルサイト「井原Life」 令和4年4月リニューアル</li> <li>・「ひとづくりのまち井原」 令和3年4月構築</li> <li>・文化財センター特別展「渋沢栄一と井原」 令和3年7月～令和4年1月</li> <li>・シティプロモーション事業 令和2年 「はじめましていばら」 令和3年 「Everybody is A STAR」</li> </ul>

■施策3 地域産業の活性化・育成

具体的な施策項目	計 画 内 容	実 施 状 況
1) 産業用高速通信の支援	井原市が整備した芳井及び美星地区の情報通信基盤設備は、整備から十数年が経過し、耐用年数を迎える。市内における地域間の情報格差を是正するためにも、大容量の通信が可能となる光ケーブル（FTTH方式）※による再構築を本計画の計画期間で実施することを目指す。	産業活動において、大容量のデータ通信が求められていることを受け、芳井及び美星地区についてもFTTH方式※による再構築を令和2年度から4か年をかけて行う予定であり、第3期工事を実施中である。
2) 産業支援情報提供システムの推進	国・岡山県・市が行う、経営・金融・財務・商業サポート等の支援情報を事前に登録された市内企業にメールで送信するなど、リアルタイムな情報発信を推進する。	井原市単体でのシステム構築が難しいことから、公益財団法人岡山県産業振興財団がシステム構築をしている「SSNニュース」（メールマガジンによる産業支援情報の提供（毎週火曜日に定期発信））及び「オプティックニュース」（県内企業や産業支援機関等が登録するメーリングリスト（随時発信））への登録を呼びかけるよう井原商工会議所や備中西商工会を通して依頼した。 また、井原商工会議所では公益財団法人岡山県産業振興財団のメールサービス「SSNニュース」や「オプティックニュース」への登録の勧奨だけでなく、会員企業を対象とした独自のメーリングリスト（登録数：460社）を作成し、市の実施する新型コロナウイルス感染症関連の事業者支援策の情報提供を随時行った。

具体的な施策項目	計 画 内 容	実 施 状 況
3) 市内事業者データベースの整備	井原市地場産業振興センター、井原商工会議所、備中西商工会、事業者がそれぞれ連携し、事業者の概要・技術・ノウハウ等の情報をデータベース化することで、市内事業者の取引支援を行い、産業の振興を図る。	<p>本市の産業支援コーディネーターが市内事業者を訪問し、情報提供の協力を得た事業所から事業所概要、技術、商品等についての情報を取得し、データベース化を行っている。このデータは、産業支援コーディネーターによる取引支援（マッチング支援）に使用しており、公開については一部秘密情報等を含むことから行っていない。</p> <p>なお、事業所情報の公開については、公益財団法人岡山県産業振興財団が構築する「おかやま企業情報ナビ」(県内企業情報のデータベースを公開したポータルサイト<sup>※</sup>)への登録を呼びかけている。</p>
4) 情報通信基盤を活用した地域産業の活性化支援	情報通信基盤を活用した市内の既存産業の活性化、更には市外・県外からの企業の誘致を図るため、サテライトオフィス <sup>※</sup> の支援など新たな企業立地に向けた取組や、テレワーク <sup>※</sup> の支援など働き方改革に向けた取組について検討する。	<p>現在、情報通信基盤の整備を実施中であり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で全国的な需要も高まっているため、アフターコロナを見据え、呼びかけを行った。今後、産業界からサテライトオフィス<sup>※</sup>やテレワーク<sup>※</sup>への支援に関する要望があれば、需要や効果などを検証しながら検討を行いたい。</p>
5) インターネットを活用した販路開拓の支援	商工会議所等が運営する商品取引支援サイトの活用を促進し、市内の特産品等の商品情報を配信することで、新たな販路拡大の支援を進め、地域経済の活性化を図る。	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により対面販売以外の手法での販路拡大の必要性が急速に高まったことから、ホームページやInstagram、ECサイト<sup>※</sup>に係る運営や構築などに必要な事業費を支援する補助制度を設置し、新たな販路開拓の支援を図った。</p>

■施策4 情報化社会に対応した人材育成

具体的な施策項目	計画内容	実施状況
<p>1) 小中高等学校における教育・啓発</p>	<p>情報化社会の中で本市の子どもたちが安全・安心に情報に触れられるように、児童・生徒、保護者も含めてセキュリティ等に関する情報教育・啓発を実施する。</p> <p>また「ICT※を活用した授業の推進」「情報活用能力の育成の推進」「教員のICT※活用指導の向上」「情報モラル教育の推進」に取り組む。</p>	<p>【小中学校】</p> <p>児童生徒1人1台端末の導入によりICT※機器が子どもたちにとって、より身近なものとなった。子どもたちが安全・安心に情報に触れられるようにIDやパスワードの管理の仕方やWebにアクセスする際に注意することなどの指導を行うとともに、情報モラルについても指導を行った。保護者に対しても、端末の利用についての文書を配布するとともに、ネット社会に潜む危険性に関する研修を行うなど情報教育の啓発を図っている。</p> <p>また、県主催の「OKAYAMAスマホサミット」の案内を各校へ周知し、情報モラル教育推進への啓発を図っている。</p> <p>1人1台端末が効果的に活用できるよう、教員対象の研修を実施し「ICT※を活用した授業の推進」「教員のICT※活用指導の向上」を図った。</p> <p>【高等学校】</p> <p>毎年1年生を対象として、スマートフォンやSNS※等の使用に伴うトラブル等について周知するとともに、適切な使い方について指導を行っている。全学年を対象とした、外部講師による情報モラルについての研修会を実施している。</p> <p>ICT※の活用については、教員の活用指導力の向上のため、授業や個別事例について協議、意見交換を行うタブレットを使った研修会を実施しているほか、ICT※を活用した授業の推進を図っている。</p>
<p>2) 学校ICT※環境の整備</p>	<p>国の進める「教育のICT※化に向けた環境整備5か年計画」を踏まえ、超高速インターネット及び無線LANやデジタル教科書、電子黒板、ICT※支援員の充実など学校ICT※環境の整備を進める。また、タブレット端末やプログラミング教育推進用教材も、導入の検討を行う。</p>	<p>小中学校及び市立高等学校に高速通信に対応した無線LANネットワーク環境と、児童生徒1人1台のタブレット端末を整備した。また、小中学校へ電子黒板の整備を行い、デジタル教科書及びプログラミング教材の整備も進めている。さらに小中学校、市立高等学校及び大山塾に「ICT※支援員」を派遣し、教育のICT※化が加速する学校現場において、教職員によるICT※機器の活用方法の習得や、業務をサポートする体制を拡充した。</p>

具体的な施策項目	計 画 内 容	実 施 状 況
3) 市民向けの教育・講習の充実	<p>アクティブライフ井原をはじめとする生涯学習施設、各地区公民館でのパソコン教室等の継続的な開催に取り組み、セキュリティに関する周知及び操作支援等を実施することで、誰もが情報化社会の恩恵を享受できる地域社会の実現を目指す。また、誰もが気軽に講座などに参加できる仕組みづくりについて取り組む。</p>	<p>アクティブライフ井原をはじめとする各公民館、ふれあいセンター、芳井生涯学習センターでパソコン教室等を継続的に開催した。</p> <p>また、スマートフォンの普及が進み、様々な手続が可能となっている状況を鑑み、令和4年度よりスマートフォン講座を開催し、講座内容・回数 of 充実を図るとともに、従来のパソコン講座では対象にならないスマートフォンのみを使用する層にも支援が届くように取り組んだ。</p>
4) 地域産業分野のICT※活用能力の育成	<p>第5次情報化計画から引き続き井原商工会議所・備中西商工会が中心的な役割を担い、地域産業への情報化に関する学習支援体制の充実を図り、市内の企業で働く人のICT※活用能力を一層高めるための取組を推進する。また、普及の広がっている電子申告などにも柔軟に対応できる人材を育成するとともに、情報システムの安全性・セキュリティ対策と個人情報保護の視点に立ったICT※活用能力の育成にも取り組む。</p>	<p>井原商工会議所では全国の商工会議所・商工会が共同運営するビジネスモール「ザ・ビジネスモール」の活用を促進するなど、新たな販路開拓について継続的にICT※を利活用している。さらに、SDGs※やBCP※に関するセミナーをオンライン限定で開催することで、参加事業者のICT※活用能力の向上に繋げている。また、備中西商工会でもICT※の活用に関する講演会や専門家の派遣を行う等ICT※活用能力の育成に努めている。</p>

具体的な施策項目	計 画 内 容	実 施 状 況
<p>5) 個人情報保護とモラルの向上</p>	<p>地域情報化の進展に伴い、データベースの構築や運用に当たって個人情報の保護手段・啓発等について十分な対応を企業・学校・各種団体・商店等とともに推進する。</p>	<p>①企業・商店等関係 井原商工会議所・備中西商工会から推薦された者を市の個人情報保護制度運営審議会の委員に委嘱し、個人情報の適正な取扱いについて会員企業を中心に周知を図った。</p> <p>②学校関係 小中学校においては、毎年、授業の中で情報モラルについての学習に取り組んでいる。また、井原市学校情報セキュリティポリシーの改定を行うとともに、学習端末利用機器・校務端末利用規定を策定した。</p> <p>③市の取組 個人情報に関するセキュリティ対策は、情報資産の取扱やセキュリティ対策について取り決めている市情報セキュリティポリシーに基づき、対策に努めている。情報セキュリティポリシーは、情報システム等の変化や情報セキュリティに関する脅威の変化等に対応していくため、令和4年4月1日に改訂した。</p> <p>また、マイナンバー<sup>※</sup>の取扱は、国の示す特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドラインに基づき、システムの操作権限の制限、アクセス制限や関係システムのアクセス履歴、操作履歴の管理や監視を行うとともに、不正アクセスなどの対策を厳格に行っている。さらに担当職員には、国が行っているeラーニングでマイナンバー<sup>※</sup>制度における情報セキュリティの重要性、情報の取扱、脅威と脆弱性などの情報セキュリティの基本などを学ぶ研修を受講させ、情報セキュリティの意識を高めている。</p>

## ■施策5 電子市役所の形成

具体的な施策項目	計 画 内 容	実 施 状 況
1) 情報セキュリティの強化	平成28年度に国の自治体情報セキュリティ強化対策事業に合わせ情報セキュリティの強化を行い、不正アクセスや標的型メール等の攻撃について必要な措置を図った。今後も引き続き、情報システムの構築及び運用に当たって、適切な技術的・物理的・人的対策を図り、情報セキュリティ強化対策に努める。	国の自治体情報セキュリティ強化対策事業に合わせ、平成28年12月にインターネット分離 <sup>※</sup> 、メール無害化 <sup>※</sup> 、岡山県セキュリティクラウド <sup>※</sup> への接続などを行い情報セキュリティの強化を行い、不正アクセスや標的型メール等の攻撃について必要な措置を図り、その後も継続的に強化に取り組んでいる。
2) 市税等納付方法の利便性向上	市税・各種手数料・使用料等の納付方法について、一体的に見直しを行い、コンビニ納付、クレジット納付を視野に入れ、その実施について検討する。	令和元年度にコンビニ収納を、令和3年度にスマートフォン決済 <sup>※</sup> を開始した。 令和5年度にQRコード対応納付書により全国金融機関窓口で納付可能となる予定である（令和4年度システム改修）。
3) 受付情報の一元化	受付窓口で各種届出を受理する際に、複数課にわたる窓口業務をスムーズに行うため、来庁目的や世帯の状況等に合わせて、他の必要な手続を案内し、受付した情報を各担当課と連携できる新たな情報システムの構築について、個人番号カードの活用等も含めて、調査・研究を進める。	異動受付時に、書面で関係手続や担当課への案内を行っている。 また、現在の住民基本台帳システムで介護、後期、児童、国保、年金の有無の確認が可能であるため、各担当課への案内と情報共有が可能となっている。 今後も申請書類の記入削減や市役所滞在時間の短縮、システム入力・検索の省略や窓口案内の簡略化などが実現できるような、個人番号カードを活用するシステムの構築について調査、研究を行う。

具体的な施策項目	計 画 内 容	実 施 状 況
<p>4) 地図情報提供システム※ (統合型GIS)の拡充</p>	<p>現在、運用している統合型GISを複数の部署が利用する庁内横断的なシステムとして更に利活用を推進し、地図の共用化によるコスト削減、新たな地図利用業務への展開及び業務の効率化を図る。また、市民向けの井原市地図情報も、より視覚的に分かりやすい情報提供を継続して行うこととし、掲載情報についても随時追加を行う。</p>	<p>平成23年10月より県内の市町村で共同利用を行っているおかやま全県統合型GISについて、令和3年10月にリニューアルを行った。</p> <p>市民向け、内部用の両面で様々な地図情報を作成し、利用を行っている。</p> <p>市民の皆様向け地図情報掲載マップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用基本計画図</li> <li>・浸水想定区域情報</li> <li>・土砂災害警戒区域</li> <li>・山地災害危険情報</li> <li>・指定・県指定文化財</li> <li>・震度分布図</li> <li>・土砂災害防災マップ</li> <li>・内部用地図情報掲載マップ</li> <li>・カーブミラー設置箇所</li> <li>・防災情報</li> <li>・土砂災害危険箇所</li> <li>・特別警戒区域情報</li> <li>・ため池情報</li> <li>・埋蔵文化財(遺跡)</li> <li>・液化化危険度分布図</li> <li>・サル情報マップ</li> <li>・街灯設置箇所 など</li> </ul>
<p>5) 自治体クラウド※についての検討</p>	<p>自治体クラウド※の推進が近年求められており、東日本大震災の経験も踏まえ、堅牢なデータセンター※を活用することで、行政情報を保全し、災害・事故等発生時の業務継続を確保する観点から、共同利用の方向性について国・岡山県や近隣市町と連携しながら、長期的な経費についての検討、自治体クラウド※への移行時期や移行するシステム等について検討を行う。</p>	<p>国により、自治体における情報システム等の共同利用、手続の簡素化、迅速化、行政の効率化等を推進するため、住民記録、地方税など自治体の情報システム20業務の標準化・共通化に取り組むこととしており、全国規模のクラウド基盤(ガバメントクラウド)にこれらを構築し、各自治体が利用する予定としている。本市においても令和7年度までに完了を目指す。</p>

具体的な施策項目	計 画 内 容	実 施 状 況
6) 文書管理・電子決裁・情報公開システムの構築	<p>文書の作成から決裁、保管及び廃棄までの文書サイクルを電子的に一元管理し、迅速かつ適正な意思決定を行うための文書管理システム及び電子決裁システムや、情報公開制度に対応した情報公開システムの導入を、既に導入している近隣市町などの状況を参考に、投資効果や運用面の課題等を整理し、引き続き調査・研究を行う。</p>	<p>文書管理システムについては、市役所庁内において専門ワーキンググループを設置し検討した経緯があるが、実施時期及び運用方法を精査し、テレワーク※システムなどとあわせて研究する必要があることから見送られている状況である。他団体事例を調査の上、引き続き調査・研究を行う。</p>
7) 電子機器等の効率化	<p>基幹系システムの効率化と並行して、サーバ・ネットワーク機器の仮想化※を行い、サーバの購入台数を減らすことで投資コストの削減、ハード保守費やサポート費の削減、ラック数・電源容量等の削減について引き続き推進する。</p> <p>また、自治体クラウド※を見据えたデータセンター※の利用に関する検討を行う。</p>	<p>平成25年度に行ったサーバ機器の仮想化導入により、現在38台のサーバを仮想基盤上に構築し、サーバ機器、ライセンスなどを集約している。平成30年には、機器保守期限終了のため更新を実施、令和3年には容量の追加も実施した。</p>

具体的な施策項目	計 画 内 容	実 施 状 況
<p>8) RPA<sup>※</sup>等を活用した業務改善の研究・検討</p>	<p>社会情勢の変化に伴って、業務の増加・多様化が生じており、住民サービスの質を低下させることなく行政運営を行っていくため、事務処理の自動化技術やAI<sup>※</sup>等の技術を用いた事務改善に取り組む。書類の転記や数字の入力といった、定型的な事務作業を自動化するRPA<sup>※</sup>の導入について検討を行い、定型的な業務から、より市民と向き合う付加価値の高い業務に集中できる環境の構築を目指す。また、AI<sup>※</sup>等の技術が活用可能な業務について研究を行い、手間と時間がかかる仕事を効率化し、住民サービスの向上を図るための業務改善について検討を行う。</p>	<p>保育園入所選考業務について、AI<sup>※</sup>技術を用いたシステムを導入し、年間約400時間の業務時間を削減した。</p> <p>また、令和2年度からRPA<sup>※</sup>を導入し、定型業務の自動化を図り、令和3年度までで年間約300時間の業務時間を削減した。令和4年度からはさらに文字の自動読取を行うAI-OCRと組み合わせて業務の自動化を図っており、今後も引き続き適用業務の拡大を図る。</p>

2) 井原市における情報化のあゆみ

年	月	情報通信基盤関係	情報化サービス関係
平成8	10		●市ホームページの開設
10	3	●テレトピア地域の指定 ●電子計算機処理データに関する保護管理規程策定 (H14.10改正)	
	11	●庁内情報化推進委員会設置	
11	6	●市情報化推進懇話会の設置	
12	2	●岡山情報ハイウェイとの接続 (アクティブライフ井原)	
	3	●庁内情報化推進計画の策定 ●井原放送(株)双方向CATV回線の整備 (井原町、上出部町、下出部町、七日市町、笹賀町と上稲木町の一部、芳井町西吉井地区、東吉井地区)	
	9	●旧美星町行政情報ネットワークの整備	
13	2	●井原放送(株)双方向CATV回線の整備 (高屋町、西江原町の一部、芳井町与井地区、佐原地区及び梶江地区の一部)	●IT講習会の開催 36会場
	6	●井原市情報ネットワークの整備 井原放送(株)双方向CATV回線により、本庁舎と出先10施設が接続	●市ホームページのリニューアル ●公共施設予約案内システムの稼働 ●ライブ中継映像システムの稼働 ●図書検索システムの稼働 ●市民開放端末の設置 ●テレビ会議システムの導入(井原・出部・高屋・西江原小学校、井原・高屋中学校、市立高校)
	7	●旧芳井町行政情報ネットワークの整備	●市ホームページ総合案内の開設
14	3	●岡山県電子自治体推進協議会へ参加	●テレビ会議システムの導入 (大江・稲倉・野上小学校)
	4		●議会議事録検索システムの稼働
	6	●井原放送(株)双方向CATV回線の整備 (木之子町) ●井原市情報ネットワークの接続施設追加 井原放送(株)双方向CATV回線により、本庁舎と出先8施設が接続	●テレビ会議システムの導入 (木之子小・中学校)
	7		●岡山県図書館横断検索システムの稼働
	8	●住民基本台帳ネットワークシステム1次稼働	
	10		●ご意見・ご提言ページの開設
	12	●井原放送(株)双方向CATV回線の整備 (門田町、西方町、東江原町、神代町、大江町、上稲木町、下稲木町、岩倉町)	●テレビ会議システムの導入 (荏原・県主・青野小学校)

年	月	情報通信基盤関係	情報化サービス関係
15	5		●井原市制施行50周年記念事業 インターネットクイズ「見来探見」開催
	7	●市役所新庁舎の完成 ●井原市情報ネットワークの強化 本庁舎とアクティブライフ井原を光ファイバで接続 新庁舎内の光幹線・庁内LANの整備 ●岡山情報ハイウェイとの接続 (本庁舎へ接続ポイントを移設)	●戸籍総合システムの稼働 ●行政情報動画配信システムの稼働 ●住民票、印鑑登録証明書発行用自動交付機を本庁へ設置 ●会議室催し案内表示システムの稼働 ●市民課受付番号呼出表示システムの稼働 ●情報プラザの設置
	8	●住民基本台帳ネットワークシステム2次稼働	●住民基本台帳カード付加価値利用の開始
	10	●L G W A N接続	
	11		●岡山県電子申請システムの運用開始
	12	●井原放送(株)双方向CATV回線の整備 (青野町、稗原町、北山町、野上町及び 西江原町・高屋町の一部)	
16	1		●公的個人認証サービスの開始
	3		●地籍管理システムの稼働
	7		●インターネットクイズ「見来探見2」開催
	10	●井原放送(株)双方向CATV回線の整備 (芳井町築瀬、梶江地区及び宇戸川地区の一部)	
17	1		●市携帯電話用ホームページの開設
	3	●井原地域情報ネットワークの整備 本庁舎・芳井支所(学校等含む)・美星支所(学校等含む)を接続 ●井原地域情報ネットワークへの接続施設追加 井原放送(株)双方向CATV回線により、本庁舎と市民活動センターを接続	
	7	●市情報化推進懇話会の設置	●インターネットクイズ「見来探見3」開催
	8	●井原地域情報ネットワークへの接続施設追加 井原放送(株)双方向CATV回線により、本庁舎と芳井・美星地域を除く14小・中学校を接続	
	9	●井原地域情報ネットワークへの接続施設追加 井原放送(株)双方向CATV回線により、 本庁舎と井原市文化財センターを接続	
18	1		●条例・例規検索サービスの開始
	2		●市ホームページ総合案内のリニューアル
	3	●第2次井原市情報化計画策定 ●第2次井原市庁内情報化推進計画策定	
	12	●井原市地域情報通信基盤整備工事 第1工区	

年	月	情報通信基盤関係	情報化サービス関係
19	5	●井原市地域情報通信基盤整備工事 第2工区	●図書館監視システム稼働
	6		●井原市メール配信サービス開始（防災・防犯）
	7		●図書館蔵書・予約システムの稼働
20	1		●市ホームページリニューアル ●井原市メール配信サービス追加 （火災・緊急・お知らせ）
	7	●井原市地域情報通信基盤整備工事 第3工区	
	11		●おかやま届出・申請ナビ稼働
	12		●行政情報動画配信システムを県のサーバに移行
21	1		●市内ライブカメラ更新
	4		●自動交付機更新 ●公共施設予約システム稼働
	7		●井原市メール配信サービス追加（市内学校）
	8	●井原市地域情報通信基盤整備工事 高屋北部・木之子工業団地	
	9		●市役所本庁市民サロン プラズマテレビ更新
	12		●e L T A X（地方税ポータルシステム）受付開始
22	5		●期日前選挙システムの更新（国民投票含む）
	10	●井原地域情報ネットワークへの接続施設追加 美星支所と特別養護老人ホーム星の郷を接続	
23	3	●第3次井原市情報化計画策定 ●第3次井原市庁内情報化推進計画策定	●全国瞬時警報システム（J-A L E R T）接続
	4		●市ホームページ 用語解説機能を追加 ●水道料金、下水道使用料のコンビニ収納開始
	5		●井原市メール配信サービスに「市役所からのお知らせ」配信開始
	7	●地上波アナログ放送終了	
	12		●井原市議会デジタル放送開始
24	1		●エリアメールサービス開始
	2		●緊急告知端末器配布（井原町・西江原町）
	3		●本庁1階情報プラザへフリースポット設置
	4		●くらしの安全・安心情報配信協定締結（井原警察署）
	8		●緊急告知システム運用開始
		●出先機関、小中学校の行政ネットワーク光ケーブル敷設	
	9		●図書館蔵書管理システム更新
	10		●公共施設予約システムへグラウンドゴルフ場を追加

年	月	情報通信基盤関係	情報化サービス関係
24	10		●緊急告知端末器配布（井原・西江原町を除く旧井原市）
25	3		●基幹系システム更新
	7		●芳井支所及び美星支所へフリースポット設置
	8		●緊急告知端末器配布（芳井・美星地域、避難所）
	9		●仮想サーバ運用開始
	12		●緊急告知端末器、J-A L E R T と連携
26	2		●メール配信システム、緊急告知端末器と新消防指令台システム連携開始
	4		●図書館監視システムの更新
	10	●ステイタスマニタ更新 ●井原市教育情報化計画策定	
27	3	●デジアナ変換サービス終了（井原放送(株)）	●会計順番表示システム更新
	5		●井原市公式 F a c e b o o k 開設
	6		●おかやま全県統合型 G I S 公開
28	3	●第4次井原市情報化計画策定 ●第4次井原市市内情報化計画策定	
	7	●幼稚園の行政ネットワーク光ケーブル敷設	
	12		●自治体情報システム強靱性向上事業によるセキュリティ強化対策実施 ●子育てワンストップサービス開始
29	2		●市ホームページリニューアル
	4	●岡山県セキュリティクラウドへ接続	
30	3		●緊急告知システム機器更新
	4		●備後圏域連携中枢都市圏認知症高齢者等徘徊 S O S ネットワーク事業の協定締結
	9		●仮想サーバ更新
	10	●市内3小学校（大江・稲倉・美星）及び2中学校（芳井・美星）に無線 L A N 環境整備	
31	3	●井原市第5次情報化計画策定	
	4		●市税のコンビニ収納開始
令和元	10	●小中学校に無線 L A N 環境を整備	
2	3	●小中学校に電子黒板機能付きテレビを整備	●証明書コンビニ交付サービス開始
	6	●井原市地域情報通信基盤設備再構築工事 第1工区	
	8	●市立高校に無線 L A N 環境整備	
	10	● G I G A スクールサポーター配置	
	12	●市立高校に1人1台タブレット整備	
3	1	●井原市教育 I C T 基盤更改(ネットワーク機器更新、グループウェア・ホームページのリニューアル)	

年	月	情報通信基盤関係	情報化サービス関係
3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小・中学校にタブレット端末整備</li> <li>●市立高校 井原市教育ネットワークへの接続開始</li> <li>●小中学校の校内通信ネットワーク整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●デジタル観光マップ『魅力がギュギュッといばらナビ』運用開始</li> </ul>
	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>●井原市公式LINEアカウント開設</li> <li>●市税、水道料金及び下水道使用料のスマートフォン決済開始</li> </ul>
	5	●井原市地域情報通信基盤設備再構築工事 第2工区	
	6		●YouTube井原市公式チャンネルの運用開始
4	2		●キャッシュレス決済取扱い窓口を拡充
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第2期 岡山県セキュリティクラウドへ接続</li> <li>●議会タブレット、ペーパーレス会議システムの導入</li> </ul>	
	5	●井原市地域情報通信基盤設備再構築工事 第3工区	

## 2. 市民が求める情報化

情報化に関する市民の現状とそのニーズを把握し、本計画（井原市第6次情報化計画）の基礎資料とするため、令和4年7月に「情報化に関するアンケート調査」をインターネットの利用に関係なく回答していただく「郵送調査」とインターネットを利用して回答していただく「インターネット調査」の2種類の方法で実施しました。

まず、郵送調査は、令和4年7月1日時点において、井原市に住所を有する満16歳以上の市民の中から1,000人を無作為に抽出し、郵送による方法で実施し、427件の市民の方から回答をいただきました。

次に、インターネット調査は、居住地を問わずインターネットを利用している人を対象に電子申請サービスを使用し、220件の方から回答をいただきました。

このアンケートの集計結果による分析は以下のとおりです。

なお、アンケートの質問内容と回答結果は、資料として巻末に添付しています。

### 1) 郵送調査におけるインターネットの利用状況

インターネットを利用している市民は、約85.2%となっており、前回調査（H30：72%）と比較して、増加しています。また、全ての年代で半数以上の方がインターネットを利用しています。本市においては、井原放送株式会社が整備したエリア（旧井原地区、芳井・美星地区の一部）で光サービスへの切替えが完了し、本市が整備したエリア（芳井・美星地区）でも光サービスの切替えを順次行っています。また、NTT西日本等の通信事業者のサービス提供エリアも拡大しています。よって、市内の多くの地域において、大容量のデータ通信が可能な環境が整っています。

	区分	回答数	利用している	利用していない
	全体	425	85.2%	14.8%
年代別	10代	19	100.0%	-
	20代	26	100.0%	-
	30代	39	92.3%	7.7%
	40代	48	100.0%	-
	50代	83	95.2%	4.8%
	60代	106	87.7%	12.3%
	70代	86	58.1%	41.9%
	80代以上	15	60.0%	40.0%

【問. インターネット（スマートフォン・携帯電話・タブレットによる利用を含む。）を利用していますか。】

また、毎日1回以上インターネットを利用する人の割合は、83.9%となっており、インターネットは身近なものになっています。

	区分	回答数	毎日 1回以上	週に 1回以上	月に 1回以上	月に 1回未満	その他
	全体	391	83.9%	4.9%	1.0%	2.8%	0.3%
年代別	10代	19	100.0%	-	-	-	-
	20代	26	100.0%	-	-	-	-
	30代	38	94.7%	-	2.6%	-	-
	40代	48	100.0%	-	-	-	-
	50代	79	94.9%	3.8%	1.3%	-	-
	60代	99	78.8%	10.1%	1.0%	5.1%	-
	70代	66	59.1%	7.6%	-	6.1%	1.5%
	80代以上	12	41.7%	8.3%	8.3%	16.7%	-

【問. どのくらいの頻度でインターネットを利用していますか。(複数回答あり)】

インターネットを利用する際の接続機器は、スマートフォンが84.6%、パソコンが57.7%、タブレット端末が23.8%、テレビが21.3%となっており、前回調査と比較するとスマートフォン、タブレット端末、テレビ、ゲーム機が増加し、パソコン、携帯電話が減少しています。スマートフォンやタブレット端末等が手軽に利用できるツールとして広まっています。

	区分	回答数	スマートフォン	パソコン	タブレット	テレビ	ゲーム機	携帯電話	ウェアラブル端末	その他
	全体	390	84.6%	57.7%	23.8%	21.3%	10.5%	6.7%	1.3%	0.5%
年代別	10代	19	89.5%	68.4%	47.4%	36.8%	31.6%	-	-	-
	20代	26	100.0%	61.5%	34.6%	23.1%	30.8%	3.8%	3.8%	-
	30代	38	94.7%	65.8%	28.9%	36.8%	23.7%	2.6%	2.6%	-
	40代	48	100.0%	62.5%	29.2%	22.9%	20.8%	2.1%	-	-
	50代	79	96.2%	62.0%	26.6%	17.7%	6.3%	2.5%	2.5%	-
	60代	99	81.8%	61.6%	19.2%	24.2%	3.0%	9.1%	2.0%	-
	70代	65	61.5%	43.1%	13.8%	10.8%	-	10.8%	-	1.5%
	80代以上	12	33.3%	16.7%	8.3%	-	-	33.3%	-	-

【問. どのような機器でインターネットに接続していますか。(複数回答あり)】

インターネットを利用していない人の利用していない理由は、利用する必要がないが69.0%、興味がないが34.5%、機器の操作が難しいが31.0%となっており、誰でも、いつでも、簡単に情報化による恩恵を受けられる環境の整備や人材育成等が必要であると考えられます。

	区分	回答数	必要がない	興味が無い	操作方法が難しい	始め方が不明	セキュリティに不安	聞ける人がいない	通信料が高い	費用が高い	その他
	全体	58	69.0%	34.5%	31.0%	22.4%	17.2%	13.8%	13.8%	10.3%	5.2%
年代別	10代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30代	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0%
	40代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50代	4	100.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	-	-	25.0%
	60代	12	50.0%	8.3%	41.7%	-	16.7%	8.3%	33.3%	41.7%	8.3%
	70代	35	71.4%	42.9%	25.7%	25.7%	20.0%	14.3%	11.4%	2.9%	2.9%
	80代以上	5	100.0%	40.0%	60.0%	60.0%	-	20.0%	-	-	-

【問. インターネットを利用していない理由を教えてください。(複数選択あり)】

2) 郵送調査における市民のニーズ

現在、多くの方がインターネットを利用しており、インターネットへの高い関心が伺えました。市内全域に整備した光ケーブル網の利活用や公衆無線LANの拡大などを図っていく必要があると考えられます。

一方で、インターネットを利用している人は、個人情報の漏えいやウイルス感染など、利用する上での不安を抱えており、こうした不安要素を軽減、解消することも重要な課題であると考えます。

	区分	回答数	情報漏えい	ウイルス感染	迷惑メール	信ぴょう性の情報	故障時対応	操作方法が難しい	不適切な情報	特にない	ネット依存	トラブル	著作権侵害	その他
	全体	390	64.4%	53.8%	33.8%	29.7%	27.7%	20.8%	9.7%	6.7%	9.5%	8.7%	4.9%	0.8%
年代別	10代	19	63.2%	68.4%	15.8%	21.1%	31.6%	10.5%	10.5%	5.3%	36.8%	31.6%	15.8%	-
	20代	26	69.2%	57.7%	38.5%	26.9%	15.4%	15.4%	11.5%	11.5%	19.2%	19.2%	7.7%	-
	30代	39	71.8%	64.1%	38.5%	53.8%	12.8%	5.1%	17.9%	2.6%	10.3%	17.9%	20.5%	-
	40代	47	83.0%	63.8%	40.4%	36.2%	21.3%	12.8%	10.6%	6.4%	8.5%	14.9%	8.5%	-
	50代	79	68.4%	55.7%	40.5%	26.6%	38.0%	30.4%	8.9%	5.1%	8.9%	6.3%	1.3%	2.5%
	60代	98	70.4%	62.2%	41.8%	30.6%	34.7%	23.5%	9.2%	4.1%	8.2%	4.1%	1.0%	1.0%
	70代	67	41.8%	31.3%	16.4%	20.9%	26.9%	25.4%	6.0%	9.0%	3.0%	-	-	-
	80代以上	11	18.2%	9.1%	9.1%	18.2%	9.1%	27.3%	-	27.3%	-	-	-	-

【問. インターネットを利用するときに不安に感じることは何ですか。(複数回答あり)】

今後、ICTを利用して実現して欲しい行政サービスとして、災害・防犯などの緊急情報の発信が50.1%、行政手続のオンライン化・電子化が39.8%、データ放送の充実が35.6%となっています。さらに、20代から50代までは、行政手続のオンライン化・電子化、ICT\*を利用した市役所窓口の利便性の向上、60代以上では、データ放送の充実、スマートフォンなどの情報通信機器の使い方講習会の実施についての希望が多くありました。

	区分	回答数	緊急情報の発信	行政手続のオンライン化・電子化	データ放送の充実	市役所窓口の利便性向上	マイナンバーを活用したサービス	情報通信機器の使い方講習会の実施	地域課題の解決	行政データの公開	その他	無回答
	全体	405	50.1%	39.8%	35.6%	24.9%	18.5%	13.6%	9.1%	8.9%	2.5%	11.9%
年代別	10代	18	38.9%	38.9%	27.8%	11.1%	16.7%	16.7%	16.7%	22.2%	-	11.1%
	20代	24	41.7%	62.5%	16.7%	41.7%	25.0%	-	8.3%	12.5%	-	8.3%
	30代	39	43.6%	69.2%	23.1%	41.0%	33.3%	7.7%	5.1%	10.3%	2.6%	5.1%
	40代	46	54.3%	54.3%	28.3%	32.6%	21.7%	4.3%	13.0%	8.7%	2.2%	8.7%
	50代	80	50.0%	45.0%	33.8%	30.0%	17.5%	10.0%	5.0%	6.3%	7.5%	7.5%
	60代	103	50.5%	29.1%	37.9%	18.4%	12.6%	15.5%	10.7%	7.8%	1.9%	14.6%
	70代	79	55.7%	25.3%	50.6%	16.5%	20.3%	25.3%	11.4%	10.1%	-	17.7%
	80代以上	13	61.5%	7.7%	38.5%	15.4%	-	23.1%	-	-	-	-

【問. 井原市において、ICTを使って実現して欲しいサービスは、どのようなものがありますか。(複数選択あり)】

### 3) 郵送調査とインターネット調査との比較

インターネット調査では、インターネットを毎日1回以上利用すると回答した人の割合が98.2%であり、郵送調査より割合が高くなっています。インターネットが普段から利活用され、生活の一部として定着していることが伺えます。

	区分	回答数	毎日 1回以上	週に 1回以上	月に 1回以上	月に 1回未満	その他
	全体	220	98.2%	1.8%	-	-	-
年代別	10代	0	-	-	-	-	-
	20代	14	100.0%	-	-	-	-
	30代	23	100.0%	-	-	-	-
	40代	47	100.0%	-	-	-	-
	50代	77	96.1%	3.9%	-	-	-
	60代	37	97.3%	2.7%	-	-	-
	70代	21	100.0%	-	-	-	-
	80代以上	1	100.0%	-	-	-	-

【問. どのくらいの頻度でインターネットを利用していますか。(複数回答あり)】

インターネットを利用する際の接続機器は、スマートフォンが93.6%、パソコンが76.8%、タブレット端末が30.9%、テレビが23.2%となっており、いずれも郵送調査より割合が高くなっています。

	区分	回答数	スマートフォン	パソコン	タブレット	テレビ	ゲーム機	携帯電話	ウェアラブル端末	その他
	全体	220	93.6%	76.8%	30.9%	23.2%	12.7%	5.5%	3.2%	0.9%
年代別	10代	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	14	100.0%	50.0%	28.6%	42.9%	14.3%	14.3%	7.1%	-
	30代	23	100.0%	60.9%	30.4%	34.8%	30.4%	-	-	-
	40代	47	97.9%	78.7%	29.8%	29.8%	19.1%	4.3%	6.4%	2.1%
	50代	77	94.8%	79.2%	29.9%	20.8%	10.4%	3.9%	2.6%	1.3%
	60代	37	83.8%	81.1%	35.1%	2.7%	-	10.8%	-	-
	70代	21	90.5%	90.5%	33.3%	28.6%	9.5%	4.8%	4.8%	-
	80代以上	1	-	100.0%	-	-	-	-	-	-

【問. どのような機器でインターネットに接続していますか。(複数回答あり)】

また、郵送調査と同様に個人情報の漏えいやウイルス感染など、利用する上での不安を抱えています。

	区分	回答数	情報漏えい	ウイルス感染	情報の信ぴょう性	迷惑メール	故障時対応	ネット依存	不適切な情報	トラブル	著作権侵害	操作方法が難しい	特になし	その他
	全体	220	75.0%	72.7%	45.5%	43.6%	20.0%	19.1%	15.9%	15.9%	13.2%	11.8%	4.5%	1.4%
年代別	10代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	14	71.4%	50.0%	42.9%	50.0%	14.3%	28.6%	14.3%	28.6%	7.1%	7.1%	7.1%	-
	30代	23	60.9%	60.9%	47.8%	26.1%	8.7%	26.1%	26.1%	8.7%	13.0%	-	13.0%	-
	40代	47	74.5%	63.8%	46.8%	34.0%	6.4%	27.7%	17.0%	21.3%	19.1%	-	2.1%	-
	50代	77	81.8%	79.2%	51.9%	57.1%	28.6%	22.1%	22.1%	20.8%	19.5%	14.3%	3.9%	1.3%
	60代	37	73.0%	81.1%	40.5%	37.8%	27.0%	-	2.7%	8.1%	-	21.6%	2.7%	5.4%
	70代	21	71.4%	81.0%	28.6%	42.9%	23.8%	4.8%	4.8%	-	4.8%	28.6%	4.8%	-
	80代以上	1	100.0%	100.0%	-	-	-	100.0%	-	-	-	-	-	-

【問. インターネットを利用するとき不安に感じることは何ですか。(複数回答あり)】

今後、ICT\*を利用して実現して欲しい行政サービスとして、郵送調査より割合が高かったものは、行政手続のオンライン化・電子化が61.5%、市役所窓口の利便性の向上が36.2%、マイナンバー\*を活用したサービスが30.0%であり、行政手続の利便性の向上を望む意見が多くありました。

	区分	回答数	行政手続の オンライン化 ・電子化	緊急情報の 発信	市役所窓口の 利便性向上	マイナンバー を活用した サービス	データ放送の 充実	地域課題の 解決	行政データの 公開	情報通信機器 の使い方 講習会の実施	その他	無回答
	全体	213	61.5%	47.9%	36.2%	30.0%	27.2%	13.6%	9.4%	4.2%	5.2%	3.3%
年代別	10代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	14	78.6%	28.6%	21.4%	42.9%	21.4%	-	14.3%	-	-	-
	30代	22	90.9%	27.3%	72.7%	27.3%	27.3%	13.6%	4.5%	4.5%	-	4.5%
	40代	46	60.9%	47.8%	32.6%	19.6%	19.6%	19.6%	15.2%	4.3%	4.3%	2.2%
	50代	77	64.9%	63.6%	26.0%	29.9%	28.6%	9.1%	5.2%	3.9%	2.6%	-
	60代	35	48.6%	40.0%	45.7%	40.0%	34.3%	20.0%	5.7%	5.7%	8.6%	5.7%
	70代	19	26.3%	36.8%	36.8%	31.6%	31.6%	15.8%	21.1%	5.3%	21.1%	10.5%
	80代以上	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【問. 井原市において、ICTを使って実現して欲しいサービスは、どのようなものがありますか。(複数選択あり)】

#### 4) 井原市における情報化の方向性

井原市の情報化推進について郵送調査では、情報弱者\*に対する不安やフォローについての意見が多く寄せられました。情報化を推進していく上で最も重視していく必要があると考えます。インターネット調査では、情報発信や伝達に関する意見が多く寄せられました。

その他にも、ペーパーレス化の推進、効率化・省力化や高齢者などにもやさしい情報化、行政手続のオンライン化、セキュリティ対策の強化を要望する意見がありました。また、市民の情報力を高めることが情報化につながる、情報化により若い世代にもアプローチが進み井原市が盛り上がっていくことを願うなどの意見も寄せられました。

### 3. 情報化の基本方針

#### 1) 基本方針のための課題整理

井原市第7次総合計画など上位計画との関連性、情報化社会の動向、井原市第5次情報化計画の進捗状況、情報化に関するアンケート調査における市民が求める情報化などを考慮・整理し、情報化の基本方針及び基本施策に反映していくことが重要です。

#### 2) 情報化の基本方針

デジタル技術は、地域の課題を解決する有効な手段となることが期待されています。地域のデジタル化を進め、安全で快適な市民生活の創造と、活力ある地域産業の育成、人と人との新たな交流により、井原市第7次総合計画に掲げる目標と基本方針を反映し、更なる発展を目指します。

本計画で進める地域の情報化は、市内一円に整備した情報通信基盤の有効活用や、災害等にも対応した情報通信基盤の強化を進め、新たなサービスの提供や既存サービスの充実を図ることで「デジタル化による利便性を実感できる情報化社会の実現」へと施策を進めます。また、デジタル化へ不安を持っている人や機器操作が難しい人に対して、講習会の実施等による情報リテラシー<sup>\*</sup>の向上や人材育成を進め「誰でも気軽にデジタル技術を利用できる機会を増やす」ことで、個々のニーズに合ったサービスをいつでも、どこでも利用できるよう施策を進めます。

市民誰もが安全・安心にデジタル化による恩恵を受けることができる環境の構築、利便性の向上などにより、地域に「笑顔があふれ」一人一人が「輝くまち」づくりや、つながりが実感できる「みんなにやさしい社会の実現」を目指します。

サービスの質を向上、発展できるものは、従来の手順に固執せず「DX（デジタル・トランスフォーメーション）」<sup>\*</sup>による効率化、最適化を図ります。また、AI<sup>\*</sup>やIoT<sup>\*</sup>を活用できる有効な施策についても積極的に導入を進め、市民サービスや行政事務を、情報化社会にふさわしいサービスにデザインします。

このことから、本市の地域情報化の基本方針を

**笑顔があふれ輝くまち**

**みんなにやさしい社会を実現するためのデジタル化**

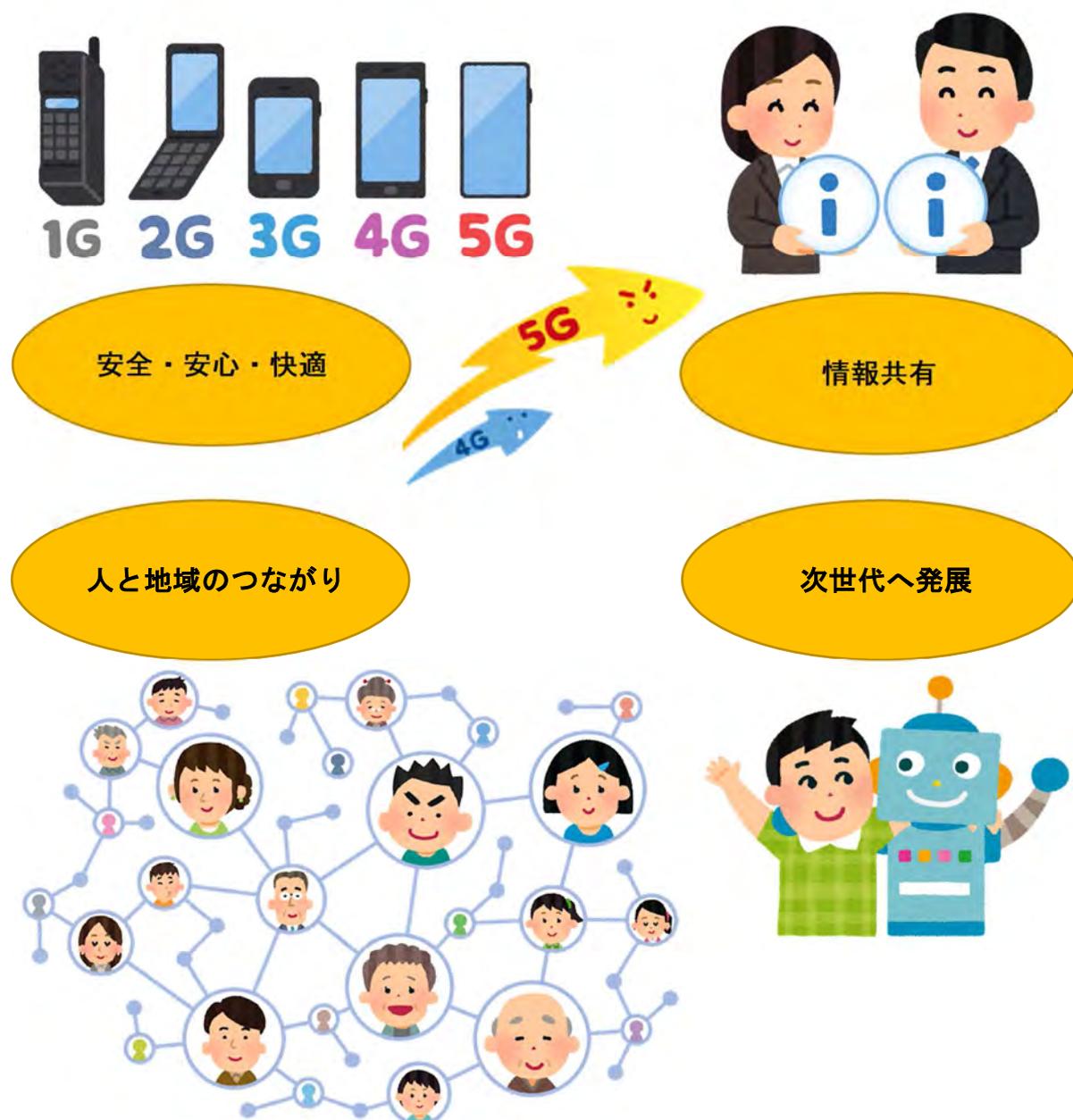
とし、「地域の情報化」を進めることとします。

年度	井原市 総合計画 (上位計画)	井原市情報化計画
H10	第5次	<div style="text-align: center; border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"><b>第1次</b></div> <p style="text-align: center;">地域を支えるサービスインフラ基盤の提供 デジタル放送、インターネットの提供</p>
H11		
H12		
H13		
H14		
H15		
H16		
H17		
H18		
H19	第6次	<div style="text-align: center; border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"><b>第2次</b></div> <p style="text-align: center;">地域生活を支える、安心・安全・便利な情報の発信 『みんなで広げるデジタルコミュニティの輪』</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"><b>第3次</b></div> <p style="text-align: center;">ものづくり・しくみづくりから 利活用へ 『人と人、人と社会、人と地域をつなぐ みんなにやさしいデジタルコミュニティ』</p>
H20		
H21		
H22		
H23		
H24		
H25		
H26		
H27		
H28	第7次	<div style="text-align: center; border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"><b>第4次</b></div> <p style="text-align: center;">利便性をより実感できる情報化社会の実現 『みんなの笑顔が広がるまち次世代につなぐデジタルコミュニティ』</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"><b>第5次</b></div> <p style="text-align: center;">ICTの利活用で住みよさを実感できる情報化社会 『安全・安心に暮らせるまち 「やさしさ」と「つながり」が実感できるデジタルコミュニティ』</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"><b>第6次</b></div> <p style="text-align: center;">デジタル化による利便性を実感できる情報化社会の実現 誰でも気軽にデジタル技術を活用できる機会の創出 『笑顔があふれ輝くまち みんなにやさしい社会を実現するためのデジタル化』</p>
H29		
H30		
R元		
R2		
R3		
R4		
R5		
R6		
R7		
R8		
R9		

### 3) 井原市の目指すべき情報化の将来像

本市では、地域情報化の基本方針である「笑顔があられ輝くまち みんなにやさしい社会を実現するためのデジタル化」による将来像を以下のとおり設定します。

- ☆情報通信基盤や情報通信技術の利活用で安全・安心・快適を実感できるまち
- ☆情報機器や情報ネットワークを誰もが利活用でき、さまざまな情報を共有することができるまち
- ☆情報化を進めながらも「人と地域のつながり」などを大切にし、地域が笑顔で活性化できるまち
- ☆デジタル技術を利活用した生活環境を次世代につなげ、発展することができるまち



## 4. 情報化推進の基本施策

本計画では、第2章の情報化社会の動向及び第3章の井原市における情報化の現状と方向性を踏まえ、以下の5項目を「地域情報化推進の基本施策」としました。

この基本施策の中に、25の具体的な施策項目を設定し、その実施においては国及び岡山県の動向や今後のデジタル技術革新、社会情勢の変化等を考慮しながら推進することとします。

### 施策1 情報通信基盤の強化・利活用

災害等に強い情報通信基盤設備が整備され、それを利活用するためのコンテンツの整備に積極的に取り組み、地域全体の情報化を図ります。

### 施策2 市民サービスの向上・拡充

市民生活に密着した幅広い分野の情報やサービスを、誰もが分かりやすく、簡単に、様々な情報媒体から取得できる仕組みづくりを実現します。また、災害時等の安全・安心に向けた情報配信を充実します。

マイナンバー\*カードを活用した具体的な施策について整備を行います。

### 施策3 地域産業分野の活性化・育成

デジタル技術の恩恵を、地域産業が受けられるように支援を行うとともに、地域産業の活性化や新たな経済・産業活動を生み出す地域の実現を目指します。

### 施策4 情報化社会に対応した人材育成

地域情報化に関する学習機会を積極的に提供し、誰もがデジタル技術を利用できる能力の育成を目指すとともに、地域の情報化を支える人材育成に取り組みます。

### 施策5 電子自治体の形成

これまでのICT\*を活用した行政情報化施策を継続するとともに、新たなデジタル技術を活用し、事務の効率化・最適化を図り、市民サービスの向上・充実に努めます。実施に当たっては、維持・管理などの費用を含めた総額の削減及びより付加価値の高いサービスを実現するという視点に立ち、各システムの構築を進めます。

## 基本施策の体系・具体的な施策項目

### 基本方針

笑顔があふれ輝くまち

みんなにやさしい社会を実現するためのデジタル化

### 基本施策

### 具体的な施策項目

施策1  
情報通信基盤の強化・利活用

- 1) 情報通信基盤設備の利活用
- 2) 次世代高速無線通信等の推進
- 3) 公共施設のWi-Fi環境整備

施策2  
市民サービスの向上・拡充

- 1) 行政情報の配信の充実
- 2) マイナンバーカードの普及・活用促進
- 3) キャッシュレス化の推進
- 4) 地図情報提供システム（統合型GIS）の充実
- 5) オープンデータ化の推進
- 6) 行政手続きのオンライン化
- 7) 保健・医療のデジタル化
- 8) 井原市ホームページの充実

施策3  
地域産業分野の活性化・育成

- 1) 産業のDX支援
- 2) デジタル技術を活用した観光支援・魅力発信
- 3) スマート農業の普及促進

施策4  
情報化社会に対応した人材育成

- 1) 小中高等学校における教育・啓発
- 2) 学校のDX支援
- 3) 市民向けの教育・講習の充実
- 4) 学校・地域産業・行政分野におけるデジタル人材の確保・育成
- 5) 個人情報保護とモラルの向上

施策5  
電子自治体の形成

- 1) 情報セキュリティの強化
- 2) 窓口業務のDX推進
- 3) 情報システムの標準化・共通化
- 4) 行政事務のDX推進
- 5) 電子機器等の効率化
- 6) AI・RPA等を活用した業務改善の推進





## 第4章 基本施策の展開

---

施策1 情報通信基盤の強化・利活用

施策2 市民サービスの向上・拡充

施策3 地域産業分野の活性化・育成

施策4 情報化社会に対応した人材育成

施策5 電子自治体の形成



## 第4章 基本施策の展開

### 施策1 情報通信基盤の強化・利活用

今後、情報化施策を推進するためには、市内に整備した情報通信基盤設備の安定した稼働を継続して確保することが必要です。

さらに、光回線化により高速・大容量の通信が可能となるため、それを利活用するためのコンテンツの研究・整備に積極的に取り組み、地域全体の情報化を図ります。

#### 1) 情報通信基盤設備の利活用

本市の情報通信基盤設備については、井原市が難視聴対策事業として平成18年度から平成21年度にかけてケーブルテレビ網（HFC）\*を整備し、テレビ及びインターネットを利用するためのインフラ整備を行いました。整備から十数年が経過し、平成21年に構築したエリアは、令和5年に耐用年数を迎えます。市内における地域間の情報格差を是正するため、FTTH方式\*による再構築を実施します。

これにより、市内全域に光ファイバ網が整備され、高速・大容量の通信が可能となるため、それを利活用するためのコンテンツの研究・整備に積極的に取り組みます。また、情報通信基盤設備の安定稼働を継続して確保します。

#### 2) 次世代高速無線通信\*等の推進

情報通信ネットワークは、高度情報化社会において安全・安心・便利な市民生活を支える最も重要な社会基盤として認識され全国的に整備されていて、技術革新により通信方法は多様化し、速度は高速化しています。

次世代高速無線通信（第5世代移動通信システム：5G）\*は、わが国でも令和2年春から商用サービスがスタートし、次世代の通信インフラとして社会に大きな技術革新をもたらすと言われていています。また、スマートフォンの普及により、災害時の安否確認はもとより、災害情報等を配信する上でも、即時性の高いツールとして活用されているため、市民がその利便性を享受できる環境を整備する必要もあります。

そのため、本市においても、高速通信への調査・研究を行うとともに、市全域をさらにきめ細かくカバーし、場所や通信設備を意識することなく、どこでもインターネット通信を行える環境を実現するため、次世代高速無線通信のエリアの拡大に向け、関係電気通信事業者に引き続き働きかけを行います。

#### 3) 公共施設のWi-Fi\*環境整備

学校や指定避難所などへのWi-Fi\*環境の整備を実施していますが、引き続き市内の公共施設への整備を実施し、市民や観光客等、利用者の利便性の向上を図ります。

## 施策2 市民サービスの向上・拡充

令和4年7月に実施した「情報化に関するアンケート調査」によると、今後ICT\*を利用して実現して欲しい行政サービスとして、災害・防犯などの緊急情報の配信、データ放送の充実、行政手続のオンライン化・電子化、市役所窓口の利便性の向上、マイナンバー\*を活用したサービスなどがあり、行政手続の利便性の向上を望む意見が多くありました。このことから、市民生活に密着した幅広い分野の情報やサービスを誰もが分かりやすく、簡単に、さまざまな情報媒体から入手できる仕組みづくりとサービスの拡充を実現します。

### 1) 行政情報の配信の充実

現在、井原放送株式会社が構築し運用を行っているデータ放送は、アンケート調査において60代以上の方から充実の希望が多くありました。家庭用テレビを活用した情報提供として、データ放送サービスの充実を図ります。

また、本市が提供・実施している緊急告知端末器『お知らせくん』やメール配信サービスによる情報配信についても、引き続き迅速かつ適正な情報の配信に努めます。

さらに、アンケート調査においてLINEやYouTubeなどのウェブサービスを利用したことがある方が半数以上となっており、これらのサービスによる情報配信についても、積極的に行います。

いずれも即時性の高い情報配信ツールとして有効であるため、行政情報やイベント情報、災害情報・災害関連情報等の配信においても効果的な運用に努めます。

### 2) マイナンバー\*カードの普及・活用促進

マイナンバー\*カードは、ICチップが付いたプラスチック製のカードで券面に氏名、住所、生年月日、性別、マイナンバー（個人番号）と本人の顔写真等が表示されたものです。本人確認の際の公的な身分証明書として利用できるほか、コンビニなどで各種証明書を取得できたり、行政手続のオンライン申請に利用できたり、健康保険証としても利用することができます。

引き続き、マイナンバー\*カードの効果的な普及促進と制度周知に努めるとともに、マイナンバー\*カードを活用したサービスの拡充を行います。

### 3) キャッシュレス化の推進

キャッシュレス化は、市民サービスや利便性の向上のほかに、非接触環境の整備による感染症拡大防止や現金の管理や処理等に係る業務の効率化につながると考えられます。

本市において、市税等の納付については、令和元年度にコンビニ収納を、令和3年度にスマートフォン決済\*を開始し、利便性が向上しました。また、令和5年度にはQRコード対応納付書により、全国金融機関窓口で納付が可能になる予定です。

今後、各種手数料・使用料等についても、窓口や公共施設において、クレジットカードや電子マネー等、現金以外でも支払ができるよう整備を進めます。

#### 4) 地図情報提供システム※（統合型GIS）の充実

平成23年10月より県内の市町村で共同利用を行っているおかやま全県統合型GISについて、令和3年10月にリニューアルを行いました。現在、各課で様々な地図情報を作成し、利用を行っています。

この統合型GISをさらに利活用し、地図の共用化によるコスト削減及び新たな地図利用業務への展開を行います。

#### 5) オープンデータ化の推進

オープンデータは、国や地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用できるよう「営利目的、非営利目的を問わず二次利用可能なルールが適用」「機械判読に適する」「無償で利用可能」の3項目全てに該当する形で公開されたデータのことです。

本市は、岡山県内自治体共同のデータポータルサイト※「data eye（データアイ）」において、各種データを公開しています。

今後、公開済みのオープンデータに関して、国の推奨データセットへの対応を実施し、岡山県内自治体と連携を図りながら、原則オープンデータ化及び多方面での活用を進めます。

#### 6) 行政手続のオンライン化

オンライン化によって、行政機関の窓口に出向くことなく自宅や職場などから時間にとらわれず、いつでも、どこでも簡単に行政手続などが行えます。

現在、提供しているサービスとして井原市電子申請サービスがありますが、アンケート調査においても便利だと感じる割合が低く、申請手続の簡略化及び事務負担の軽減には有効ですが、利用者の利便性の向上や利用拡大が課題となっています。引き続き、各種申請、イベント等の申込ツールとして活用するなど利用項目について精査し、利用者の拡大を図ります。

また、公共施設予約等も予約やキャンセルの他に、支払や払戻しを可能とし、窓口に出向くことなく完了するよう、整備を行います。

さらに、クラウド型被災者支援システムの導入により被災者支援制度10業務※のオンライン化と証明書のコンビニ交付を行えるよう、新たな手続についても検討し、整備を行います。

#### 7) 保健・医療のデジタル化

離れた場所からでもリモートでオンライン相談を行うなど、利用者に寄り添ったサービスの提供を行います。また、AI※を活用した健康診断の受診勧奨を行うなど、業務の効率化を図り、効果的な保健・医療の仕組みづくりを行います。

#### 8) 井原市ホームページの充実

引き続き、掲載情報の充実を図り、市民にとって分かりやすく、有益な行政情報の積極的な配信を行います。また、ユニバーサルデザイン化\*により、誰でもより使いやすく、手軽に利用できるホームページを構築します。



### 施策3 地域産業分野の活性化・育成

引き続き、デジタル技術の恩恵を、地域産業が受けられるように支援を行うとともに、地域産業の活性化や新たな経済・産業活動を生み出す地域の実現を目指します。

#### 1) 産業のDX※支援

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大により、インターネットショッピングが伸長しています。このような消費者行動の変化は、経済動向の変化につながります。企業も変化を求められており、デジタル化は必須であると考えられます。新たな価値の創出への活用や経済再生に向けて必要となる取組を行えるよう市内企業のデジタル化を支援します。

また、新たな販路拡大や地域経済の活性化を図るため、デジタルマーケティング※の拡大も支援します。

さらには、テレワーク※やワーケーション※など働き方改革に向けた取組についても支援します。

#### 2) デジタル技術を活用した観光支援・魅力発信

本市が持つ地域資源の魅力発信や観光交流人口の増加につなげるため、歴史・芸術・文化等のデジタルコンテンツを検討し、提供します。また、快適な観光を促進し、観光客の満足度や利便性向上を図るため、引き続き観光地等にWi-Fi※環境を整備します。

#### 3) スマート農業の普及促進

農林水産省が発表している「2020年 農林業センサス」（令和3年12月24日現在）によると、本市の総農家数は1,922戸で、5年前に比べ505戸（20.8%）減少しています。農業に従事している方の高齢化も進み、「気持ちは充実していても体が動かない」という理由で、やむなく離農するケースが非常に多くなっています。こうしたことから、機械化・省力化に向けたスマート農業モデルや安定的で高品質な生産体制づくりのためのAI※の活用やリモート操作・管理が可能となるデジタル技術の支援及び鳥獣被害防止等におけるICT※技術の導入などにより、担い手不足の解消に努めます。

## 施策4 情報化社会に対応した人材育成

地域情報化に関する学習機会を積極的に提供し、誰もがデジタル技術を活用できる能力の育成を目指すとともに、地域の情報化を支える人材育成に取り組みます。

### 1) 小中高等学校における教育・啓発

情報社会の中で本市の子供たちが安全、安心に情報に触れられるように、児童・生徒、保護者も含めてセキュリティ等に関する情報教育・啓発を引き続き実施します。

また「ICT\*を活用した授業の推進」「情報活用能力の育成の推進」「教員のICT\*活用指導力の向上」「情報モラル教育の推進」にも引き続き取り組みます。

### 2) 学校のDX\*支援

本市では、小中学校及び市立高等学校に高速通信に対応した無線LANネットワーク環境と、児童生徒1人1台のタブレット端末を整備しました。また、小中学校へ電子黒板の整備を行い、デジタル教科書及びプログラミング教材の整備も進めています。

今後、デジタル教材やプログラミング教育の充実を図るとともに、連絡用ツールの導入等により教員等の働き方改革を支援します。

### 3) 市民向けの教育・講習の充実

アンケート調査において、情報弱者\*に対する不安やフォローについての意見が多く寄せられました。また、60代以上では、スマートフォンなどの情報通信機器の使い方講習会の実施についての希望が多くありました。

このことから、アクティブライフ井原をはじめとする生涯学習施設や各地区公民館でのスマートフォン教室等の継続的な開催に取り組みます。年齢等に関係なくデジタル技術の学習機会を増やし、利活用するための能力開発を支援します。デジタルデバイス\*を解消することで誰もが情報化社会の恩恵を享受できる地域社会の実現を目指します。また、誰もが気軽に講座等に参加できる仕組みづくりも行います。

#### 4) 学校・地域産業・行政分野におけるデジタル人材の確保・育成

デジタル技術を適切に活用するため、デジタル人材の育成は不可欠となっています。

本市では、市内小中学校、市立高等学校及び大山塾に「ICT\*支援員」を派遣し、教育のICT\*化が加速する学校現場において、教職員によるICT\*機器の活用方法の習得や、業務をサポートする体制を拡充しました。引き続き、ICT\*機器を有効活用し、問題解決能力やプログラミング的思考の育成など推進します。

地域産業分野では、井原商工会議所・備中西商工会が中心的な役割を担い、地域産業への情報化に関する学習支援体制の充実を図り、市内の企業で働く人のICT\*活用能力を一層高めるための取組を推進します。また、国の地域情報化アドバイザー制度等、ICT\*人材の育成を支援する制度を必要に応じて活用します。

さらに、ICT\*人材はICT\*企業に偏在しており、自治体等がDX\*を進める上で人材不足が大きな課題となっていることから、行政分野では、国が示している「自治体DX\*推進のための外部人材スキル標準」及び「自治体DX\*推進のための外部人材スキル標準解説書」に則ったデジタル人材を民間ICT\*企業から登用し、DX\*を強かに推進します。

#### 5) 個人情報保護とモラルの向上

ICT\*の進展により、行政・企業・学校・各種団体・商店等さまざまな分野においてもデータの蓄積が進み便利になる反面、個人情報の保護（プライバシー保護）が大きな課題となります。本市では、データベースの構築や運用に当たって個人情報の適切な取扱いを確保し、保護手段・啓発等について十分な対応を各種分野とともに推進していきます。

## 施策5 電子自治体の形成

現在の自治体情報システムにおいては、公共サービスがワンストップで誰でもどこでもいつでも受けられるように、利用者の視点に立った電子行政サービスの実現と行政改革への貢献が期待されています。

また、自治体情報システムの構築に当たっては、市民にとってより便利で利用者負担の少ない行政サービスを提供するため、災害や情報セキュリティに強い行政基盤の構築を効率的な行政運営を行いつつ実現することが求められています。

これらを実現するため、全国共通の仕様による標準システムを構築し、従来の制度や業務のやり方をシステムに合わせて変革することにより業務の効率化や新たなサービスの提供を目指します。

なお、実施に当たっては、維持・管理などの費用を含めた経費の削減及びより付加価値の高いサービスを提供するという視点に立ち、各システムの構築を進めます。

### 1) 情報セキュリティの強化

地方公共団体は、法令等に基づき、住民の個人情報や企業の経営情報等の重要情報を多数保有するとともに、ほかに代替することができない行政サービスを提供しています。また、地方公共団体の業務の多くが情報システムやネットワークに依存していることから、住民生活や地域の社会経済活動を保護するため、情報セキュリティ対策を講じて、その保有する情報を守り、業務を継続することが必要となっています。このようなことから、本市の保有する情報資産の機密を保持し、完全な状態を維持することを重要な課題と認識し、情報資産の管理をより確実なものとするために個人情報保護条例や情報セキュリティポリシーを策定し、総合的かつ包括的な安全対策を実施できる体制を整えています。

今後も、その運用体制をより実効性の高いものとするため、定期的な安全対策の見直しや情報セキュリティ研修などを実施し、個人情報の保護対策に努めます。さらに、不正アクセスや標的型メール等の攻撃に対する対策についても継続して必要な措置を講じます。

### 2) 窓口業務のDX\*推進

市民の方が何かしらの行政手続を行う際、事前に手続の方法等について調べたり、何回も市役所窓口まで足を運んでいただいたりする手間を省くため、AI\*を活用したチャットボットサービス\*を導入し、問い合わせ業務の一元化を図ります。

また、マイナンバー\*カード等を利用し、事前にスマートフォン等に証明書の発行や住所異動等の手続をオンライン入力しておくことにより、窓口にて申請書類等を「書かない」で済む、手続を「待たない」で済む、ワンストップサービスを提供します。

### 3) 情報システムの標準化・共通化

国により、自治体における情報システム等の共同利用、手続の簡素化、迅速化、行政の効率化等を推進するため、住民記録、地方税など自治体の情報システム20業務の標準化・共通化に取り組むこととしており、全国規模のクラウド基盤「Gov-Cloud（ガバメント・クラウド）」にこれらを構築し、利用することとしています。

今後、国が進めるシステムの標準化を見据え、原則としてノンカスタマイズで対応し、業務の見直しによるDX<sup>\*</sup>化及びコスト削減を図ります。

### 4) 行政事務のDX<sup>\*</sup>推進

効率的・効果的な行政運営の推進に当たっては、これまでのICT<sup>\*</sup>を活用した行政情報化施策を継続するとともに、新たなデジタル技術を活用し、事務の効率化・最適化に向けた事務改善を図り、市民サービスの向上・充実に努めます。

さらに、従来からの書面・押印・対面での手続からの脱却を図り、BPR<sup>\*</sup>を徹底するための文書管理システム・電子決裁システムを導入します。また、子育て支援等対面による対応が必要な業務において、Web会議やテレワーク<sup>\*</sup>などリモートでも対応できるよう、タブレット端末やコミュニケーションツールを導入し、デジタル化・ペーパーレス化を推進します。契約事務、水道検針、議会議事録等のデジタル化も進めます。

### 5) 電子機器等の効率化

情報システムの効率化と並行して、サーバ・ネットワーク機器の仮想化<sup>\*</sup>やクラウドサービスの活用を行い、物理機器の購入台数を減らすことで投資コストの削減、ハード保守費やサポート費の削減、ラック数・電源容量等の削減について引き続き推進します。情報システムの構築及び運用に当たっては、適切な経費の精査や削減を行い、妥当性評価の方法を確立します。

また、事務用パソコン等の情報機器の更新を計画的に行います。

### 6) AI<sup>\*</sup>・RPA<sup>\*</sup>等を活用した業務改善の推進

社会情勢の変化に伴い、業務量の増加や業務内容の多様化が生じています。今後も、住民サービスの質を低下させることなく行政運営を行っていく必要があり、事務処理の自動化や自動文字起こしツールなど、AI<sup>\*</sup>等の技術を用いた事務改善に引き続き取り組みます。

書類の転記や数字の入力といった定型的な事務作業を自動化するRPA<sup>\*</sup>を活用するとともに、より市民と向き合う付加価値の高い業務に集中できる環境の構築を継続して行います。



## 第5章 計画の推進体制

---

1. 施策実施の役割
2. 施策実施の推進体制及び留意事項



## 第5章 計画の推進体制

### 1. 施策実施の役割

本市の目指す情報化社会を実現するための各施策の推進に当たっては、行政が施策として展開するだけでなく、市民・企業・団体等の関連主体が、情報通信サービスの利用者として参加するとともに、自ら地域情報化を推し進める主体として、それぞれの役割に応じた積極的な取組を進めていく必要があります。そのため、下記の実施主体や通信事業者等がともに連携・協働し、市民にとって真に有効な情報化を推進します。

#### 1) 市民の役割

市民は情報化社会の主人公として、情報を生活の中で特に意識することなく活用し、整備された情報通信基盤等を利用した交流や情報発信を行うなど、楽しみながら情報化社会の一員として社会参加していくことが期待されます。

本市では、市民が本市全体の情報化に参加し、意見等が十分施策に反映できる体制づくりに努め、連携を図っていきます。

#### 2) 企業・各種団体の役割

企業や各種団体は、行政と連携し、本計画の趣旨に沿って、情報通信基盤等の積極的な活用による魅力的な情報発信が求められています。

また、産業界における情報化を担う人づくりを進めるほか、各主体の組織運営のデジタル化を促進し、自らの情報発信に加え、他の主体との情報共有、経営の効率・高度化を推進することで、地域産業の活性化を図ることが期待されます。

#### 3) 井原商工会議所・備中西商工会の役割

井原商工会議所・備中西商工会は、会員事業所への各種支援事業を通じて地域情報化の促進役を担うだけでなく、事業所内においてICT<sup>\*</sup>を有効に活用できる人材の育成支援、専門的な技術等のサポートや異業種間における交流機会の創出など、サポート体制の整備が望まれています。

具体的には、事業者などに対するICT<sup>\*</sup>の活用による経営改善への支援強化、講習会による人材育成、電子メールやホームページによる情報発信などが挙げられます。これらの取組については、自主的な組織として、行政や関係機関と連携を保ちつつ、その役割が期待されます。

## 4) 井原放送株式会社の役割

平成10年4月に本市が出資して第3セクターとなった井原放送株式会社については、従来の放送サービスのほかに、双方向通信機能を利用したインターネット接続サービスなどへの展開により、情報通信事業者として、また、情報通信の専門的アドバイザーとして、引き続き、本市の情報化推進における役割が期待されます。

また、ブロードバンド社会の進展にあわせ、FTTH回線でのインターネットサービスの推進及び地上デジタルテレビ放送を利用したデータ放送サービス等の拡充など、地域の通信事業者として大きな期待が寄せられています。

本市としては、これまでのサービスがより一層、高品質・低価格で市民に提供されるよう企業努力を求めるほか、新たな事業展開への支援などの連携強化を図っていきます。

## 5) 教育機関の役割

教育機関の役割としては、次世代を担う児童・生徒への情報教育に当たり、単に情報機器の操作に慣れるだけでなく主体的に情報収集を行い、その情報を取捨選択できる能力をもった人づくりなど、情報化社会にふさわしい情報リテラシー<sup>\*</sup>の育成を行うことが期待されています。

また、各種の取組や事業において、教育現場から本市の施策に対する意見の提出・提案及び参加が期待されます。

## 6) 行政の役割

地域の情報化を進めるため、本計画の着実な遂行に努めます。

また、市民や企業等との協働による取組において、その主導的役割を果たすとともに、本計画の中心的な役割を担って推進します。

## 2. 施策実施の推進体制及び留意事項

### 1) 施策実施の推進体制

今後、本計画に基づく地域情報化を着実かつ強力に推進していくため、庁内の横断的な推進体制である「庁内情報化推進委員会」で、本計画の進捗状況を毎年点検し必要に応じ修正を行います。

### 2) 施策実施の留意事項

施策の推進に当たっては、次のような留意事項を念頭に置き、積極的に取り組めます。

#### ア. 市民ニーズを反映した施策の展開

地域の情報化を推進するに当たっては、利用者である市民や企業等にとって、メリットのある施策を展開することが重要です。

そのため、施策の展開に際しては、積極的に市民・企業等の参加を促進することにより、地域のニーズをくみ取り、利便性や満足度が向上する施策を展開します。

#### イ. デジタルディバイド<sup>※</sup>への配慮・ユニバーサルデザイン<sup>※</sup>化

情報化を推進するに当たり、年齢、性別、身体的条件、地理・時間的制約などに関わらず、全ての市民が情報化の恩恵を享受できるよう配慮した施策を展開します。

全ての市民が新しい情報機器を自由に使いこなせる環境(情報バリアフリー環境)を実現するため、使う人のさまざまな条件に配慮したコンテンツ作成や使いやすい情報機器の導入を進めます。特に高齢者や障害者も簡単に利用できるような配慮を行います。

#### ウ. 個人情報保護とセキュリティ対策

本市が保有する情報資産については、従来からその安全対策に努めてきましたが、今後、ICT<sup>※</sup>の高度利用による市民サービス・行政事務の情報化を進展させていくために、より一層の安全対策を実施します。

本市では、個人情報保護を確実に実行するため、技術的対策、物理的対策、人的対策など、運用体制の一層の充実を図ります。

#### エ. 情報システムの信頼性確保

情報化の進展によって、システムの高度・巨大化、ネットワークの拡大と依存度の増大が進み、事故や災害等によるシステムの故障や通信の途絶、不正なアクセスによるデータの破壊、改ざん及び流出などが生じたときは、市民生活に重大な影響を及ぼします。

これらの予期せぬ事態に備えバックアップシステムの確保や通信回線の多重化、チェック機能の強化などの対策を講じます。

また、万一障害が発生した場合には、速やかに障害を検知し、その影響が最小限となるよう迅速な復旧を可能とするための体制づくりなど、万全の措置を講じます。

#### オ. 知的所有権の保護

インターネットの急速な普及により情報交流が活発化し、多様な情報を自由に収集・加工・発信できる環境となっている一方、知的所有権保護の問題が顕在化しています。知的所有権には、著作権・特許権等があり、これらは法律によって保護されています。

本市においても、情報システムの導入が進むとともに、多くのソフトウェアやデータベースを保有していますが、これらを活用するに当たっては、著作権法等に基づいた適正な取扱いを行います。

#### カ. モラルの育成・向上

インターネット利用者が急速に増加する中で、SNS\*等によって、時間や距離にとらわれることなく気軽に交流を行うことができるようになった反面、有害情報や個人を誹謗（ひぼう）・中傷するような情報発信が問題となっています。

また、コンピュータウイルスの流布や情報通信技術を悪用して他人のコンピュータに侵入・破壊を行う者、詐欺をはじめとしたさまざまな犯罪や事件も増加しています。

これらを防止するための技術開発や社会制度の整備と連動しつつ、情報通信を介した交流におけるマナーの普及・啓発を進めます。

#### キ. 自治体DX\*の方向性

令和2年12月の「自治体DX\*推進計画」において、住民に身近な行政を担う自治体の役割は極めて大きく、その役割を果たすことが自治体DX\*の意義であるとされています。

自治体DX\*の基本的方向性として「行政サービスのデジタル化を進め、住民の利便性を向上させること」「既存業務の効率化を図り、職員を行政サービスの更なる向上に振り向けること」「データ活用により、行政の効率化・高度化を図るとともに、民間のビジネスなど新たな価値創出につなげること」などが示されており、これらの方向性に沿った取組を着実に進めます。



## 資料編

---

情報化に関するアンケート調査結果（郵送・インターネット）

井原市情報化推進懇話会設置要綱

井原市情報化推進懇話会委員名簿

庁内情報化推進委員会設置要領

計画策定の経緯



## 情報化に関するアンケート調査結果（郵送）

### ◎調査対象

令和4年7月1日時点において、井原市に住所を有する満16歳以上の市民の中から1,000人を無作為に抽出

### ◎調査時期

令和4年7月5日から令和4年7月25日まで

### ◎調査方法

アンケート依頼・回収とも郵送

### ◎回収結果

地区名	発送数(件)	回収数(件)	回収率(%)
井原	101	58	57.4%
出部	186	72	38.7%
高屋	108	34	31.5%
大江	50	16	32.0%
稲倉	34	16	47.1%
県主	23	10	43.5%
木之子	76	34	44.7%
荏原	61	23	37.7%
野上	14	5	35.7%
青野	19	6	31.6%
西江原	134	60	44.8%
芳井	91	45	49.5%
美星	103	41	39.8%
無回答		7	
合計	1,000	427	42.7%

【参考】平成30年 388 38.8%

年代	回収率(%)
10代	31.7%
20代	23.6%
30代	28.6%
40代	34.3%
50代	48.8%
60代	53.0%
70代	54.7%
80代以上	71.4%

性別	回収率(%)
男	37.8%
女	45.9%

### ◎集計に当たっての留意点

◎割合は、少数点第2位を四捨五入しています。このため、単回答（該当するものを1つだけ選ぶもの）の場合、合計値が100(%)にならない場合があります。

◎複数回答の設問では、割合の合計値が100(%)を超えます。

◎「無回答」は、回答が無かったもの及び判別ができなかったものになります。

◎本調査のアンケート本文の設問の選択肢は、簡略化表記している場合があります。

◎クロス集計は、無回答があるため、合計人数と全体人数が一致しない場合があります。

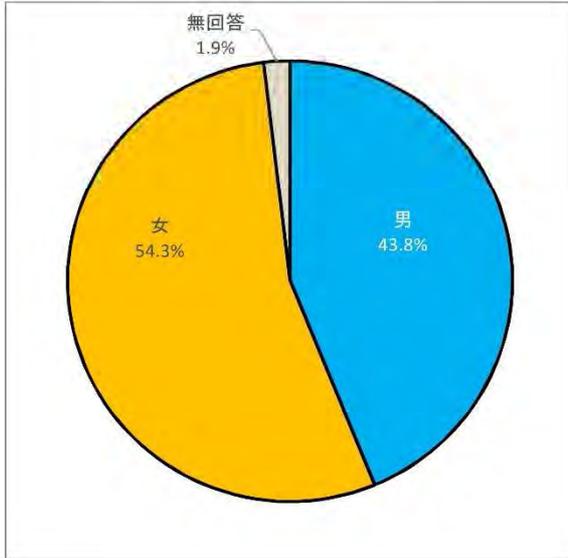
◎「今回調査」は、令和4年に実施した本調査を表します。

◎「前回調査」は、平成30年に実施した調査を表します。



## 【問1】あなたの性別についておたずねします。（任意回答）

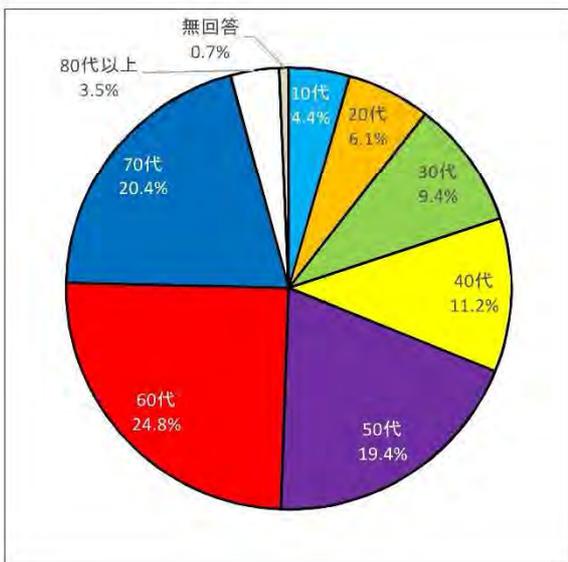
回答いただいた人の男女比率は「男性」43.8%「女性」54.3%でした。  
 【参考】井原市男女比率（令和4年6月末時点）男性48：女性52



項目	件数	割合
男	187	43.8%
女	232	54.3%
無回答	8	1.9%
回答数	427	100%

## 【問2】あなたの年齢についておたずねします。

年齢構成は「60代」が最も多く24.8%、次いで「70代」が20.4%でした。井原市の年齢階層別人口は、令和4年6月末時点で「70代」が20.7%※1と構成率が最も高くなっており、次いで「60代」が18.4%※1となっています。



項目	件数	割合	井原市人口構成割合※1
10代	19	4.4%	5.7%
20代	26	6.1%	11.0%
30代	40	9.4%	11.5%
40代	48	11.2%	15.6%
50代	83	19.4%	17.0%
60代	106	24.8%	18.4%
70代	87	20.4%	20.7%
80代以上	15	3.5%	
無回答	3	0.7%	
回答数	427	100%	100%

※1 15-79歳を全体として算出した割合。

80代以上は80歳のみのため割合からは除外（令和4年6月末時点）

## 【問3】あなたのお住まいはどちらですか。

アンケートに協力いただいた方の地区別の構成割合は、井原市の地区別人口の構成割合とほぼ同率となり、市内一円の方からの回答がありました。



項目	件数	割合	井原市人口構成割合
井原	58	13.6%	11.3%
出部	72	16.9%	19.3%
高屋	34	8.0%	9.5%
大江	16	3.7%	4.8%
稲倉	16	3.7%	4.1%
県主	10	2.3%	3.2%
木之子	34	8.0%	7.2%
荏原	23	5.4%	5.9%
野上	5	1.2%	1.0%
青野	6	1.4%	1.9%
西江原	60	14.1%	11.8%
芳井	45	10.5%	10.6%
美星	41	9.6%	9.5%
無回答	7	1.6%	
回答数	427	100%	100%

## 【問4】インターネット（スマートフォン・携帯電話・タブレットによる利用を含む。）を利用していますか。

インターネット利用率は「利用している」が85.2%「利用していない」が14.8%となっています。「利用している」人の割合は、前回調査と比較して増加しています。

年齢層別の「利用している人」の割合は、「10代」「20代」「40代」が100.0%「30代」が92.3%「50代」が95.2%「60代」が87.7%「70代」が58.1%「80代以上」が60.0%となっており、年齢が高い人が利用していない傾向にあります。また、全ての年代で半数以上の人インターネットを利用しています。

## 今回調査

	区分	回答数	利用している	利用していない
	全体	425	85.2%	14.8%
性別	男	185	85.4%	14.6%
	女	232	84.5%	15.5%
年代別	10代	19	100.0%	-
	20代	26	100.0%	-
	30代	39	92.3%	7.7%
	40代	48	100.0%	-
	50代	83	95.2%	4.8%
	60代	106	87.7%	12.3%
	70代	86	58.1%	41.9%
	80代以上	15	60.0%	40.0%

## 【参考】前回調査

	区分	回答数	利用している	利用していない
	全体	388	72.4%	27.1%
性別	男	176	72.2%	27.8%
	女	210	73.3%	25.7%
年代別	10代	12	100.0%	-
	20代	21	100.0%	-
	30代	39	94.9%	5.1%
	40代	51	100.0%	-
	50代	62	91.9%	8.1%
	60代	94	58.5%	41.5%
	70代以上	104	45.2%	53.8%

## 【問5】インターネットをどこで利用していますか。（複数回答あり）

インターネットの利用場所は、「自宅」が92.1%「職場」が47.8%「屋外」が42.2%「店舗」が30.7%「公共施設」が20.7%となっており、前回調査と比較して、公共施設や学校での利用が増加しています。

## 今回調査

	区分	回答数	自宅	職場	屋外	店舗	公共施設	学校	その他
	全体	391	92.1%	47.8%	42.2%	30.7%	20.7%	5.4%	0.8%
性別	男	168	92.3%	53.6%	46.4%	28.0%	19.0%	5.4%	1.2%
	女	214	92.1%	43.5%	39.7%	32.7%	21.5%	5.1%	0.5%
年代別	10代	19	100.0%	15.8%	52.6%	52.6%	52.6%	73.7%	-
	20代	26	100.0%	69.2%	69.2%	50.0%	30.8%	19.2%	-
	30代	38	97.4%	76.3%	55.3%	44.7%	28.9%	-	2.6%
	40代	48	100.0%	64.6%	60.4%	41.7%	35.4%	-	-
	50代	79	97.5%	74.7%	41.8%	40.5%	25.3%	1.3%	-
	60代	99	94.9%	39.4%	38.4%	21.2%	11.1%	1.0%	1.0%
	70代	66	71.2%	9.1%	19.7%	7.6%	6.1%	-	1.5%
	80代以上	12	75.0%	16.7%	25.0%	16.7%	-	-	-

(その他)

- ・ 車内
- ・ 移動中

## 【参考】前回調査

	区分	回答数	家	職場	屋外	公共施設	学校
	全体	281	97.2%	48.8%	40.2%	16.0%	3.6%
性別	男	127	97.6%	52.8%	37.8%	11.0%	1.6%
	女	154	96.8%	45.5%	42.2%	20.1%	5.2%
年代別	10代	12	100.0%	8.3%	50.0%	25.0%	50.0%
	20代	21	100.0%	57.1%	81.0%	38.1%	14.3%
	30代	37	100.0%	64.9%	48.6%	16.2%	2.7%
	40代	51	98.0%	68.6%	54.9%	15.7%	-
	50代	57	96.5%	68.4%	38.6%	12.3%	-
	60代	55	90.9%	36.4%	29.1%	18.2%	-
	70代以上	47	100.0%	10.6%	12.8%	6.4%	-



## 【問6】どのような機器でインターネットに接続していますか。（複数回答あり）

インターネット接続機器は「スマートフォン」が84.6%「パソコン」が57.7%「タブレット端末」が23.8%「テレビ」が21.3%となっています。前回調査と比較すると「スマートフォン」「タブレット端末」「テレビ」「ゲーム機」が増加し「パソコン」「携帯電話」が減少しています。

## 今回調査

	区分	回答数	スマートフォン	パソコン	タブレット	テレビ	ゲーム機	携帯電話	ウェアラブル端末	その他
	全体	390	84.6%	57.7%	23.8%	21.3%	10.5%	6.7%	1.3%	0.5%
性別	男	168	83.9%	67.9%	26.8%	21.4%	12.5%	7.7%	1.8%	-
	女	213	85.4%	50.2%	22.1%	21.6%	9.4%	5.6%	1.4%	0.5%
年代別	10代	19	89.5%	68.4%	47.4%	36.8%	31.6%	-	-	-
	20代	26	100.0%	61.5%	34.6%	23.1%	30.8%	3.8%	3.8%	-
	30代	38	94.7%	65.8%	28.9%	36.8%	23.7%	2.6%	2.6%	-
	40代	48	100.0%	62.5%	29.2%	22.9%	20.8%	2.1%	-	-
	50代	79	96.2%	62.0%	26.6%	17.7%	6.3%	2.5%	2.5%	-
	60代	99	81.8%	61.6%	19.2%	24.2%	3.0%	9.1%	2.0%	-
	70代	65	61.5%	43.1%	13.8%	10.8%	-	10.8%	-	1.5%
80代以上	12	33.3%	16.7%	8.3%	-	-	33.3%	-	-	

## 【参考】前回調査

	区分	回答数	パソコン	スマートフォン	携帯電話	タブレット	テレビ	ゲーム機	その他
	全体	281	68.0%	61.2%	26.3%	20.6%	10.7%	7.1%	0.4%
性別	男	127	72.4%	59.8%	27.6%	19.7%	11.8%	8.7%	-
	女	154	64.3%	62.3%	25.3%	21.4%	9.7%	5.8%	0.6%
年代別	10代	12	75.0%	91.7%	-	25.0%	25.0%	50.0%	-
	20代	21	76.2%	85.7%	14.3%	19.0%	23.8%	9.5%	-
	30代	37	64.9%	91.9%	21.6%	16.2%	18.9%	16.2%	-
	40代	51	62.7%	68.6%	35.3%	23.5%	7.8%	7.8%	-
	50代	57	71.9%	66.7%	22.8%	22.8%	3.5%	1.8%	-
	60代	55	74.5%	49.1%	20.0%	23.6%	9.1%	1.8%	-
	70代以上	47	59.6%	17.0%	44.7%	14.9%	8.5%	-	2.1%

## 【問7】どのくらいの頻度でインターネットを利用していますか。（複数回答あり）

インターネットを「毎日1回以上」利用している人が83.9%となっています。年齢が高くなるにつれて利用頻度が低くなっています。

	区分	回答数	毎日1回以上	週に1回以上	月に1回以上	月に1回未満	その他
	全体	391	83.9%	4.9%	1.0%	2.8%	0.3%
性別	男	168	83.3%	6.0%	1.2%	3.0%	-
	女	214	84.6%	4.2%	0.9%	2.3%	0.5%
年代別	10代	19	100.0%	-	-	-	-
	20代	26	100.0%	-	-	-	-
	30代	38	94.7%	-	2.6%	-	-
	40代	48	100.0%	-	-	-	-
	50代	79	94.9%	3.8%	1.3%	-	-
	60代	99	78.8%	10.1%	1.0%	5.1%	-
	70代	66	59.1%	7.6%	-	6.1%	1.5%
80代以上	12	41.7%	8.3%	8.3%	16.7%	-	

## 【問8】インターネットをどのような目的で利用していますか。(複数回答あり)

インターネットの利用目的は「調査・情報収集」が71.3%「ニュースサイト・公式ホームページなどの閲覧」が70.0%「メール」が66.7%「SNS」が65.4%「ネットショッピング」が49.2%の順となっています。

## 今回調査

	区分	回答数	調査・情報収集	HP閲覧等	メール	SNS	ショッピング	動画・音楽	ゲーム	ネットバンキング	その他
	全体	390	71.3%	70.0%	66.7%	65.4%	49.2%	45.6%	31.3%	12.6%	1.5%
性別	男	168	71.4%	70.2%	63.1%	61.9%	49.4%	45.8%	29.2%	17.9%	2.4%
	女	213	71.4%	70.9%	69.5%	68.5%	49.3%	45.5%	34.3%	8.9%	0.9%
年代別	10代	19	68.4%	68.4%	52.6%	84.2%	68.4%	84.2%	78.9%	5.3%	-
	20代	26	92.3%	88.5%	69.2%	100.0%	76.9%	80.8%	61.5%	11.5%	-
	30代	38	89.5%	92.1%	68.4%	86.8%	89.5%	78.9%	60.5%	21.1%	-
	40代	48	77.1%	87.5%	81.3%	81.3%	72.9%	64.6%	52.1%	18.8%	-
	50代	79	84.8%	75.9%	75.9%	67.1%	44.3%	44.3%	22.8%	15.2%	2.5%
	60代	99	71.7%	68.7%	66.7%	59.6%	36.4%	37.4%	15.2%	12.1%	3.0%
	70代	66	42.4%	45.5%	53.0%	40.9%	28.8%	7.6%	12.1%	6.1%	-
	80代以上	11	27.3%	18.2%	54.5%	9.1%	-	27.3%	18.2%	-	9.1%

	区分	回答数	地図情報	災害情報	交通情報	オンライン予約	音声通話	行政申込	オンライン会議	オークション	オンライン授業	株取引
	全体	390	54.1%	36.9%	30.5%	29.0%	26.4%	18.7%	15.9%	11.5%	11.5%	4.9%
性別	男	168	56.5%	34.5%	31.5%	28.6%	23.8%	16.7%	18.5%	16.7%	10.1%	6.5%
	女	213	52.6%	39.4%	29.1%	29.1%	28.2%	20.2%	14.1%	7.5%	12.7%	3.8%
年代別	10代	19	42.1%	21.1%	57.9%	26.3%	52.6%	10.5%	10.5%	10.5%	73.7%	-
	20代	26	73.1%	38.5%	46.2%	42.3%	57.7%	19.2%	26.9%	7.7%	30.8%	-
	30代	38	71.1%	52.6%	36.8%	50.0%	50.0%	26.3%	15.8%	15.8%	7.9%	7.9%
	40代	48	64.6%	43.8%	35.4%	35.4%	27.1%	31.3%	27.1%	22.9%	16.7%	10.4%
	50代	79	55.7%	35.4%	35.4%	34.2%	20.3%	19.0%	25.3%	11.4%	7.6%	2.5%
	60代	99	57.6%	42.4%	25.3%	23.2%	21.2%	20.2%	12.1%	9.1%	5.1%	5.1%
	70代	66	36.4%	25.8%	18.2%	16.7%	12.1%	9.1%	3.0%	9.1%	1.5%	6.1%
	80代以上	11	9.1%	18.2%	-	-	9.1%	-	-	-	-	-

(その他) 送り状発送、タイマー・目覚まし、ブログ、料理のレシピ

## 【参考】前回調査

	区分	回答数	調査・情報収集	メール	HP閲覧	動画・音楽	買い物・オークション	SNS	ゲーム	ネットバンキング	その他
	全体	281	81.5%	65.8%	54.1%	51.2%	49.5%	39.5%	26.7%	11.7%	3.9%
性別	男	127	84.3%	63.8%	53.5%	51.2%	50.4%	34.6%	28.3%	16.5%	3.9%
	女	154	79.2%	67.5%	54.5%	51.3%	48.7%	43.5%	25.3%	7.8%	3.9%
年代別	10代	12	75.0%	50.0%	83.3%	66.7%	33.3%	66.7%	66.7%	-	-
	20代	21	81.0%	66.7%	61.9%	85.7%	57.1%	76.2%	38.1%	4.8%	-
	30代	37	86.5%	73.0%	81.1%	78.4%	78.4%	75.7%	43.2%	21.6%	2.7%
	40代	51	82.4%	80.4%	51.0%	60.8%	60.8%	47.1%	37.3%	13.7%	-
	50代	57	84.2%	68.4%	47.4%	40.4%	56.1%	36.8%	24.6%	12.3%	3.5%
	60代	55	89.1%	63.6%	47.3%	41.8%	36.4%	12.7%	12.7%	10.9%	7.3%
	70代以上	47	66.0%	46.8%	40.4%	23.4%	23.4%	14.9%	4.3%	8.5%	8.5%

(その他) カーナビ、株式の売買、ライン、競馬、投資、天気予報ほか

## 【問9】ウェブサービスを利用したことがありますか。（複数回答あり）

ウェブサービスの利用は「LINE」が84.8%「YouTube」が68.1%となっており、半数以上の人を利用したことがあるとしています。10代・20代の「LINE」及び20代の「YouTube」の利用率は100%となっています。年齢が高くなるにつれて各サービスの利用率は、低くなっています。

	区分	回答数	LINE	YouTube	Instagram	Twitter	Facebook	TikTok	どれも使用無	その他
	全体	389	84.8%	68.1%	34.7%	23.1%	20.8%	12.9%	6.4%	0.3%
性別	男	167	82.6%	71.3%	29.9%	25.1%	26.9%	14.4%	9.0%	0.6%
	女	213	87.3%	66.2%	39.0%	21.1%	16.4%	12.2%	3.8%	-
年代別	10代	19	100.0%	89.5%	78.9%	52.6%	10.5%	47.4%	-	-
	20代	26	100.0%	100.0%	73.1%	73.1%	26.9%	23.1%	-	-
	30代	38	94.7%	97.4%	65.8%	55.3%	42.1%	23.7%	-	-
	40代	48	97.9%	83.3%	50.0%	20.8%	22.9%	14.6%	2.1%	-
	50代	79	94.9%	75.9%	40.5%	19.0%	25.3%	10.1%	2.5%	-
	60代	97	82.5%	60.8%	13.4%	8.2%	16.5%	8.2%	9.3%	-
	70代	67	61.2%	32.8%	9.0%	9.0%	11.9%	4.5%	14.9%	1.5%
80代以上	11	36.4%	36.4%	9.1%	9.1%	9.1%	-	27.3%	-	

(その他)

Microsoft Teams、FaceTime



## 【問10】インターネットを利用するときに不安に感じることは何ですか。（複数回答あり）

インターネットを利用するときに不安に感じることは「個人情報の漏えい」が64.4%、「ウイルス感染」が53.8%、「迷惑メール」が33.8%、「情報の信ぴょう性」が29.7%、「故障時対応」が27.7%、「操作方法が難しい」が20.8%、「不適切な情報」が9.7%、「特にない」が6.7%、「その他」が0.8%となっています。この2項目は、各年代で不安が高いことが分かります。また、高齢者層では「操作方法が難しい」と不安を感じているようです。

## 今回調査

	区分	回答数	情報漏えい	ウイルス感染	迷惑メール	情報の信ぴょう性	故障時対応	操作方法が難しい	不適切な情報	特にない	その他
	全体	390	64.4%	53.8%	33.8%	29.7%	27.7%	20.8%	9.7%	6.7%	0.8%
性別	男	168	57.7%	56.0%	33.9%	28.6%	20.2%	14.3%	7.7%	8.3%	1.2%
	女	213	69.5%	53.1%	34.3%	31.0%	34.3%	25.8%	11.3%	5.6%	-
年代別	10代	19	63.2%	68.4%	15.8%	21.1%	31.6%	10.5%	10.5%	5.3%	-
	20代	26	69.2%	57.7%	38.5%	26.9%	15.4%	15.4%	11.5%	11.5%	-
	30代	39	71.8%	64.1%	38.5%	53.8%	12.8%	5.1%	17.9%	2.6%	-
	40代	47	83.0%	63.8%	40.4%	36.2%	21.3%	12.8%	10.6%	6.4%	-
	50代	79	68.4%	55.7%	40.5%	26.6%	38.0%	30.4%	8.9%	5.1%	2.5%
	60代	98	70.4%	62.2%	41.8%	30.6%	34.7%	23.5%	9.2%	4.1%	1.0%
	70代	67	41.8%	31.3%	16.4%	20.9%	26.9%	25.4%	6.0%	9.0%	-
	80代以上	11	18.2%	9.1%	9.1%	18.2%	9.1%	27.3%	-	27.3%	-

	区分	回答数	ネット依存	トラブル	著作権侵害
	全体	390	9.5%	8.7%	4.9%
性別	男	168	7.7%	8.3%	7.7%
	女	213	11.3%	9.4%	2.3%
年代別	10代	19	36.8%	31.6%	15.8%
	20代	26	19.2%	19.2%	7.7%
	30代	39	10.3%	17.9%	20.5%
	40代	47	8.5%	14.9%	8.5%
	50代	79	8.9%	6.3%	1.3%
	60代	98	8.2%	4.1%	1.0%
	70代	67	3.0%	-	-
	80代以上	11	-	-	-

## (その他)

- ・ 意図しない料金の発生、知らないうちに契約したりというのが怖い
- ・ 通信料の増加
- ・ 質の悪い利用者の増加によって正確な情報が無い

## 【参考】前回調査

	区分	回答数	情報漏えい	ウイルス感染	迷惑メール	情報の信ぴょう性	故障時対応	操作方法が難しい	不適切な情報	特にない	その他
	全体	281	64.1%	61.2%	30.2%	28.1%	26.3%	19.2%	14.2%	9.3%	1.1%
性別	男	127	56.7%	60.6%	27.6%	19.7%	24.4%	15.0%	10.2%	11.8%	0.8%
	女	154	70.1%	61.7%	32.5%	35.1%	27.9%	22.7%	17.5%	7.1%	1.3%
年代別	10代	12	50.0%	33.3%	33.3%	25.0%	33.3%	8.3%	-	33.3%	-
	20代	21	66.7%	57.1%	38.1%	9.5%	33.3%	-	9.5%	9.5%	-
	30代	37	78.4%	70.3%	37.8%	13.5%	32.4%	8.1%	29.7%	8.1%	2.7%
	40代	51	64.7%	66.7%	23.5%	35.3%	31.4%	21.6%	7.8%	7.8%	2.0%
	50代	57	71.9%	73.7%	35.1%	42.1%	22.8%	21.1%	14.0%	7.0%	-
	60代	55	67.3%	60.0%	25.5%	29.1%	21.8%	25.5%	10.9%	5.5%	-
	70代以上	47	40.4%	42.6%	25.5%	23.4%	19.1%	27.7%	17.0%	12.8%	2.1%

## (その他)

- ・ つながり具合
- ・ 不必要なメールがくること

## 【問11】インターネットを利用していない理由を教えてください。（複数選択あり）

※【問4】で「利用していない」と答えた人

インターネットを利用していない理由は「利用する必要がない」が69.0%「興味がない」が34.5%「機器の操作方法が難しい」が31.0%の順になっています。

## 今回調査

	区分	回答数	必要がない	興味がない	操作方法が難しい	始め方が不明	セキュリティに不安	聞ける人がいない	通信料金が安い	費用が高い	その他
	全体	58	69.0%	34.5%	31.0%	22.4%	17.2%	13.8%	13.8%	10.3%	5.2%
性別	男	25	68.0%	20.0%	36.0%	20.0%	12.0%	12.0%	16.0%	16.0%	4.0%
	女	33	69.7%	45.5%	27.3%	24.2%	21.2%	15.2%	12.1%	6.1%	6.1%
年代別	10代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30代	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0%
	40代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50代	4	100.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	-	-	25.0%
	60代	12	50.0%	8.3%	41.7%	-	16.7%	8.3%	33.3%	41.7%	8.3%
	70代	35	71.4%	42.9%	25.7%	25.7%	20.0%	14.3%	11.4%	2.9%	2.9%
80代以上	5	100.0%	40.0%	60.0%	60.0%	-	20.0%	-	-	-	

(その他)

- ・ パソコンを持っていない

## 【参考】前回調査

	区分	回答数	必要性がない	始め方が不明	操作方法が難しい	セキュリティに不安	機器が高い	聞ける人がいない	通信料金が安い	その他
	全体	105	59.0%	38.1%	37.1%	23.8%	18.1%	16.2%	14.3%	7.6%
性別	男	49	55.1%	34.7%	34.7%	30.6%	30.6%	16.3%	20.4%	6.1%
	女	54	63.0%	42.6%	40.7%	18.5%	14.8%	20.4%	9.3%	9.3%
年代別	10代	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	30代	2	100.0%	-	-	50.0%	-	50.0%	-	-
	40代	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	50代	5	40.0%	60.0%	60.0%	40.0%	40.0%	20.0%	20.0%	-
	60代	39	51.3%	35.9%	41.0%	33.3%	23.1%	17.9%	15.4%	5.1%
	70代以上	56	62.5%	35.7%	39.3%	14.3%	19.6%	17.9%	12.5%	10.7%

(その他)

- ・ 家族全員（6人）が使用しているため
- ・ 家族に調べてもらう
- ・ 高齢のため新しいことに挑戦する気になりません。
- ・ 近年必要がなく、契約を解除した。
- ・ 通信料金も必要だから
- ・ 目が悪いので
- ・ ウイルス対策のソフトがない

## 【問12】インターネットが利用できず困ったことがありますか。

※【問4】で「利用していない」と答えた人

10.3%の人がインターネットが利用できずに「困ったことがある」と回答しています。

	区分	回答数	困ったことがある	困ったことはない
	全体	58	10.3%	84.5%
性別	男	25	12.0%	88.0%
	女	33	9.1%	81.8%
年代別	10代	0	-	-
	20代	0	-	-
	30代	2	-	100.0%
	40代	0	-	-
	50代	4	-	100.0%
	60代	12	16.7%	83.3%
	70代	34	8.8%	82.4%
80代以上	5	20.0%	80.0%	

## 【問13】どういったことでお困りになりましたか。（自由記述）

※【問12】で「困ったことがある」と答えた人

◎この度のプレミアム商品券についても、ネット購入が主としており、でもはがき購入もあってよかった。パソコンもなかなか今から覚えられなくて、目もうすくなり疲れます。

◎小学校の資源回収の日程が分からず、出す準備が間に合わなかった。

## 【問14】今後機会があればインターネットを利用したいですか。

※【問4】で「利用していない」と答えた人

現在インターネットを利用していない人も、28.3%の人が今後機会があれば「利用したい」と回答しています。

## 今回調査

	区分	回答数	利用したい	利用したくない	無回答
	全体	60	28.3%	70.0%	1.7%
性別	男	27	37.0%	63.0%	-
	女	33	21.2%	75.8%	3.0%
年代別	10代	0	-	-	-
	20代	0	-	-	-
	30代	3	66.7%	33.3%	-
	40代	0	-	-	-
	50代	4	25.0%	75.0%	-
	60代	11	54.5%	45.5%	-
	70代	36	16.7%	80.6%	2.8%
80代以上	5	40.0%	60.0%	-	

## 【参考】前回調査

	区分	回答数	利用したい	利用したくない	無回答
	全体	105	29.5%	68.6%	2.9%
性別	男	49	32.7%	65.3%	2.0%
	女	54	25.9%	72.2%	1.9%
年代別	10代	0	-	-	-
	20代	0	-	-	-
	30代	2	-	100.0%	-
	40代	0	-	-	-
	50代	5	60.0%	20.0%	20.0%
	60代	39	30.8%	69.2%	-
	70代以上	56	26.8%	69.6%	3.6%

## 【問15】井原市の行政や地域の情報をどのような方法で入手していますか。（複数選択あり）

地域の情報の入手方法は「広報紙」が69.2%、「緊急告知端末器『お知らせくん』」が58.5%、「回覧板」が56.8%、「人との会話」が51.6%の順となっています。  
10代から30代までは「人との会話」が、40代から70代までは「広報誌」が多いことが分かります。

## 今回調査

	区分	回答数	広報誌	緊急告知 端末器	回覧板	人との 会話	テレビ	井原市 HP	新聞	SNS	職場等か らのお知らせ	ラジオ	雑誌・ 書籍	その他
	全体	426	69.2%	58.5%	56.8%	51.6%	49.5%	33.6%	32.2%	17.8%	13.8%	4.7%	2.1%	2.6%
性別	男	186	66.1%	55.9%	58.1%	43.5%	45.7%	33.3%	26.9%	16.1%	8.6%	5.4%	2.2%	-
	女	231	73.2%	61.0%	57.1%	58.9%	53.7%	34.2%	37.2%	19.9%	18.6%	4.3%	2.2%	2.2%
年代別	10代	19	21.1%	21.1%	21.1%	52.6%	36.8%	21.1%	15.8%	21.1%	36.8%	-	-	-
	20代	26	30.8%	34.6%	19.2%	57.7%	34.6%	23.1%	3.8%	23.1%	11.5%	-	-	7.7%
	30代	40	52.5%	45.0%	40.0%	57.5%	27.5%	50.0%	15.0%	22.5%	25.0%	5.0%	-	5.0%
	40代	48	79.2%	47.9%	47.9%	-	37.5%	33.3%	22.9%	27.1%	-	2.1%	-	2.1%
	50代	83	71.1%	63.9%	57.8%	36.1%	43.4%	33.7%	27.7%	20.5%	8.4%	4.8%	1.2%	4.8%
	60代	106	78.3%	68.9%	66.0%	58.5%	55.7%	39.6%	37.7%	17.0%	5.7%	4.7%	1.9%	1.9%
	70代	86	82.6%	69.8%	73.3%	58.1%	68.6%	31.4%	51.2%	10.5%	5.8%	9.3%	5.8%	-
	80代以上	14	71.4%	57.1%	85.7%	35.7%	78.6%	-	64.3%	-	-	-	-	7.1%

(その他)

- ・ メール

## 【参考】前回調査

	区分	回答数	広報誌	緊急告知 端末器	テレビ	回覧板	人との 会話	新聞	井原市 HP	インター ネット	有線放 送	SNS	ラジオ	雑誌・ 書籍	その他
	全体	388	77.3%	61.9%	57.0%	55.9%	42.5%	34.5%	19.8%	14.9%	9.0%	7.0%	2.1%	1.5%	-
性別	男	176	73.3%	59.7%	61.4%	55.7%	43.8%	40.9%	17.6%	14.8%	8.0%	8.5%	3.4%	1.7%	-
	女	210	80.5%	63.8%	52.9%	55.7%	41.4%	29.0%	21.9%	15.2%	10.0%	5.7%	1.0%	1.4%	-
年代別	10代	12	25.0%	41.7%	58.3%	16.7%	16.7%	8.3%	-	16.7%	-	16.7%	-	-	-
	20代	21	42.9%	52.4%	47.6%	23.8%	47.6%	14.3%	9.5%	23.8%	9.5%	19.0%	4.8%	-	-
	30代	39	71.8%	41.0%	51.3%	46.2%	51.3%	2.6%	30.8%	20.5%	-	10.3%	-	-	-
	40代	51	70.6%	54.9%	41.2%	47.1%	33.3%	33.3%	15.7%	23.5%	9.8%	13.7%	-	-	-
	50代	62	85.5%	56.5%	51.6%	59.7%	38.7%	22.6%	29.0%	22.6%	9.7%	8.1%	-	1.6%	-
	60代	94	85.1%	66.0%	59.6%	68.1%	45.7%	38.3%	21.3%	9.6%	6.4%	3.2%	2.1%	2.1%	-
	70代以上	104	82.7%	76.0%	68.3%	59.6%	46.2%	57.7%	15.4%	6.7%	15.4%	1.0%	4.8%	2.9%	-

## 【問16】災害に関する情報をどのような方法で入手していますか。（複数選択あり）

災害に関する情報の入手方法は「テレビ」が75.2%「緊急告知端末器『お知らせくん』」が63.2%「スマートフォン・携帯電話」が61.8%の順となっています。地域情報の入手方法と比較すると即時性の高い手法が求められています。

高齢者層では「テレビ」や「緊急告知端末器『お知らせくん』」の割合が高く、若年層では「スマートフォン・携帯電話」の割合が高いことがわかります。前回調査と比べて全ての項目で割合が高くなっていることから、災害情報への関心が高まっているといえます。

## 今回調査

	区分	回答数	テレビ	緊急告知 端末器	スマート フォン・ 携帯電話	人との 会話	メール配 信システ ム	インター ネット	新聞	SNS	ラジオ	その他
	全体	427	75.2%	63.2%	61.8%	42.9%	41.7%	33.0%	30.7%	19.9%	10.3%	0.9%
性別	男	187	74.3%	61.5%	59.9%	34.8%	41.2%	35.3%	27.3%	16.6%	11.8%	1.1%
	女	231	76.2%	65.8%	64.1%	50.6%	42.0%	30.7%	34.2%	22.9%	9.5%	0.4%
年代別	10代	19	36.8%	31.6%	68.4%	47.4%	36.8%	52.6%	21.1%	36.8%	-	-
	20代	26	57.7%	34.6%	76.9%	38.5%	23.1%	38.5%	7.7%	46.2%	3.8%	3.8%
	30代	40	70.0%	45.0%	72.5%	40.0%	52.5%	52.5%	15.0%	42.5%	7.5%	2.5%
	40代	48	72.9%	47.9%	72.9%	50.0%	66.7%	41.7%	20.8%	25.0%	6.3%	-
	50代	83	75.9%	66.3%	68.7%	33.7%	49.4%	32.5%	26.5%	13.3%	9.6%	2.4%
	60代	106	80.2%	70.8%	60.4%	41.5%	42.5%	30.2%	39.6%	15.1%	15.1%	-
	70代	87	86.2%	81.6%	48.3%	51.7%	27.6%	20.7%	42.5%	10.3%	14.9%	-
	80代以上	14	78.6%	85.7%	28.6%	50.0%	7.1%	21.4%	57.1%	7.1%	-	-

## 【参考】前回調査

	区分	回答数	テレビ	緊急告知 端末器	スマート フォン・ 携帯電話	人との 会話	メール配 信システ ム	インター ネット	新聞	SNS	ラジオ	その他
	全体	388	70.4%	59.5%	40.2%	32.5%	26.3%	21.9%	16.0%	7.0%	6.7%	0.3%
性別	男	176	71.6%	58.0%	40.9%	30.1%	30.7%	22.7%	17.0%	9.7%	7.4%	-
	女	210	69.5%	61.0%	40.0%	34.8%	22.4%	21.4%	15.2%	4.8%	6.2%	0.5%
年代別	10代	12	58.3%	25.0%	91.7%	16.7%	-	16.7%	33.3%	8.3%	25.0%	-
	20代	21	52.4%	38.1%	66.7%	28.6%	4.8%	14.3%	14.3%	-	38.1%	-
	30代	39	64.1%	41.0%	43.6%	46.2%	5.1%	25.6%	33.3%	-	7.7%	-
	40代	51	49.0%	52.9%	64.7%	60.8%	13.7%	21.6%	19.6%	3.9%	11.8%	-
	50代	62	75.8%	53.2%	50.0%	46.8%	12.9%	12.9%	21.0%	3.2%	4.8%	-
	60代	94	74.5%	66.0%	35.1%	26.6%	33.0%	24.5%	12.8%	10.6%	3.2%	-
	70代以上	104	82.7%	76.0%	15.4%	13.5%	49.0%	26.9%	6.7%	11.5%	-	1.0%

（その他）

- ・ 張り紙
- ・ 市役所からのメール
- ・ 学校のお知らせ
- ・ 井原放送

## 【問17】興味のある情報はどんな情報ですか。（複数選択あり）

興味のある情報は「防災・気象情報」が68.2%「生活情報」が60.3%の順になっています。前回調査と比較すると「生活情報」「イベント情報」「行政情報」「学校・教育情報」の割合が増加しています。30代・40代では「イベント情報」の割合が、70代以上では「医療・保健情報」の割合が高くなっています。

## 今回調査

	区分	回答数	防災・気象情報	生活情報	イベント情報	医療・保健情報	文化情報	福祉情報	行政情報	環境情報	交通情報	学校・教育情報	子育て・保育情報	社会参加の情報	その他
	全体	421	68.2%	60.3%	45.6%	43.9%	30.2%	28.0%	25.7%	24.7%	24.0%	15.0%	10.7%	5.9%	1.7%
性別	男	183	70.5%	52.5%	46.4%	41.0%	20.8%	24.0%	26.8%	21.3%	31.1%	9.8%	5.5%	5.5%	2.2%
	女	229	66.8%	67.7%	44.5%	47.2%	37.1%	32.3%	24.0%	26.6%	18.8%	18.8%	15.3%	6.1%	1.3%
年代別	10代	19	57.9%	47.4%	47.4%	21.1%	36.8%	10.5%	10.5%	15.8%	42.1%	63.2%	-	15.8%	-
	20代	25	52.0%	64.0%	52.0%	24.0%	28.0%	4.0%	16.0%	4.0%	32.0%	-	20.0%	-	4.0%
	30代	40	55.0%	62.5%	67.5%	30.0%	20.0%	7.5%	27.5%	15.0%	27.5%	27.5%	37.5%	2.5%	-
	40代	47	66.0%	61.7%	66.0%	34.0%	27.7%	19.1%	36.2%	17.0%	19.1%	48.9%	31.9%	4.3%	-
	50代	82	69.5%	63.4%	46.3%	43.9%	26.8%	19.5%	20.7%	34.1%	28.0%	9.8%	3.7%	3.7%	3.7%
	60代	106	79.2%	62.3%	39.6%	48.1%	34.0%	35.8%	26.4%	30.2%	23.6%	3.8%	2.8%	6.6%	2.8%
	70代	84	66.7%	58.3%	29.8%	61.9%	35.7%	50.0%	26.2%	26.2%	20.2%	6.0%	4.8%	8.3%	-
	80代以上	14	85.7%	50.0%	35.7%	57.1%	28.6%	50.0%	50.0%	28.6%	-	-	-	14.3%	-

(その他)

- ・ 仕事の専門知識
- ・ 井笠地域全体のホームページ作成を求む

## 前回調査

	区分	回答数	防災・気象情報	生活情報	医療・保健情報	イベント情報	交通情報	文化情報	福祉情報	環境情報	行政情報	学校・教育情報	子育て・保育情報	社会参加の情報
	全体	388	71.1%	55.7%	49.0%	41.8%	32.5%	31.4%	29.6%	25.3%	23.2%	14.4%	11.9%	6.7%
性別	男	176	74.4%	51.1%	48.9%	41.5%	37.5%	31.8%	28.4%	27.3%	26.1%	10.8%	9.1%	4.5%
	女	210	68.6%	59.5%	49.0%	42.4%	28.1%	31.4%	31.0%	23.8%	20.5%	17.6%	14.3%	8.6%
年代別	10代	12	50.0%	25.0%	-	50.0%	41.7%	33.3%	8.3%	8.3%	-	50.0%	-	8.3%
	20代	21	57.1%	71.4%	33.3%	66.7%	52.4%	19.0%	14.3%	4.8%	19.0%	14.3%	19.0%	-
	30代	39	61.5%	46.2%	28.2%	48.7%	20.5%	25.6%	10.3%	15.4%	17.9%	35.9%	56.4%	-
	40代	51	76.5%	60.8%	25.5%	47.1%	37.3%	19.6%	9.8%	17.6%	13.7%	35.3%	23.5%	3.9%
	50代	62	79.0%	62.9%	48.4%	46.8%	30.6%	38.7%	25.8%	24.2%	19.4%	14.5%	3.2%	6.5%
	60代	94	72.3%	54.3%	55.3%	36.2%	38.3%	31.9%	43.6%	34.0%	30.9%	1.1%	3.2%	9.6%
	70代以上	104	72.1%	54.8%	71.2%	33.7%	25.0%	36.5%	42.3%	32.7%	28.8%	4.8%	2.9%	9.6%

防災・気象情報	災害や台風情報、天気予報など
生活情報	衣食住に関すること、ショッピング情報、くらしの知恵など
イベント情報	イベント・レジャー・スポーツ施設情報や観光案内など
医療・保健情報	医薬品情報、健康づくりに関する情報など
文化情報	公民館、図書館、ホールの催しや趣味に関する情報など
福祉情報	福祉施設の利用案内、介護保険など福祉制度の案内など
環境情報	環境問題やゴミ、リサイクルに関する情報など
行政情報	行政の手続き、市政の動きなど
交通情報	道路情報や電車・バスなどの運行時刻など
学校・教育情報	学校、進学、留学に関する情報など
子育て・保育情報	子どもの育ちと子育てに関する情報など
社会参加の情報	ボランティア・市民活動情報など

## 【問18】井原市が提供・実施している電子サービス及びICT関連サービスを知っていますか。（複数選択あり）

井原市が提供・実施しているICT関連サービスの認知度は「緊急告知端末器『お知らせくん』」が77.8%「井原市公式ホームページ」が61.3%となっています。前回調査の「証明書等自動交付機」から「証明書のコンビニ交付」に置き換わりましたが、3番目に高い認知度となっています。

## 今回調査

	区分	回答数	緊急告知 端末器	井原市 HP	証明書の コンビニ 交付	データ 放送	メール 配信 システム	スマート フォン 決済	井原市 SNS	キャッ シュレス 決済	どれも 知らない	公共施設 予約 システム	岡山県 電子申請 システム	地図情報 提供 システム
	全体	419	77.8%	61.3%	45.1%	41.1%	34.6%	24.6%	22.7%	17.9%	9.5%	8.6%	8.4%	7.9%
性別	男	183	77.0%	60.1%	37.7%	41.0%	30.1%	21.3%	21.3%	15.8%	9.3%	8.2%	11.5%	5.5%
	女	227	79.3%	63.0%	51.5%	41.9%	39.2%	26.9%	23.3%	19.4%	9.3%	8.8%	6.2%	9.7%
年代別	10代	18	77.8%	61.1%	16.7%	16.7%	33.3%	16.7%	22.2%	16.7%	11.1%	-	-	5.6%
	20代	26	53.8%	57.7%	53.8%	34.6%	26.9%	15.4%	26.9%	19.2%	19.2%	3.8%	7.7%	3.8%
	30代	38	73.7%	86.8%	55.3%	50.0%	47.4%	31.6%	36.8%	21.1%	7.9%	10.5%	10.5%	2.6%
	40代	48	79.2%	66.7%	60.4%	33.3%	54.2%	35.4%	29.2%	29.2%	6.3%	14.6%	12.5%	6.3%
	50代	82	82.9%	72.0%	43.9%	43.9%	42.7%	25.6%	23.2%	17.1%	7.3%	8.5%	8.5%	9.8%
	60代	106	82.1%	64.2%	52.8%	50.9%	30.2%	21.7%	18.9%	12.3%	3.8%	6.6%	6.6%	8.5%
	70代	83	78.3%	45.8%	32.5%	36.1%	24.1%	26.5%	19.3%	20.5%	16.9%	10.8%	9.6%	10.8%
	80代以上	14	71.4%	-	14.3%	21.4%	-	-	-	-	14.3%	-	7.1%	7.1%

## 【参考】前回調査

	区分	回答数	緊急告知 端末器	井原市 HP	証明書等 自動 交付機	データ 放送	メール 配信 システム	図書館蔵 書検索・ 予約 サービス	公共施設 予約 システム	井原市生 涯学習カ レンダー	岡山県 電子申請 システム	どれも 知らない
	全体	388	77.3%	54.9%	54.1%	43.8%	31.4%	12.9%	7.5%	5.2%	3.6%	10.3%
性別	男	176	75.0%	48.9%	50.6%	41.5%	23.3%	10.2%	6.8%	5.7%	4.0%	9.7%
	女	210	79.5%	60.0%	57.1%	46.2%	38.6%	15.2%	8.1%	4.8%	3.3%	10.5%
年代別	10代	12	83.3%	50.0%	8.3%	33.3%	-	-	8.3%	-	-	8.3%
	20代	21	85.7%	61.9%	52.4%	57.1%	38.1%	14.3%	4.8%	4.8%	4.8%	9.5%
	30代	39	76.9%	82.1%	69.2%	48.7%	43.6%	23.1%	7.7%	7.7%	2.6%	7.7%
	40代	51	86.3%	78.4%	62.7%	47.1%	60.8%	15.7%	9.8%	3.9%	2.0%	2.0%
	50代	62	85.5%	64.5%	67.7%	48.4%	40.3%	11.3%	6.5%	1.6%	4.8%	1.6%
	60代	94	73.4%	44.7%	53.2%	40.4%	24.5%	10.6%	6.4%	4.3%	5.3%	11.7%
	70代以上	104	69.2%	35.6%	43.3%	39.4%	16.3%	12.5%	8.7%	8.7%	2.9%	19.2%

## 【問19】井原市が提供・実施している電子サービス及びICT関連サービスを利用したことがありますか。（複数選択あり）

井原市が提供・実施しているICT関連サービスの利用率は「緊急告知端末器『お知らせくん』」が62.6%「井原市公式ホームページ」が50.4%「データ放送（災害情報・イベント情報）」が31.3%となっています。  
メール配信サービスは30代から50代までの利用率が高くなっています。

## 今回調査

	区分	回答数	緊急告知 端末器	井原市 HP	データ 放送	メール 配信 システム	証明書 の コンビニ 交付	井原市 SNS	スマート フォン 決済	どれも 利用した ことがな い	キャッ シュレス 決済	岡山県 電子申請 システム	地図情報 提供 システム	公共施設 予約 システム	その他
	全体	393	62.6%	50.4%	31.3%	28.2%	14.8%	15.5%	11.7%	10.7%	6.6%	4.8%	4.1%	3.3%	-
性別	男	172	61.0%	47.1%	30.2%	25.0%	15.1%	15.1%	8.7%	11.0%	5.8%	7.6%	3.5%	3.5%	-
	女	214	64.5%	52.8%	32.2%	30.8%	14.0%	16.4%	13.6%	10.3%	6.5%	2.8%	4.2%	2.8%	-
年代別	10代	17	58.8%	47.1%	11.8%	17.6%	11.8%	23.5%	5.9%	17.6%	5.9%	-	-	-	-
	20代	23	39.1%	52.2%	30.4%	13.0%	13.0%	26.1%	13.0%	4.3%	13.0%	-	-	-	-
	30代	36	55.6%	77.8%	44.4%	38.9%	16.7%	25.0%	13.9%	2.8%	8.3%	-	2.8%	-	-
	40代	47	61.7%	63.8%	29.8%	48.9%	23.4%	21.3%	21.3%	6.4%	6.4%	6.4%	6.4%	8.5%	-
	50代	77	70.1%	58.4%	37.7%	36.4%	15.6%	13.0%	14.3%	9.1%	6.5%	7.8%	5.2%	3.9%	-
	60代	103	68.9%	47.6%	34.0%	26.2%	16.5%	12.6%	5.8%	7.8%	4.9%	4.9%	1.9%	1.9%	-
	70代	74	62.2%	33.8%	21.6%	14.9%	6.8%	12.2%	13.5%	20.3%	8.1%	6.8%	8.1%	5.4%	-
80代以上	13	46.2%	-	15.4%	7.7%	7.7%	-	-	-	30.8%	-	-	-	-	-

## 【参考】前回調査

	区分	回答数	緊急告知 端末器	井原市 HP	データ 放送	メール 配信 システム	証明書等 自動 交付機	図書館蔵 書検索・ 予約 サービス	公共施設 予約 システム	井原市生 産学習力 レンダー	岡山県 電子申請 システム	どれも 利用した ことがな い
	全体	348	63.8%	42.5%	33.0%	29.6%	27.9%	9.2%	3.2%	2.9%	1.7%	10.9%
性別	男	159	62.3%	36.5%	27.7%	22.0%	28.3%	4.4%	3.1%	3.8%	2.5%	11.3%
	女	188	64.9%	47.9%	37.8%	36.2%	27.7%	13.3%	3.2%	2.1%	1.1%	10.6%
年代別	10代	11	63.6%	18.2%	18.2%	-	-	-	9.1%	9.1%	-	18.2%
	20代	19	73.7%	47.4%	52.6%	21.1%	26.3%	15.8%	-	-	5.3%	5.3%
	30代	36	55.6%	66.7%	50.0%	41.7%	44.4%	19.4%	2.8%	2.8%	2.8%	11.1%
	40代	50	66.0%	56.0%	36.0%	62.0%	32.0%	14.0%	6.0%	-	-	6.0%
	50代	61	59.0%	55.7%	37.7%	37.7%	29.5%	8.2%	3.3%	-	1.6%	3.3%
	60代	83	61.4%	34.9%	21.7%	22.9%	26.5%	4.8%	2.4%	2.4%	2.4%	16.9%
	70代以上	84	69.0%	23.8%	29.8%	13.1%	23.8%	7.1%	2.4%	7.1%	1.2%	14.3%

【問20】井原市が提供・実施している電子サービス及びICT関連サービスで便利だと感じるサービスがありますか。  
(複数選択あり)

井原市が提供・実施しているICT関連サービスで便利だと感じるものは「緊急告知端末器『お知らせくん』」が53.0%「井原市公式ホームページ」が34.2%となっています。  
年代によって便利だと感じるサービスに違いが出ています。

## 今回調査

	区分	回答数	緊急告知 端末器	井原市 HP	データ 放送	メール 配信 システム	証明書の コンビニ 交付	スマート フォン 決済	キャッ シュレス 決済	井原市 SNS	公共施設 予約 システム	どれも 便利だと 感じない	岡山県 電子申請 システム	地図情報 提供 システム	その他
	全体	389	53.0%	34.2%	28.5%	27.5%	23.1%	18.0%	14.9%	13.1%	7.5%	7.5%	6.2%	6.2%	2.3%
性別	男	170	50.6%	34.1%	26.5%	20.6%	24.1%	15.3%	12.9%	12.4%	7.1%	10.0%	7.1%	5.9%	1.8%
	女	212	55.7%	34.4%	29.7%	33.0%	22.2%	19.8%	16.0%	13.7%	7.1%	5.7%	5.2%	5.7%	1.9%
年代別	10代	18	38.9%	33.3%	5.6%	16.7%	5.6%	16.7%	16.7%	16.7%	-	11.1%	-	5.6%	5.6%
	20代	23	39.1%	13.0%	17.4%	13.0%	21.7%	13.0%	13.0%	17.4%	4.3%	4.3%	-	4.3%	8.7%
	30代	35	37.1%	45.7%	34.3%	40.0%	17.1%	40.0%	40.0%	17.1%	8.6%	-	8.6%	5.7%	2.9%
	40代	46	37.0%	34.8%	23.9%	43.5%	21.7%	19.6%	10.9%	21.7%	10.9%	6.5%	4.3%	8.7%	-
	50代	76	48.7%	38.2%	26.3%	36.8%	18.4%	21.1%	15.8%	6.6%	5.3%	6.6%	10.5%	5.3%	2.6%
	60代	100	60.0%	38.0%	30.0%	23.0%	32.0%	13.0%	12.0%	11.0%	8.0%	7.0%	4.0%	5.0%	1.0%
	70代	75	70.7%	32.0%	33.3%	18.7%	5.3%	14.7%	10.7%	14.7%	9.3%	12.0%	8.0%	6.7%	1.3%
80代以上	13	61.5%	-	46.2%	7.7%	-	-	-	-	-	15.4%	-	7.7%	-	



## 【問21】井原市が実施する電子サービス及びICT関連サービスについて、より充実してほしいものはありますか。

(複数選択あり)

井原市が提供・実施しているICT関連サービスのうち、特に充実を求められているものは「井原市公式ホームページ」が28.8%「データ放送」が23.0%「緊急告知端末器『お知らせくん』」が21.9%となっています。「特になし」も32.7%となっています。

年代別では、10代が「井原市公式SNS」20代が「スマートフォン決済」30代が「スマートフォン決済」・「キャッシュレス決済」の充実についてニーズが高いといえます。

## 今回調査

	区分	回答数	井原市HP	データ放送	緊急告知端末器	メール配信システム	スマートフォン決済	証明書のコンビニ交付	井原市SNS	キャッシュレス決済	地図情報提供システム	岡山県電子申請システム	公共施設予約システム	その他	特になし
	全体	392	28.8%	23.0%	21.9%	16.8%	13.8%	13.3%	13.0%	11.5%	7.1%	6.1%	5.4%	1.0%	32.7%
性別	男	173	28.3%	23.7%	17.9%	17.3%	13.9%	12.7%	15.6%	9.8%	6.9%	7.5%	5.8%	0.6%	31.2%
	女	212	29.2%	22.2%	25.5%	16.5%	13.2%	13.2%	10.4%	11.8%	6.6%	4.2%	4.7%	0.9%	34.0%
年代別	10代	17	41.2%	5.9%	17.6%	11.8%	17.6%	-	29.4%	11.8%	5.9%	-	-	-	41.2%
	20代	24	20.8%	20.8%	4.2%	8.3%	20.8%	12.5%	12.5%	8.3%	-	4.2%	8.3%	-	37.5%
	30代	37	29.7%	16.2%	8.1%	21.6%	29.7%	13.5%	16.2%	35.1%	5.4%	16.2%	2.7%	-	35.1%
	40代	46	34.8%	21.7%	17.4%	26.1%	19.6%	23.9%	23.9%	15.2%	10.9%	6.5%	13.0%	-	30.4%
	50代	75	30.7%	18.7%	24.0%	18.7%	17.3%	14.7%	6.7%	17.3%	6.7%	6.7%	1.3%	1.3%	36.0%
	60代	102	30.4%	31.4%	24.5%	15.7%	5.9%	12.7%	8.8%	2.9%	8.8%	3.9%	3.9%	1.0%	29.4%
	70代	75	22.7%	22.7%	29.3%	12.0%	8.0%	9.3%	14.7%	5.3%	6.7%	5.3%	8.0%	1.3%	30.7%
80代以上	13	15.4%	30.8%	30.8%	15.4%	-	7.7%	-	-	-	-	-	-	-	38.5%

(その他)

緊急告知端末器	どこから放送しても同じ大きさの声、はっきりと言葉をいう、ボリューム調整
---------	-------------------------------------

## 【参考】前回調査

	区分	回答数	緊急告知端末器	データ放送	井原市HP	図書館蔵書検索・予約サービス	メール配信システム	公共施設予約システム	岡山県電子申請システム	井原市生涯学習カレンダー	特になし
	全体	348	31.3%	31.3%	28.2%	17.8%	6.9%	6.9%	4.3%	3.7%	31.0%
性別	男	159	35.8%	37.1%	28.3%	18.2%	9.4%	5.7%	4.4%	3.1%	28.3%
	女	188	27.1%	26.1%	28.2%	17.6%	4.8%	3.2%	4.3%	4.3%	33.5%
年代別	10代	11	9.1%	18.2%	18.2%	-	9.1%	9.1%	-	9.1%	36.4%
	20代	19	10.5%	21.1%	31.6%	15.8%	10.5%	5.3%	5.3%	-	47.4%
	30代	36	11.1%	25.0%	41.7%	22.2%	5.6%	5.6%	2.8%	2.8%	36.1%
	40代	50	22.0%	24.0%	32.0%	26.0%	12.0%	6.0%	4.0%	-	40.0%
	50代	61	27.9%	41.0%	34.4%	24.6%	1.6%	-	6.6%	1.6%	24.6%
	60代	83	34.9%	34.9%	27.7%	16.9%	7.2%	6.0%	3.6%	2.4%	33.7%
70代以上	84	50.0%	31.0%	16.7%	10.7%	7.1%	3.6%	4.8%	9.5%	21.4%	

## 【充実してほしい具体的な内容について】

データ放送	豪雨災害時の通行止めの情報をデータ放送で放送してほしい。
井原市ホームページ	市民サービスを中心としたホームページにしてほしい。知りたいことが早く検索できるようにしてほしい。もう少し地域密着型にした方がいいと思う。シニアにもわかりやすくしてほしい。画像をもっと取り入れてわかりやすくしてほしい。行政サイドの言語、表現多くわかりづらい
緊急告知端末器	最初の音を内容によって細かく分けてほしい(最初の音で内容が分かるようなものを配布してから)。災害時ももう少し細かい説明が聞きたい。
メール配信サービス	災害時のメールの内容の詳細がほしい(地図を入れるなどもっと詳しくわかりやすいものへ)
サービス全般	勉強する場にWiFiがほしい。ヤフーマップという防犯システムが作られたのでよく似たシステムがほしい。どのようなものがどこにあってどのように利用できるのか分かりやすく知りたい。

## 【問22】井原市において、ICTを使って実現して欲しいサービスは、どのようなものがありますか。（複数選択あり）

実現して欲しいサービスは「災害・防犯などの緊急情報の発信」が50.1%「行政手続きのオンライン化・電子化」が39.8%「データ放送の充実」が35.6%となっています。20代から50代までは「ICTを利用した市役所窓口の利便性の向上」の割合も高くなっています。

## 今回調査

	区分	回答数	緊急情報の発信	行政手続きのオンライン化	データ放送の充実	市役所窓口の利便性向上	マイナンバーを活用したサービス	情報通信機器の使い方講習会の実施	地域課題の解決	行政データの公開	その他	無回答
	全体	405	50.1%	39.8%	35.6%	24.9%	18.5%	13.6%	9.1%	8.9%	2.5%	11.9%
性別	男	177	52.5%	45.8%	31.6%	28.2%	13.6%	9.6%	11.9%	9.0%	2.8%	13.0%
	女	221	48.9%	35.3%	38.5%	23.1%	23.1%	16.7%	6.8%	8.6%	1.8%	11.3%
年代別	10代	18	38.9%	38.9%	27.8%	11.1%	16.7%	16.7%	16.7%	22.2%	-	11.1%
	20代	24	41.7%	62.5%	16.7%	41.7%	25.0%	-	8.3%	12.5%	-	8.3%
	30代	39	43.6%	69.2%	23.1%	41.0%	33.3%	7.7%	5.1%	10.3%	2.6%	5.1%
	40代	46	54.3%	54.3%	28.3%	32.6%	21.7%	4.3%	13.0%	8.7%	2.2%	8.7%
	50代	80	50.0%	45.0%	33.8%	30.0%	17.5%	10.0%	5.0%	6.3%	7.5%	7.5%
	60代	103	50.5%	29.1%	37.9%	18.4%	12.6%	15.5%	10.7%	7.8%	1.9%	14.6%
	70代	79	55.7%	25.3%	50.6%	16.5%	20.3%	25.3%	11.4%	10.1%	-	17.7%
80代以上	13	61.5%	7.7%	38.5%	15.4%	-	23.1%	-	-	-	-	30.8%

(その他)

- ・ 選挙
- ・ 御悔み情報を二回流してほしい
- ・ これらのサービスが向上してもメリットが感じられない
- ・ テレビで情報を流すときに字幕や手話をもっとつけてほしい

## 【参考】前回調査

	区分	回答数	データ放送の充実	証明書等のコンビニ交付	電子納付（コンビニ納付・クレジット納付）	公衆無線LANの整備	井原市地図情報提供システム	SNSの活用	IT講習会の充実	生産技術情報の提供	地域産業のIT化促進	その他	無回答
	全体	388	43.0%	30.9%	29.6%	25.8%	24.5%	11.1%	8.2%	6.7%	6.2%	2.1%	14.7%
性別	男	176	46.0%	32.4%	27.8%	25.6%	29.0%	9.7%	9.7%	9.1%	9.7%	0.6%	11.4%
	女	210	40.5%	29.5%	31.0%	26.2%	20.0%	12.4%	7.1%	4.8%	2.9%	3.3%	17.6%
年代別	10代	12	25.0%	-	-	75.0%	16.7%	41.7%	-	-	-	8.3%	-
	20代	21	23.8%	52.4%	42.9%	47.6%	4.8%	38.1%	-	14.3%	-	4.8%	4.8%
	30代	39	35.9%	33.3%	46.2%	38.5%	17.9%	17.9%	-	5.1%	2.6%	7.7%	2.6%
	40代	51	31.4%	47.1%	52.9%	41.2%	13.7%	13.7%	-	3.9%	9.8%	2.0%	3.9%
	50代	62	43.5%	35.5%	48.4%	29.0%	38.7%	16.1%	8.1%	6.5%	4.8%	1.6%	4.8%
	60代	94	46.8%	28.7%	18.1%	19.1%	33.0%	3.2%	17.0%	7.4%	9.6%	1.1%	18.1%
	70代以上	104	53.8%	21.2%	12.5%	7.7%	19.2%	2.9%	10.6%	7.7%	4.8%	-	29.8%

## 【問23】DXを知っていますか。

DX（デジタルトランスフォーメーション）の理解度は「名称も内容も知らない」が68.7%となっており、まだ定着していないのが現状です。

## 今回調査

	区分	回答数	名称・名前とも知っている	名称だけ知っている	名称・内容とも知らない
	全体	418	7.7%	21.8%	68.7%
性別	男	182	11.0%	23.1%	63.2%
	女	227	4.4%	21.1%	73.6%
年代別	10代	19	-	31.6%	68.4%
	20代	25	12.0%	24.0%	64.0%
	30代	40	10.0%	17.5%	72.5%
	40代	47	6.4%	23.4%	68.1%
	50代	81	7.4%	29.6%	61.7%
	60代	106	13.2%	17.0%	67.0%
	70代	82	2.4%	19.5%	76.8%
	80代以上	14	-	21.4%	71.4%

## 【問24】最後に、このアンケートを振り返って、井原市の情報化に期待することがありましたら、教えてください。

下記のようなご意見が寄せられました。

## 【情報弱者に関すること】26件

- ・ 自分はどんどん取り残されていくのではないかと心配。フォローする手立てを考えてほしい
- ・ デジタルが使えない年配の一人暮らしの人などの取りこぼしが無いことを願う
- ・ 高齢者はIT機械が使いにくいので、講習会等(無料)を開いてほしい

## 【情報化の方向性に関するもの(市政も含む。)]21件

- ・ 環境保護の推進(ペーパーレス化)
- ・ 効率化、省力化を進めてほしい
- ・ 高齢者にも優しい情報化にしてほしい

## 【情報発信に関するもの】18件

- ・ 情報を早く知らせてほしい
- ・ 井原に住んでいる人みんなが情報を得られるようにしてほしい

## 【行政手続に関するもの】10件

- ・ 市役所などの窓口へ出向かなくてもいいような、情報処理が出来るようになると便利  
様々な手続きがほぼオンラインで出来ると助かる

## 【セキュリティに関するもの】5件

- ・ 情報漏洩対策を強化してほしい
- ・ セキュリティ面の信頼性が保たれていることを希望する

## 【導入して欲しいシステム・制度】4件

- ・ ICT人材の育成と活用。ICTを活用したプッシュ型サービスの実現
- ・ 自宅に居ながら行政サービスが受けられる仕組み

## 【インフラに関するもの】3件

- ・ 公共施設へのフリーWi-Fi拡充

## 情報化に関するアンケート調査結果（インターネット）

### ◎調査対象

インターネットを利用している人（居住地は問わない。）

### ◎調査時期

令和4年7月8日から令和4年7月25日まで

### ◎調査方法

アンケート依頼・回収ともインターネット（電子申請サービスを使用）

### ◎回収結果

220件

### ◎集計に当たっての留意点

◎割合は、少数点第2位を四捨五入しています。このため、単回答（該当するものを1つだけ選ぶもの）の場合、合計値が100(%)にならない場合があります。

◎複数回答の設問では、割合の合計値が100(%)を超えます。

◎「無回答」は、回答が無かったもの及び判別ができなかったものになります。

◎本調査のアンケート本文の設問の選択肢は、簡略化表記している場合があります。

◎クロス集計は、無回答があるため、合計人数と全体人数が一致しない場合があります。

◎「郵送調査」は、井原市内に住所を有する満16歳以上の市民の中から1,000人を無作為に抽出し実施した調査を表します。

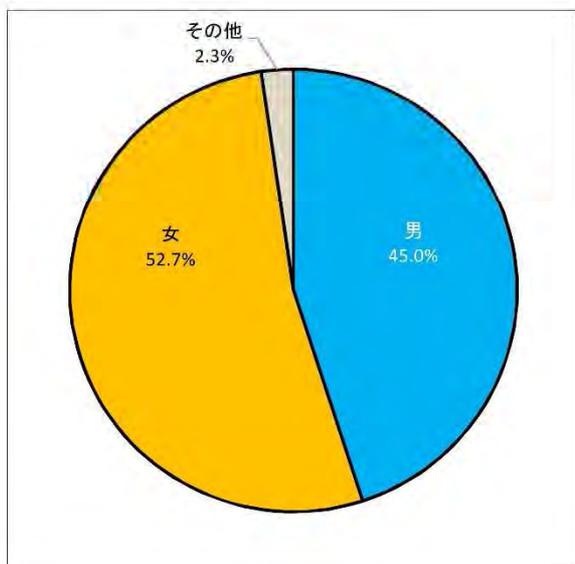
◎「インターネット調査」は、居住地を問わず、どなたでも回答できる本調査を表します。

◎「郵送調査」は、インターネット利用の有無に関わらず回答いただけるのに対し、「インターネット調査」は必ずインターネットを利用したことがある人のみが回答できます（インターネットでの回答のみであるため。）。よって、インターネットを利用していない人向けの設問は、省略しています。



## 【問1】 あなたの性別についておたずねします。（任意回答）

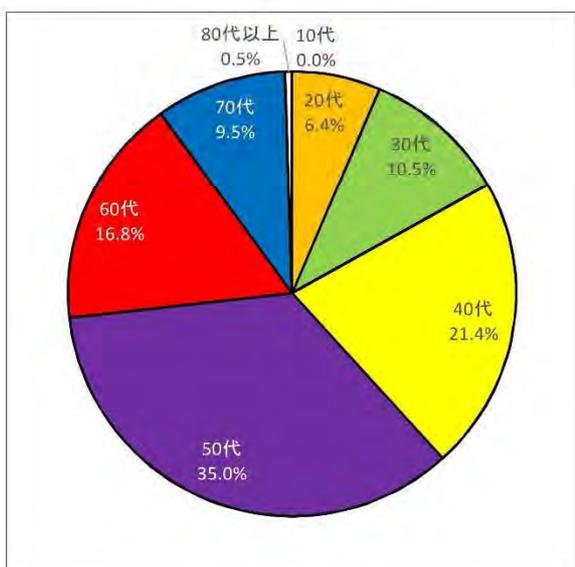
回答いただいた人の男女比率は「男性」45.0%「女性」52.7%でした。



項目	件数	割合
男	99	45.0%
女	116	52.7%
その他	5	2.3%
回答数	220	100%

## 【問2】 あなたの年齢についておたずねします。

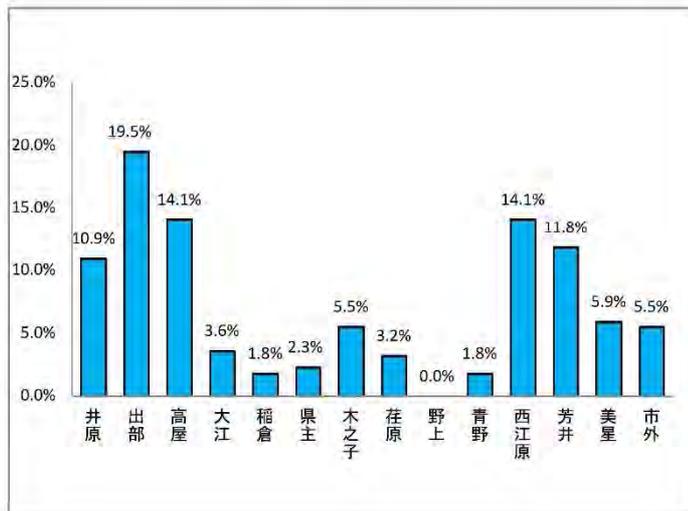
年齢構成は「50代」が最も多く35.0%、次いで「40代」が21.4%でした。10代からの回答は、ありませんでした。



項目	件数	割合
10代	0	0.0%
20代	14	6.4%
30代	23	10.5%
40代	47	21.4%
50代	77	35.0%
60代	37	16.8%
70代	21	9.5%
80代以上	1	0.5%
回答数	220	100%

## 【問3】あなたのお住まいはどちらですか。

アンケートに協力いただいた方の地区別の構成割合は、野上地区を除いた市内一円の方からの回答がありました。



項目	件数	割合
井原	24	10.9%
出部	43	19.5%
高屋	31	14.1%
大江	8	3.6%
稲倉	4	1.8%
県主	5	2.3%
木之子	12	5.5%
荏原	7	3.2%
野上	0	0.0%
青野	4	1.8%
西江原	31	14.1%
芳井	26	11.8%
美星	13	5.9%
市外	12	5.5%
回答数	220	100%

## 【問4】インターネットをどこで利用していますか。(複数回答あり)

インターネットの利用場所は、「自宅」が98.2%「職場」が61.8%「屋外」が43.2%「店舗」が25.0%「公共施設」が20.0%となっています。郵送調査と比べて「自宅」「職場」「店舗」の割合が高くなっています。

	区分	回答数	自宅	職場	屋外	店舗	公共施設	学校	その他
	全体	220	98.2%	61.8%	43.2%	25.0%	20.0%	4.5%	2.3%
性別	男	99	97.0%	60.6%	37.4%	21.2%	18.2%	1.0%	2.0%
	女	116	99.1%	61.2%	46.6%	25.9%	19.0%	6.0%	2.6%
年代別	10代	0	-	-	-	-	-	-	-
	20代	14	100.0%	50.0%	64.3%	21.4%	21.4%	28.6%	-
	30代	23	100.0%	60.9%	56.5%	30.4%	17.4%	13.0%	-
	40代	47	100.0%	78.7%	46.8%	31.9%	27.7%	4.3%	2.1%
	50代	77	96.1%	71.4%	46.8%	23.4%	18.2%	1.3%	2.6%
	60代	37	97.3%	48.6%	27.0%	16.2%	18.9%	-	2.7%
	70代	21	100.0%	23.8%	23.8%	28.6%	14.3%	-	4.8%
	80代以上	1	100.0%	-	-	-	-	-	-

(その他)

・ 駅

## 【問5】どのような機器でインターネットに接続していますか。（複数回答あり）

インターネット接続機器は「スマートフォン」が93.6%「パソコン」が76.8%「タブレット端末」が30.9%「テレビ」が23.2%となっています。郵送調査と比べて「携帯電話」以外の項目の割合が高くなっています。

	区分	回答数	スマートフォン	パソコン	タブレット	テレビ	ゲーム機	携帯電話	ウェアラブル端末	その他
	全体	220	93.6%	76.8%	30.9%	23.2%	12.7%	5.5%	3.2%	0.9%
性別	男	99	89.9%	82.8%	32.3%	22.2%	13.1%	6.1%	2.0%	-
	女	116	96.6%	71.6%	26.7%	23.3%	11.2%	4.3%	3.4%	0.9%
年代別	10代	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	14	100.0%	50.0%	28.6%	42.9%	14.3%	14.3%	7.1%	-
	30代	23	100.0%	60.9%	30.4%	34.8%	30.4%	-	-	-
	40代	47	97.9%	78.7%	29.8%	29.8%	19.1%	4.3%	6.4%	2.1%
	50代	77	94.8%	79.2%	29.9%	20.8%	10.4%	3.9%	2.6%	1.3%
	60代	37	83.8%	81.1%	35.1%	2.7%	-	10.8%	-	-
	70代	21	90.5%	90.5%	33.3%	28.6%	9.5%	4.8%	4.8%	-
	80代以上	1	-	100.0%	-	-	-	-	-	-

(その他)

- ・ 掃除機、洗濯機

## 【問6】どのくらいの頻度でインターネットを利用していますか。（複数回答あり）

インターネットを「毎日1回以上」利用している人が98.2%となっています。回答した人全員が「週に1回以上」利用しています。

	区分	回答数	毎日1回以上	週に1回以上	月に1回以上	月に1回未満	その他
	全体	220	98.2%	1.8%	-	-	-
性別	男	99	98.0%	2.0%	-	-	-
	女	116	98.3%	1.7%	-	-	-
年代別	10代	0	-	-	-	-	-
	20代	14	100.0%	-	-	-	-
	30代	23	100.0%	-	-	-	-
	40代	47	100.0%	-	-	-	-
	50代	77	96.1%	3.9%	-	-	-
	60代	37	97.3%	2.7%	-	-	-
	70代	21	100.0%	-	-	-	-
	80代以上	1	100.0%	-	-	-	-



## 【問7】インターネットをどのような目的で利用していますか。（複数回答あり）

インターネットの利用目的は「調査・情報収集」が86.4%「ニュースサイト・公式ホームページなどの閲覧」も86.4%「メール」が83.6%「SNS」が80.0%「ネットショッピング」が76.8%の順となっています。郵送調査と比べて、全ての項目で割合が高くなっています。

	区分	回答数	調査・情報収集	HP閲覧等	メール	SNS	ショッピング	地図情報	動画・音楽	災害情報	オンライン予約	交通情報	音声通話	ゲーム	オンライン会議
	全体	220	86.4%	86.4%	83.6%	80.0%	76.8%	63.2%	58.2%	56.8%	46.8%	40.0%	37.7%	36.8%	33.6%
性別	男	99	90.9%	86.9%	80.8%	69.7%	71.7%	63.6%	53.5%	50.5%	41.4%	28.3%	35.4%	30.3%	29.3%
	女	116	81.9%	85.3%	86.2%	87.9%	80.2%	62.1%	60.3%	60.3%	50.0%	48.3%	37.9%	40.5%	35.3%
年代別	10代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	14	64.3%	50.0%	57.1%	92.9%	64.3%	35.7%	85.7%	28.6%	42.9%	35.7%	50.0%	71.4%	14.3%
	30代	23	91.3%	87.0%	82.6%	100.0%	82.6%	73.9%	73.9%	60.9%	60.9%	39.1%	52.2%	43.5%	34.8%
	40代	47	87.2%	89.4%	85.1%	89.4%	70.2%	61.7%	63.8%	57.4%	51.1%	34.0%	53.2%	48.9%	44.7%
	50代	77	87.0%	92.2%	84.4%	84.4%	83.1%	68.8%	59.7%	64.9%	50.6%	50.6%	27.3%	35.1%	40.3%
	60代	37	86.5%	86.5%	83.8%	54.1%	70.3%	56.8%	43.2%	54.1%	32.4%	32.4%	27.0%	13.5%	24.3%
	70代	21	90.5%	81.0%	95.2%	61.9%	85.7%	61.9%	33.3%	47.6%	38.1%	33.3%	38.1%	28.6%	14.3%
	80代以上	1	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	100.0%	-	-	-	-	-	-	-

	区分	回答数	ネットバンキング	行政申込	オンライン授業	オークション	株取引	その他
	全体	220	29.5%	29.1%	14.5%	12.3%	9.1%	1.4%
性別	男	99	34.3%	30.3%	5.1%	17.2%	15.2%	2.0%
	女	116	25.0%	27.6%	20.7%	6.9%	4.3%	-
年代別	10代	0	-	-	-	-	-	-
	20代	14	21.4%	42.9%	21.4%	14.3%	7.1%	-
	30代	23	47.8%	30.4%	21.7%	8.7%	8.7%	-
	40代	47	31.9%	34.0%	17.0%	19.1%	4.3%	4.3%
	50代	77	28.6%	24.7%	16.9%	9.1%	7.8%	-
	60代	37	27.0%	29.7%	8.1%	5.4%	8.1%	2.7%
	70代	21	19.0%	23.8%	-	23.8%	23.8%	-
	80代以上	1	-	-	-	-	100.0%	-

(その他)

- ・ 営業の説明をZOOMで受ける
- ・ セミナー受講
- ・ 家電の管理や操作
- ・ radiko

## 【問8】ウェブサービスを利用したことがありますか。（複数回答あり）

ウェブサービスの利用は「LINE」が94.1%「YouTube」が87.8%「Instagram」が57.9%「Facebook」が57.0%「Twitter」が52.9%となっており、半数以上の人を利用したことがあるとしています。郵送調査と比べて各サービスの利用率は、全て高くなっています。

	区分	回答数	LINE	YouTube	Instagram	Facebook	Twitter	TikTok	どれも使用無	その他
	全体	221	94.1%	87.8%	57.9%	57.0%	52.9%	24.0%	1.8%	1.4%
性別	男	99	89.9%	88.9%	44.4%	53.5%	43.4%	18.2%	3.0%	1.0%
	女	116	98.3%	87.1%	68.1%	58.6%	60.3%	28.4%	0.9%	1.7%
年代別	10代	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	14	100.0%	100.0%	85.7%	64.3%	100.0%	57.1%	-	7.1%
	30代	23	100.0%	100.0%	82.6%	73.9%	65.2%	34.8%	-	-
	40代	47	100.0%	95.7%	68.1%	70.2%	61.7%	27.7%	-	2.1%
	50代	77	94.8%	89.6%	62.3%	54.5%	53.2%	19.5%	1.3%	-
	60代	37	86.5%	75.7%	27.0%	35.1%	37.8%	16.2%	8.1%	-
	70代	21	90.5%	66.7%	33.3%	57.1%	19.0%	14.3%	-	4.8%
	80代以上	1	-	100.0%	-	-	-	-	-	-

(その他)

- ・ LinkedIn
- ・ zoom
- ・ room

## 【問9】インターネットを利用するとき不安に感じることは何ですか。（複数回答あり）

インターネットを利用するとき不安に感じることは「個人情報の漏えい」が75.0%「ウイルス感染」が72.7%となっています。この2項目は、各年代で不安が高いことが分かります。  
 郵送調査と比べて「個人情報の漏えい」「ウイルス感染」「情報の信じよう性」「迷惑メールが多い」「インターネット依存」「コミュニケーションのトラブル」「著作権の侵害」の割合が高くなっており、「故障した時の対応方法がわからない」「不適切な内容の情報が多い」「操作方法が難しくわからない」の割合は低くなっています。

	区分	回答数	情報漏えい	ウイルス感染	情報の信じよう性	迷惑メール	故障時対応	不適切な情報	操作方法が難しい	特にない	その他
	全体	220	75.0%	72.7%	45.5%	43.6%	20.0%	15.9%	11.8%	4.5%	1.4%
性別	男	99	64.6%	68.7%	38.4%	45.5%	16.2%	12.1%	14.1%	6.1%	3.0%
	女	116	83.6%	75.9%	50.9%	40.5%	24.1%	19.8%	10.3%	2.6%	-
年代別	10代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	14	71.4%	50.0%	42.9%	50.0%	14.3%	14.3%	7.1%	7.1%	-
	30代	23	60.9%	60.9%	47.8%	26.1%	8.7%	26.1%	-	13.0%	-
	40代	47	74.5%	63.8%	46.8%	34.0%	6.4%	17.0%	-	2.1%	-
	50代	77	81.8%	79.2%	51.9%	57.1%	28.6%	22.1%	14.3%	3.9%	1.3%
	60代	37	73.0%	81.1%	40.5%	37.8%	27.0%	2.7%	21.6%	2.7%	5.4%
	70代	21	71.4%	81.0%	28.6%	42.9%	23.8%	4.8%	28.6%	4.8%	-
	80代以上	1	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-	-	-

	区分	回答数	ネット依存	トラブル	著作権侵害
	全体	220	19.1%	15.9%	13.2%
性別	男	99	19.2%	12.1%	12.1%
	女	116	19.8%	18.1%	12.9%
年代別	10代	0	-	-	-
	20代	14	28.6%	28.6%	7.1%
	30代	23	26.1%	8.7%	13.0%
	40代	47	27.7%	21.3%	19.1%
	50代	77	22.1%	20.8%	19.5%
	60代	37	-	8.1%	-
	70代	21	4.8%	-	4.8%
	80代以上	1	100.0%	-	-

（その他）

- ・ フィッシングメールが多い
- ・ 自分の投稿が侮辱罪に該当するのではないかと心配することもある
- ・ 勘違いや、規約の小さい文字によるトラップ、課金等の金銭トラブル

## 【問10】井原市の行政や地域の情報をどのような方法で入手していますか。（複数選択あり）

地域の情報の入手方法は「広報紙」が75.5%「井原市公式ホームページ」が60.5%「緊急告知端末器『お知らせくん』」が59.1%「回覧板」が56.8%の順となっています。  
郵送調査と比べて全て年代で「広報誌」の割合が高く「井原市公式ホームページ」の割合も高くなっています。

	区分	回答数	広報誌	井原市HP	緊急告知端末器	回覧板	テレビ	SNS	人との会話	職場等からのお知らせ	新聞	ラジオ	雑誌・書籍	その他
	全体	220	75.5%	60.5%	59.1%	56.8%	40.5%	39.1%	36.4%	25.0%	23.2%	2.7%	0.9%	5.0%
性別	男	99	74.7%	62.6%	64.6%	53.5%	44.4%	36.4%	34.3%	15.2%	28.3%	3.0%	-	-
	女	116	75.9%	58.6%	53.4%	57.8%	36.2%	41.4%	37.9%	33.6%	19.0%	2.6%	1.7%	5.2%
年代別	10代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	14	71.4%	21.4%	14.3%	21.4%	14.3%	35.7%	35.7%	42.9%	7.1%	-	-	7.1%
	30代	23	73.9%	43.5%	43.5%	52.2%	17.4%	52.2%	34.8%	47.8%	13.0%	4.3%	-	8.7%
	40代	47	76.6%	59.6%	55.3%	44.7%	38.3%	44.7%	-	-	10.6%	-	-	2.1%
	50代	77	67.5%	61.0%	55.8%	63.6%	40.3%	37.7%	32.5%	19.5%	20.8%	2.6%	-	7.8%
	60代	37	86.5%	70.3%	78.4%	64.9%	51.4%	32.4%	35.1%	5.4%	32.4%	5.4%	2.7%	2.7%
	70代	21	85.7%	85.7%	95.2%	71.4%	66.7%	33.3%	38.1%	4.8%	66.7%	4.8%	4.8%	-
	80代以上	1	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-	-	-

（その他）

- ・ 井原市メール配信サービス 6件
- ・ イバラデ
- ・ 井原放送

## 【問11】災害に関する情報をどのような方法で入手していますか。（複数選択あり）

災害に関する情報の入手方法は「メール配信システム」が91.4%「スマートフォン・携帯電話」が74.5%「緊急告知端末器『お知らせくん』」が59.1%「テレビ」が57.3%の順となっています。  
郵送調査と比較するとほぼ全ての年代で「メール配信システム」が1番割合が高く「スマートフォン、携帯電話」の割合も高くなっています。  
また、高齢者層では「テレビ」や「緊急告知端末器『お知らせくん』」の割合が高くなっています。

	区分	回答数	メール配信システム	スマートフォン・携帯電話	緊急告知端末器	テレビ	インターネット	SNS	人との会話	新聞	ラジオ	その他
	全体	220	91.4%	74.5%	59.1%	57.3%	43.6%	30.5%	25.0%	19.5%	5.0%	-
性別	男	99	89.9%	74.7%	62.6%	59.6%	50.5%	29.3%	26.3%	30.3%	7.1%	-
	女	116	92.2%	74.1%	55.2%	54.3%	36.2%	31.0%	24.1%	11.2%	3.4%	-
年代別	10代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	14	85.7%	71.4%	21.4%	50.0%	35.7%	35.7%	28.6%	-	-	-
	30代	23	95.7%	87.0%	43.5%	47.8%	47.8%	30.4%	21.7%	8.7%	-	-
	40代	47	89.4%	78.7%	59.6%	51.1%	46.8%	29.8%	25.5%	10.6%	8.5%	-
	50代	77	92.2%	74.0%	54.5%	53.2%	42.9%	33.8%	23.4%	13.0%	2.6%	-
	60代	37	91.9%	70.3%	73.0%	67.6%	35.1%	24.3%	21.6%	40.5%	8.1%	-
	70代	21	95.2%	66.7%	95.2%	81.0%	52.4%	28.6%	38.1%	52.4%	9.5%	-
	80代以上	1	-	-	-	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-

## 【問12】興味のある情報はどんな情報ですか。（複数選択あり）

興味のある情報は「防災・気象情報」が80.9%「イベント情報」が52.3%「生活情報」が50.0%の順になっています。  
 郵送調査と比較すると「防災・気象情報」「イベント情報」「子育て・保育情報」「学校・教育情報」「社会参加の情報」の割合が高くなっています。30代では「子育て・保育情報」の割合が、70代以上では「医療・保健情報」の割合が高くなっています。

	区分	回答数	防災・気象情報	イベント情報	生活情報	医療・保健情報	文化情報	学校・教育情報	子育て・保育情報	行政情報	交通情報	福祉情報	環境情報	社会参加の情報	その他
	全体	220	80.9%	52.3%	50.0%	44.1%	26.4%	25.5%	22.7%	22.3%	20.9%	16.8%	16.4%	6.8%	0.9%
性別	男	99	75.8%	49.5%	44.4%	41.4%	28.3%	18.2%	17.2%	30.3%	22.2%	16.2%	16.2%	8.1%	1.0%
	女	116	85.3%	55.2%	54.3%	45.7%	24.1%	30.2%	27.6%	15.5%	19.8%	16.4%	16.4%	5.2%	0.9%
年代別	10代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	14	71.4%	50.0%	21.4%	28.6%	14.3%	21.4%	42.9%	35.7%	14.3%	-	21.4%	7.1%	-
	30代	23	73.9%	69.6%	52.2%	30.4%	21.7%	56.5%	82.6%	21.7%	-	8.7%	4.3%	4.3%	-
	40代	47	76.6%	53.2%	51.1%	34.0%	25.5%	46.8%	40.4%	17.0%	8.5%	17.0%	19.1%	10.6%	2.1%
	50代	77	88.3%	53.2%	48.1%	46.8%	19.5%	22.1%	6.5%	19.5%	32.5%	16.9%	14.3%	5.2%	-
	60代	37	81.1%	37.8%	64.9%	56.8%	35.1%	2.7%	2.7%	32.4%	27.0%	29.7%	18.9%	2.7%	-
	70代	21	81.0%	57.1%	47.6%	57.1%	47.6%	-	-	19.0%	19.0%	14.3%	23.8%	14.3%	4.8%
	80代以上	1	-	-	-	100.0%	100.0%	-	-	-	-	100.0%	-	-	-

（その他）

- ・自然科学の情報
- ・興味のない項目がありません。生活していく上でどれも必要です、絞れません

防災・気象情報	災害や台風情報、天気予報など
生活情報	衣食住に関すること、ショッピング情報、くらしの知恵など
イベント情報	イベント・レジャー・スポーツ施設情報や観光案内など
医療・保健情報	医薬品情報、健康づくりに関する情報など
文化情報	公民館、図書館、ホールの催しや趣味に関する情報など
福祉情報	福祉施設の利用案内、介護保険など福祉制度の案内など
環境情報	環境問題やゴミ、リサイクルに関する情報など
行政情報	行政の手続き、市政の動きなど
交通情報	道路情報や電車・バスなどの運行時刻など
学校・教育情報	学校、進学、留学に関する情報など
子育て・保育情報	子どもの育ちと子育てに関する情報など
社会参加の情報	ボランティア・市民活動情報など

## 【問13】井原市が提供・実施している電子サービス及びICT関連サービスを知っていますか。（複数選択あり）

井原市が提供・実施しているICT関連サービスの認知度は「井原市公式ホームページ」が90.5%「緊急告知端末器『お知らせくん』」が84.5%「証明書のコンビニ交付」が77.3%「メール配信システム」が76.8%「データ放送」が54.1%の順になっています。

郵送調査と比べて「井原市公式ホームページ」の認知度が一番高く「緊急告知端末器『お知らせくん』」の割合も高くなっています。また、「どれも知らない」の割合が低くなり、他の全ての項目で割合が高くなっています。

	区分	回答数	井原市HP	緊急告知端末器	証明書のコンビニ交付	メール配信システム	データ放送	井原市SNS	スマートフォン決済	キャッシュレス決済	岡山県電子申請システム	公共施設予約システム	地図情報提供システム	どれも知らない
	全体	220	90.5%	84.5%	77.3%	76.8%	54.1%	47.3%	29.1%	26.4%	25.5%	21.4%	14.5%	2.3%
性別	男	99	87.9%	85.9%	70.7%	68.7%	51.5%	48.5%	25.3%	25.3%	28.3%	22.2%	22.2%	4.0%
	女	116	92.2%	83.6%	81.9%	82.8%	56.0%	44.8%	31.0%	26.7%	22.4%	19.8%	6.9%	0.9%
年代別	10代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	14	92.9%	85.7%	64.3%	85.7%	57.1%	64.3%	21.4%	35.7%	28.6%	21.4%	14.3%	7.1%
	30代	23	87.0%	82.6%	82.6%	87.0%	52.2%	56.5%	30.4%	34.8%	26.1%	21.7%	17.4%	-
	40代	47	85.1%	83.0%	80.9%	76.6%	55.3%	46.8%	31.9%	25.5%	31.9%	17.0%	14.9%	2.1%
	50代	77	90.9%	83.1%	81.8%	79.2%	53.2%	42.9%	28.6%	23.4%	23.4%	26.0%	10.4%	-
	60代	37	97.3%	89.2%	78.4%	75.7%	54.1%	48.6%	32.4%	24.3%	24.3%	21.6%	13.5%	2.7%
	70代	21	90.5%	85.7%	52.4%	57.1%	57.1%	42.9%	23.8%	28.6%	19.0%	9.5%	28.6%	9.5%
80代以上	1	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-	-	100.0%	-	-	

## 【問14】井原市が提供・実施している電子サービス及びICT関連サービスを利用したことがありますか。（複数選択あり）

井原市が提供・実施しているICT関連サービスの利用率は「井原市公式ホームページ」が83.1%「メール配信サービス」が70.8%「緊急告知端末器『お知らせくん』」が68.9%となっています。

郵送調査と比べて「どれも利用したことがない」の割合が低くなり、他の全ての項目で割合が高くなっています。

	区分	回答数	井原市HP	メール配信システム	緊急告知端末器	データ放送	井原市SNS	証明書のコンビニ交付	スマートフォン決済	岡山県電子申請システム	キャッシュレス決済	地図情報提供システム	公共施設予約システム	どれも利用したことがない	その他
	全体	219	83.1%	70.8%	68.9%	44.3%	37.4%	26.9%	15.1%	13.7%	10.5%	10.0%	6.8%	3.7%	0.5%
性別	男	99	83.8%	63.6%	73.7%	41.4%	39.4%	30.3%	14.1%	16.2%	14.1%	15.2%	6.1%	6.1%	1.0%
	女	115	81.7%	75.7%	64.3%	46.1%	34.8%	24.3%	15.7%	10.4%	7.0%	4.3%	7.0%	1.7%	-
年代別	10代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	14	78.6%	85.7%	57.1%	50.0%	21.4%	35.7%	21.4%	14.3%	21.4%	14.3%	14.3%	14.3%	-
	30代	23	87.0%	91.3%	52.2%	30.4%	43.5%	21.7%	21.7%	13.0%	26.1%	13.0%	-	-	-
	40代	47	72.3%	68.1%	70.2%	44.7%	46.8%	34.0%	12.8%	21.3%	8.5%	6.4%	6.4%	2.1%	-
	50代	76	85.5%	72.4%	65.8%	44.7%	39.5%	31.6%	17.1%	14.5%	7.9%	7.9%	11.8%	1.3%	-
	60代	37	86.5%	70.3%	78.4%	54.1%	29.7%	13.5%	13.5%	5.4%	8.1%	5.4%	-	5.4%	2.7%
	70代	21	90.5%	42.9%	85.7%	38.1%	28.6%	14.3%	4.8%	9.5%	4.8%	28.6%	4.8%	9.5%	-
80代以上	1	100.0%	-	100.0%	-	-	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	

（その他）

- ・ 井原市図書館ネット予約

【問15】井原市が提供・実施している電子サービス及びICT関連サービスで便利だと感じるサービスがありますか。  
(複数選択あり)

井原市が提供・実施しているICT関連サービスで便利だと感じるものは「メール配信システム」が66.1%となっており、半数以上の方が便利だと感じています。年代によって便利だと感じるサービスに違いが出ています。郵送調査と比べて「緊急告知端末『お知らせくん』」と「どれも便利だと感じない」の割合が低くなっており、その他の割合は高くなっています。

	区分	回答数	メール配信システム	井原市HP	緊急告知端末器	証明書のコンビニ交付	データ放送	スマートフォン決済	井原市SNS	キャッシュレス決済	岡山県電子申請システム	公共施設予約システム	地図情報提供システム	どれも便利だと感じない	その他
	全体	218	66.1%	48.6%	42.7%	41.3%	33.9%	25.7%	25.7%	20.6%	14.7%	11.5%	9.6%	3.2%	0.5%
性別	男	99	61.6%	52.5%	43.4%	37.4%	30.3%	22.2%	26.3%	21.2%	16.2%	6.1%	14.1%	5.1%	1.0%
	女	114	69.3%	45.6%	42.1%	44.7%	37.7%	28.1%	25.4%	20.2%	12.3%	16.7%	5.3%	1.8%	-
年代別	10代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	14	78.6%	28.6%	28.6%	21.4%	14.3%	21.4%	28.6%	14.3%	-	7.1%	-	-	-
	30代	23	69.6%	21.7%	21.7%	26.1%	17.4%	47.8%	30.4%	39.1%	8.7%	4.3%	8.7%	-	-
	40代	46	63.0%	45.7%	39.1%	37.0%	28.3%	26.1%	28.3%	21.7%	21.7%	13.0%	6.5%	-	-
	50代	76	68.4%	44.7%	39.5%	48.7%	38.2%	22.4%	28.9%	21.1%	19.7%	15.8%	9.2%	5.3%	-
	60代	37	67.6%	67.6%	62.2%	51.4%	48.6%	27.0%	13.5%	13.5%	8.1%	10.8%	8.1%	2.7%	2.7%
	70代	21	52.4%	76.2%	61.9%	4.8%	38.1%	14.3%	23.8%	14.3%	9.5%	4.8%	28.6%	9.5%	-
	80代以上	1	-	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(その他)

- ・ 利用してないので分からない



【問16】井原市が実施する電子サービス及びICT関連サービスについて、より充実してほしいものはありますか。  
(複数選択あり)

井原市が提供・実施しているICT関連サービスのうち、特に充実を求められているものは「データ放送」が41.5%「メール配信システム」30.9%「井原市公式SNS」が27.2%「井原市公式ホームページ」が26.3%となっています。

年代別では、20代が「井原市公式SNS」30代が「井原市公式SNS」「証明書のコンビニ交付」40代が「井原市公式SNS」の充実についてニーズが高いといえます。70代では「特にない」が40.0%でした。

郵送調査と比べて「データ放送」「メール配信システム」「井原市公式SNS」「証明書のコンビニ交付」「スマートフォン決済」「キャッシュレス決済」「地図情報提供サービス」「岡山県電子申請サービス」の割合が高くなっています。

	区分	回答数	データ放送	メール配信システム	井原市SNS	井原市HP	証明書のコンビニ交付	緊急告知端末器	スマートフォン決済	キャッシュレス決済	公共施設予約システム	地図情報提供システム	岡山県電子申請システム	その他	特にない
	全体	217	41.5%	30.9%	27.2%	26.3%	24.4%	21.2%	20.3%	18.9%	15.2%	12.9%	12.9%	8.3%	18.9%
性別	男	99	37.4%	34.3%	20.2%	22.2%	23.2%	23.2%	18.2%	18.2%	11.1%	13.1%	13.1%	11.1%	19.2%
	女	113	45.1%	27.4%	33.6%	30.1%	24.8%	19.5%	22.1%	19.5%	19.5%	12.4%	12.4%	6.2%	18.6%
年代別	10代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	14	21.4%	21.4%	42.9%	14.3%	21.4%	7.1%	21.4%	21.4%	7.1%	7.1%	14.3%	7.1%	28.6%
	30代	22	27.3%	31.8%	45.5%	13.6%	40.9%	9.1%	31.8%	36.4%	9.1%	9.1%	9.1%	9.1%	9.1%
	40代	47	36.2%	27.7%	34.0%	19.1%	19.1%	14.9%	25.5%	25.5%	12.8%	8.5%	12.8%	6.4%	21.3%
	50代	76	48.7%	36.8%	25.0%	32.9%	30.3%	25.0%	23.7%	17.1%	18.4%	17.1%	18.4%	5.3%	15.8%
	60代	37	51.4%	37.8%	13.5%	35.1%	18.9%	29.7%	5.4%	5.4%	21.6%	13.5%	10.8%	10.8%	13.5%
	70代	20	35.0%	10.0%	15.0%	25.0%	10.0%	30.0%	10.0%	15.0%	10.0%	15.0%	-	20.0%	40.0%
	80代以上	1	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## (その他)

データ放送	井原放送のデータ放送はスマホがない人も使える、リアルタイムに入手できるツールなので、より便利にしてほしい
メール配信システム	コロナ感染者情報をするなら重症なのか軽いのか無症状なのか言わないとなんの意味もない
井原市公式SNS	SNSでどんどん情報発信をしていったらいい
井原市公式HP	公式ホームページをもっと見やすくしてほしい リンクと検索の充実 ホームページがもう少し見やすく、検索しやすいとありがたいです
証明書のコンビニ交付	あらゆる証明書の交付ができるとありがたい
緊急告知端末器	お知らせくんは便利ではあるが、音声調整が大雑把でやかましい お知らせくんの音量が大中小の3つしか選べないのは不便。元の音量も大きかったり小さかったり聞き取りにくい お知らせくんの実際の設置状況と未設置の方への設置支援状況
キャッシュレス決済	キャッシュレス納税
その他	個々のサービスの充実も大切だが、それらを統合するわかりやすいポータルシステムが必要だと思えます 水泳教室の申込みもオンラインでしたい 地域のイベント情報をもっとあると、家族でどこに遊びに行くか考えている時に便利 わからないとき、尋ねることができるコールセンターのような機能(土日祝) 公共施設でのWi-Fi設備 主要な公共施設(災害時避難場所を含む。)に、フリーWi-Fiを設置してほしい 先日の選挙、矢掛町は投票率をリアルタイムで地区ごとの状況をLINE配信しました。井原もして欲しいです。あと、このその他欄書きにくいです。要改善 コロナクラスター発生場所、井原市のニュース等詳細に 市立・市営施設におけるフリーWi-Fiの設置
特にない	今後ICT化が進むといつまで自分が対応できるのか不安

## 【問17】井原市において、ICTを使って実現して欲しいサービスは、どのようなものがありますか。（複数選択あり）

実現して欲しいサービスは「行政手続きのオンライン化・電子化」が61.5%「災害・防犯などの緊急情報の発信」が47.9%「市役所窓口の利便性の向上」が36.2%「マイナンバーを活用したサービス」が30.0%となっています。70代では「データ放送の充実」の割合も高くなっています。

郵送調査と比べて「行政手続きのオンライン化・電子化」「市役所窓口の利便性の向上」「マイナンバーを活用したサービス」「ICTを利用した地域の課題解決」「行政データの公開」の割合が高くなっています。

	区分	回答数	行政手続きのオンライン化	緊急情報の発信	市役所窓口の利便性の向上	マイナンバーを活用したサービス	データ放送の充実	地域課題の解決	行政データの公開	情報通信機器の使い方講習会の実施	その他	無回答
	全体	213	61.5%	47.9%	36.2%	30.0%	27.2%	13.6%	9.4%	4.2%	5.2%	3.3%
性別	男	96	59.4%	41.7%	38.5%	34.4%	26.0%	16.7%	10.4%	5.2%	10.4%	3.1%
	女	112	62.5%	52.7%	33.9%	26.8%	28.6%	10.7%	7.1%	3.6%	0.9%	3.6%
年代別	10代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	14	78.6%	28.6%	21.4%	42.9%	21.4%	-	14.3%	-	-	-
	30代	22	90.9%	27.3%	72.7%	27.3%	27.3%	13.6%	4.5%	4.5%	-	4.5%
	40代	46	60.9%	47.8%	32.6%	19.6%	19.6%	19.6%	15.2%	4.3%	4.3%	2.2%
	50代	77	64.9%	63.6%	26.0%	29.9%	28.6%	9.1%	5.2%	3.9%	2.6%	-
	60代	35	48.6%	40.0%	45.7%	40.0%	34.3%	20.0%	5.7%	5.7%	8.6%	5.7%
	70代	19	26.3%	36.8%	36.8%	31.6%	31.6%	15.8%	21.1%	5.3%	21.1%	10.5%
	80代以上	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（その他）

- ・ 電子化による情報流出やウイルス等の対策は急務です。また、交通手段を失った高齢者に対するアナログ的なICTサービスが必要だろうと考えます
- ・ ICTそのものが何かわからない
- ・ 個人商店のオンラインショップ化
- ・ 特になし
- ・ 選挙の投票をスマホから出来るようになると便利
- ・ わからないとき、尋ねることができるコールセンターのような機能（土日祝）
- ・ 本当は全部の項目にチェックを入れたいです。優先順位をつけられません
- ・ 市長への提言等

## 【問18】DXを知っていますか。

DX（デジタルトランスフォーメーション）の理解度は「名称も内容も知らない」が58.6%となっており、まだ定着していないのが現状です。郵送調査と比べて「名称も内容も知らない」の割合が減っていますが、半数以上の方が「名称も内容も知らない」という結果になっています。

	区分	回答数	名称・名前とも知っている	名称だけ知っている	名称・内容とも知らない
	全体	220	16.8%	24.5%	58.6%
性別	男	99	26.3%	24.2%	49.5%
	女	116	8.6%	24.1%	67.2%
年代別	10代	0	-	-	-
	20代	14	14.3%	28.6%	57.1%
	30代	23	8.7%	13.0%	78.3%
	40代	47	19.1%	23.4%	57.4%
	50代	77	20.8%	24.7%	54.5%
	60代	37	16.2%	29.7%	54.1%
	70代	21	9.5%	28.6%	61.9%
	80代以上	1	-	-	100.0%

【問19】最後に、このアンケートを振り返って、井原市の情報化に期待することがありましたら、教えてください。

下記のようなご意見が寄せられました。

【情報発信に関するもの】 31件

- ・ 井原市の遺跡や文化財について、インターネット上の情報を更新・充実してほしい
- ・ せっかく、内容のある情報を発信できるような環境を整備しても、利用しない、関心のない人にとっては、あまり価値のないものになってしまう。受け手側も正しい知識とスキルを身につけて、しっかり効果を享受できるとよい
- ・ 井原市のホームページはわかりにくい
- ・ 防災、防犯については今後もしっかり情報を伝えて欲しい
- ・ メール配信で情報得ることが多いので助かっている。引き続き色々な情報を教えてほしい

【情報化の方向性に関するもの（市政も含む。）】 30件

- ・ 市民にとって、かえって不便になるようなデジタル化は進めないでほしい
- ・ 誰でも、いつでも、簡単に入手できるものであってほしい
- ・ 情報化により若い世代にもアプローチが進み井原市が盛り上がっていくことを願う
- ・ 市民の情報化の力をたかめることが、ひいては、井原市の情報化につながると思う
- ・ AIや電子化を活用し、便利なサービスの提供を望むが、費用対効果という言葉ひとくくりで豊かな市民サービスが阻害されないことを望む

【行政手続に関するもの】 9件

- ・ いつも窓口で相当な時間待つので、時間短縮につながってほしい。他の市町村と連携してオンライン上でやり取りしてほしい（いろいろな窓口はこちらが行かなくても）
- ・ まだまだ紙や印鑑を利用した手続きが多いので、もっと電子化するべきだと思う

【導入して欲しいシステム・制度】 7件

- ・ わからないとき、尋ねることができるコールセンター（電話、チャット、メールなど）のような機能（土日祝）があれば、とてもいいと思う
- ・ 選挙投票のデジタル化

【インフラに関するもの】 5件

- ・ 光化が進んでいるが、今後はこれを生かす施策を望む
- ・ 公衆無線LANの拡大を期待

【情報弱者に関するもの】 5件

- ・ スマホの使い方がわからなかったり不安を覚えることが多い高齢者が多いと思う
- ・ 公民館などで気軽に参加できるスマホ教室などを強く望む
- ・ 操作などあまり難しくならないようにしてほしい

【セキュリティに関するもの】 6件

- ・ セキュリティ対策を見直した方がいいと思う
- ・ 個人情報の取り扱いにはくれぐれも他人任せにしないように

## 井原市情報化推進懇話会設置要綱

(令和4年3月16日 井原市告示第21号)

## (目的及び設置)

第1条 井原市における市民生活及び地域社会の利便性の向上を図り、地域及び行政のデジタル化を着実に推進することを目的として井原市第6次情報化計画（以下「情報化計画」という。）を策定するに当たり、市と民間が協力して広く意見を反映させた検討を行うため、井原市情報化推進懇話会（以下「懇話会」という。）を設置する。

## (所掌事務)

第2条 懇話会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項について意見を述べる。

- (1) 情報化計画に関すること。
- (2) その他地域情報化に係る必要な事項に関すること。

## (組織)

第3条 懇話会は、委員10人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱又は任命する。

- (1) 学識経験者
- (2) 関係団体から推薦された者
- (3) 行政関係者
- (4) 公募による者
- (5) その他前条の所掌事務遂行のために必要な者

## (会長及び副会長)

第4条 懇話会に、会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

- 2 会長は、会務を総理し、懇話会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

## (会議)

第5条 懇話会の会議は、必要に応じて会長が招集し、会長が議長となる。

2 懇話会は、委員の定数の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

## (庶務)

第6条 懇話会の庶務は、総務部総務課において処理する。

## (委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、懇話会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

## 附 則

## (施行期日)

1 この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

## (井原市情報化推進懇話会設置要綱の廃止)

2 井原市情報化推進懇話会設置要綱（平成30年井原市告示第21号）は、廃止する。

## (失効)

3 この要綱は、情報化計画の策定が完了したときに、その効力を失う。

## (会議の特例)

4 第5条の規定にかかわらず、最初に開かれる会議は、市長が招集する。

## 井原市情報化推進懇話会委員名簿

第6次		10名	
	氏名	所属団体	職名
会長 学識経験者	稲井 寛	岡山県立大学 情報工学部	教授
副会長 商工会議所	佐藤 須賀則	井原商工会議所	専務理事
産業界	高山 典久	タカヤ株式会社	ソリューション事業部 ITイノベーション推進室 推進室長
通信事業者	三宅 亮三	井原放送株式会社	代表取締役
国	岩崎 恭二(前任) 岩本 聡(後任)	総務省中国総合通信局	情報通信部 情報通信振興課 課長
県	近藤 利信	岡山県	総務部 デジタル推進課 課長
防災	清水 明人	井原市消防団	団長
各種団体	橋本 貞女	井原市PTA連合会母親委員会	委員長
学校	佐藤 英樹	井原校園長会	会長(芳井小学校校長)
公募	大村 淳代		

## 庁内情報化推進委員会設置要領

(目的)

第1条 高度情報化の進展に対応した本市の情報化の円滑な推進を図るため、庁内情報化推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 本市情報化計画の推進に関すること。
- (2) 本市庁内情報化推進計画の推進に関すること。
- (3) 井笠広域市町村圏テレトピア計画の推進に関すること。
- (4) その他情報化の推進に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

- 2 委員長は、総務部長を、副委員長は、総務部次長を、委員は別表に掲げる者をもって充てる。
- 3 前項の委員に事故あるときは、委員長はその代理する職員を委員とすることができる。

(職務)

第4条 委員長は、会務を総理し委員会を代表する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 会議は、委員長が必要に応じて召集し、委員長が議長となる。

- 2 委員長は、必要に応じ会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(庁内情報化推進委員会ワーキンググループ)

第6条 委員会の所掌事務を補佐し、情報化の推進に係る事項の調査・研究等を行うため、委員会の中に庁内情報化推進委員会ワーキンググループ（以下「ワーキンググループ」という。）を置くことができる。

- 2 ワーキンググループは、委員長が委嘱する職員により組織する。

(庁内情報化協力委員)

第7条 職員に対して情報化施策を推進するため、庁内情報化協力委員（以下「協力委員」という。）を置くことができる。協力委員は、所属長が推薦する者の中から、委員長が委嘱する職員をもって充て、下記の事務を行う。

- (1) 職員への情報化推進の周知徹底に関すること。
- (2) 職員への情報機器の操作指導に関すること。
- (3) 職員の情報能力向上のためのサポートに関すること。
- (4) 職員への情報機器使用にあたってのモラルの徹底に関すること。
- (5) 本市のホームページ作成等に関すること。

(庁内情報化専門プロジェクトチーム)

第8条 情報化に関する各システム等事項の調査・研究等を行うため、委員会の中に庁内情報化専門プロジェクトチーム（以下「プロジェクトチーム」という。）を置くことができる。

- 2 プロジェクトチームは、委員長が委嘱する職員により組織する。

(庁内情報化研修指導チーム)

第9条 情報化に関する各システム等の操作、ソフトウェアの利用等を職員へ研修するため、委員会の中に庁内情報化研修チーム（以下「研修指導チーム」という。）を置くことができる。

2 研修指導チームは、委員長が委嘱する職員により組織する。

（兼務）

第10条 第6条から前条までの規定に基づき委員長が委嘱する職員は、相互に兼ねることができる。

（庶務）

第11条 委員会の庶務は、総務部総務課において処理する。

（その他）

第12条 この要領に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

#### 附 則

この要領は、令和3年4月1日から施行する。

#### 別表

総合政策部次長、財政課長、市民生活部次長、健康福祉部次長

建設経済部次長、水道部次長、教育次長、芳井支所長、美星支所長

## 計画策定の経緯

- 令和4年 3月16日 井原市情報化推進懇話会設置要綱の制定
- 6月14日 第1回庁内情報化推進委員会開催  
(計画策定の説明、第5次情報化計画の進捗状況報告)
- 6月28日 第1回井原市情報化推進懇話会開催  
(委嘱状の交付、井原市長より井原市情報化推進懇話会に対し情報化に係る諮問)
- 7月 5日 情報化に関するアンケート調査実施  
(郵送、満16歳以上、無作為抽出1,000名)
- 7月 8日 情報化に関するアンケート調査実施  
(インターネットを利用している人)
- 8月26日 第2回庁内情報化推進委員会開催  
(アンケート調査結果報告、第6次情報化計画骨子(案)検討)
- 9月 8日 第2回井原市情報化推進懇話会開催  
(アンケート調査結果報告、第6次情報化計画骨子決定)
- 9月26日 第3回庁内情報化推進委員会開催  
(第6次情報化計画(素案)検討)
- 10月 井原市情報化推進懇話会委員へ第6次情報化計画(素案)の意見照会・集約
- 11月 2日 第4回庁内情報化推進委員会開催  
(第6次情報化計画 素案決定)
- 11月17日 第3回井原市情報化推進懇話会開催  
(第6次情報化計画 素案決定)
- 11月22日 井原市情報化推進懇話会から井原市長へ答申
- 12月 5日 井原市議会へ第6次情報化計画(案)の報告
- 令和5年 1月 6日 パブリックコメント開始
- 2月 6日 パブリックコメント終了
- 3月 井原市第6次情報化計画策定





## 井原市第6次情報化計画

---

発行日 令和5年3月

発行 井原市役所 総務部総務課

〒715-8601 岡山県井原市井原町 311 番地 1

TEL (0866) 62-9511

E-mail [jyouhou@city.ibara.okayama.jp](mailto:jyouhou@city.ibara.okayama.jp)

市 HP <https://www.city.ibara.okayama.jp>

---